

PDFelement 11

Windows

ユーザーガイド



目次

内容

改訂履歴	6
PDFelementの導入準備	6
ダウンロードおよびインストール	6
通常版	6
ビジネスチーム版	6
カスタマイズ版・オフライン版	6
引き換え	7
概要	8
ショートカットキー	12
PDFを開く	13
ホームページからPDFを開く	13
ファイルメニューからPDFを開く	14
保護されたPDFを開く	15
PDF閲覧	16
PDFのナビゲーション方法	16
複数のPDFを異なるウィンドウで表示	21
PDFにしおりを追加する方法	23
画面キャプチャ	28
PDFを定規とグリッドで表示する方法	30
PDF内の単語数とページ数の確認方法	31
単語数を数える手順	31



ページ数を確認する手順.....	33
画面分割表示の使い方	34
PDFの画面録画を作成する方法(Pro機能).....	37
PDFファイルを読む方法	41
PDFファイルを作成する方法	47
PDFファイルを作成する方法	47
空白PDFの作成	51
複数ファイルをPDFに変換	52
ファイルをPDFに印刷.....	55
スキャンしたドキュメントをPDFに変換(Pro機能).....	56
クリップボードからPDFを作成.....	58
PDFポートフォリオを作成.....	58
PDFにコメントを追加.....	62
PDFにコメントを追加	62
PDFのマークアップ	67
PDFへの描画.....	69
PDFにスタンプを追加	70
PDFの測定ツール	72
PDFに添付ファイルを追加	76
PDFの注釈を非表示または削除	78
コメントのプロパティを調整	79
PDFのテキスト編集	80
PDFのテキスト編集	80
PDFの画像編集	82
PDF内のリンク編集.....	84



PDFにページ番号を追加する方法	86
PDFに透かしを追加.....	90
PDFにヘッダーとフッターを追加	92
PDFにバイツ番号を追加.....	93
PDFをフラット化する.....	95
PDFファイルを結合する	96
PDFファイルを結合	96
右クリックでPDFを結合	98
PDFファイルを整理	99
PDFファイルを分割.....	99
PDFのページを置換.....	100
PDFのページを抽出.....	101
PDFにページを挿入.....	102
空白ページを削除	103
PDFページの複製.....	104
PDFページのサイズ変更	104
PDFの比較	106
PDFページラベルの設定.....	108
PDFの回転.....	108
PDFのトリミング	109
PDFの圧縮	111
PDF OCRについて(Pro機能).....	112
OCRとは？	112
OCRプラグインのダウンロードとアンインストール.....	112
OCRを使用してPDFをスキャン	114



バッチOCR.....	116
PDFファイルの変換.....	117
PDFを他形式に変換	117
PDFをPDF/Aに変換する方法	122
PDFのバッチ変換(Pro機能).....	122
スキャンされたPDFを変換する	123
画像ベースPDFへの変換	125
PDF変換設定	127
PDFフォームの記入	130
PDFの記入方法	130
フォームを記入可能に変換.....	131
手動で記入可能フォームを作成.....	132
PDFフォームの整列.....	133
PDFからデータを抽出.....	135
PDFフォームデータのインポートとエクスポート.....	137
PDFフォームのプロパティ設定	138
PDFフォームの認識.....	140
PDFの保護と署名	141
パスワード保護の設定.....	141
PDFの墨消し機能(Pro機能)	144
PDFに署名する方法	148
PDFに署名する.....	148
PDFを印刷する方法.....	153
PDFを印刷する方法	153
PDFの印刷設定	156



複数のPDFを一括印刷する方法(Pro機能).....	158
ファイル共有	159
PDFをQRコードで共有.....	159
PDF AIツール	162
AIでPDFを要約	162
複数のPDFを要約する.....	164
PDFとのチャット.....	166
AI翻訳でPDFを翻訳.....	169
AI生成テキストの検出.....	171
AIでPDFをリライト	173
AIでPDFを校正	174
AIナレッジカードの利用	176
PDFをMarkdownに変換.....	177
AIアシスタントのカスタマイズ	178
AIプロンプトのカスタマイズ	179

改訂履歴

更新年月	種別	対応バージョン
2025/01	新規	PdfElement 11

PDFelementの導入準備

ダウンロードおよびインストール

通常版

受け取った製品情報にビジネスやカスタマイズの表記がない場合、それは通常版であると判断されます。通常版を購入された方は、いつでもホームページから該当するバージョンのインストーラーをダウンロードすることが可能です。

<https://pdf.wondershare.co.jp/>

<https://support.wondershare.jp/how-tos/wondershare/product-download.html>

ビジネスチーム版

ビジネスチーム版をご購入された方は、必ず指定された場所からインストーラーをダウンロードしてください。通常版と異なり、製品の更新やバグ修正の回数は少ないものの、その代わり、キャンペーンやアップデート情報などの通知は行われません。

企業ユーザーにとっては社内全体の管理が、教育ユーザーにとっては学内全体の管理がしやすくなります。また、ビジネスチーム版と通常版は異なる商品であるため、互換性を持たない仕様となっております。

カスタマイズ版・オフライン版

カスタマイズ版・オフライン版をご購入された方は、管理者または学校が指定した場所から専用クライアントをダウンロードしてください。本製品の公式サイトから公開クライアントをダウンロードした場合、ログインや製品使用权の購入が必要になる場合がありますのでご注意ください。

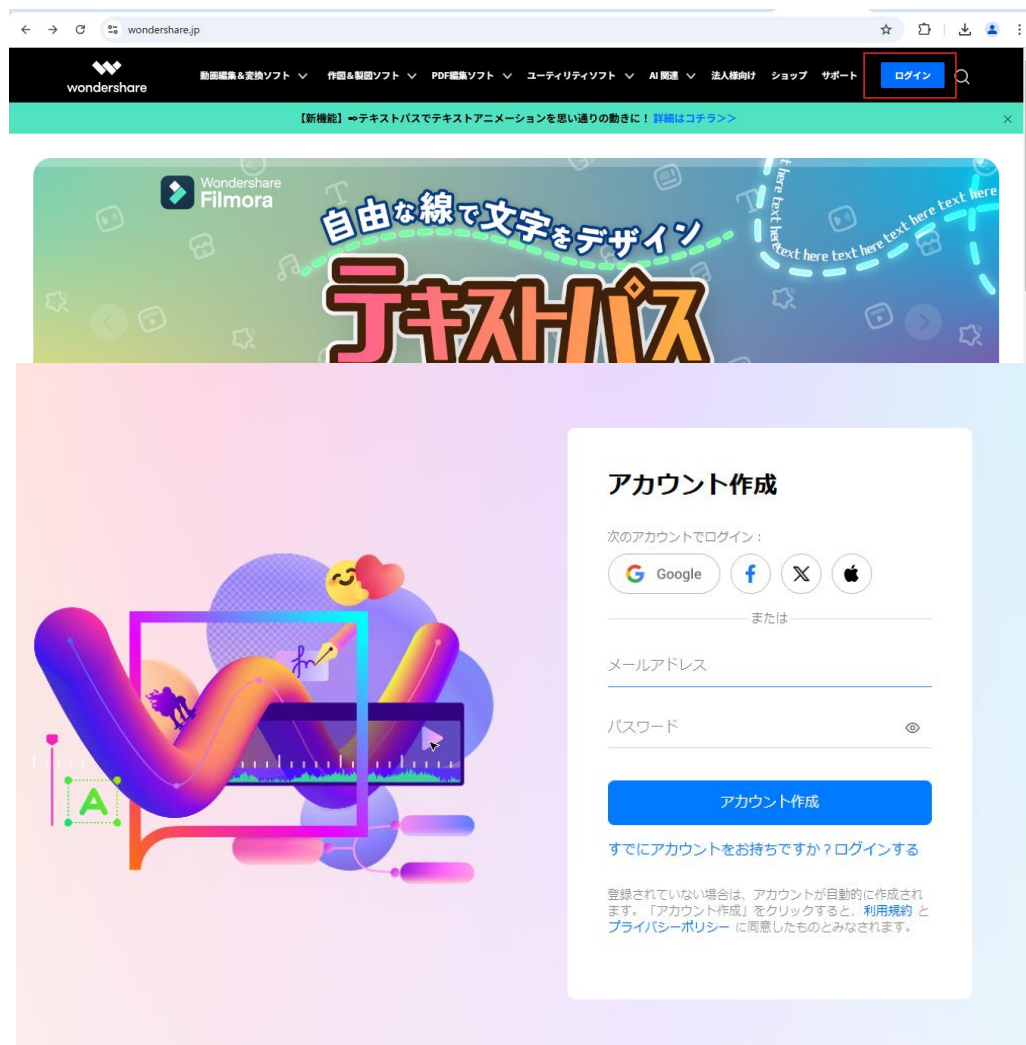
引き換え

購入製品のプレミアムメンバーシップをご自身のアカウントに引き換えるには、Wondershareアカウントをご準備いただく必要があります。

チーム版製品をご購入された場合、引き換えコードはまず管理者アカウントに引き換えてください。手続き完了後、チームメンバーアカウントの一括作成と管理が可能です。

- アカウント登録

<https://www.wondershare.jp/>



- 引き換え

<https://accounts.wondershare.jp/web/redeem>

 wondershare



アカウントセンター

製品引き換え



* 引き換えコードを入力してください

メモ:
1. 引き換えコードの形式: XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX/XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX;
2. Windows版、Mac版、その他のアプリ製品に引き換えて認証を済ませた後、製品のインターフェイスに戻り、新しいアカウントを使用してログインしてください

引き換える

概要

製品 & プラン

マイアプリ

サブスクリプション

製品引き換え

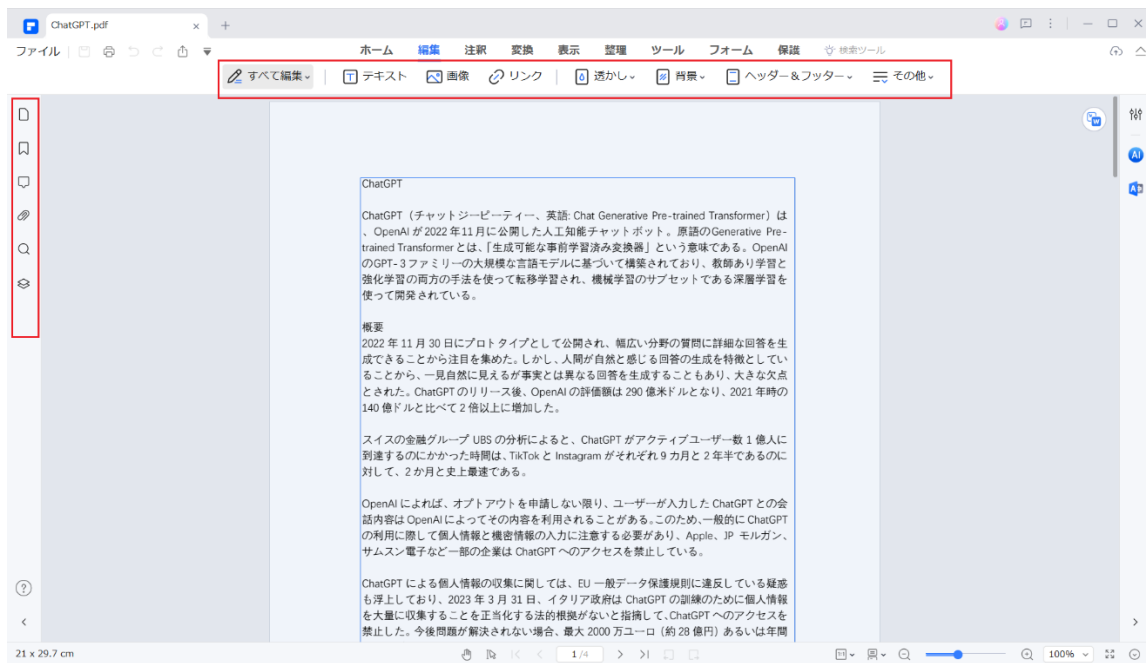
- チーム管理

<https://accounts.wondershare.jp/web/team-plan>

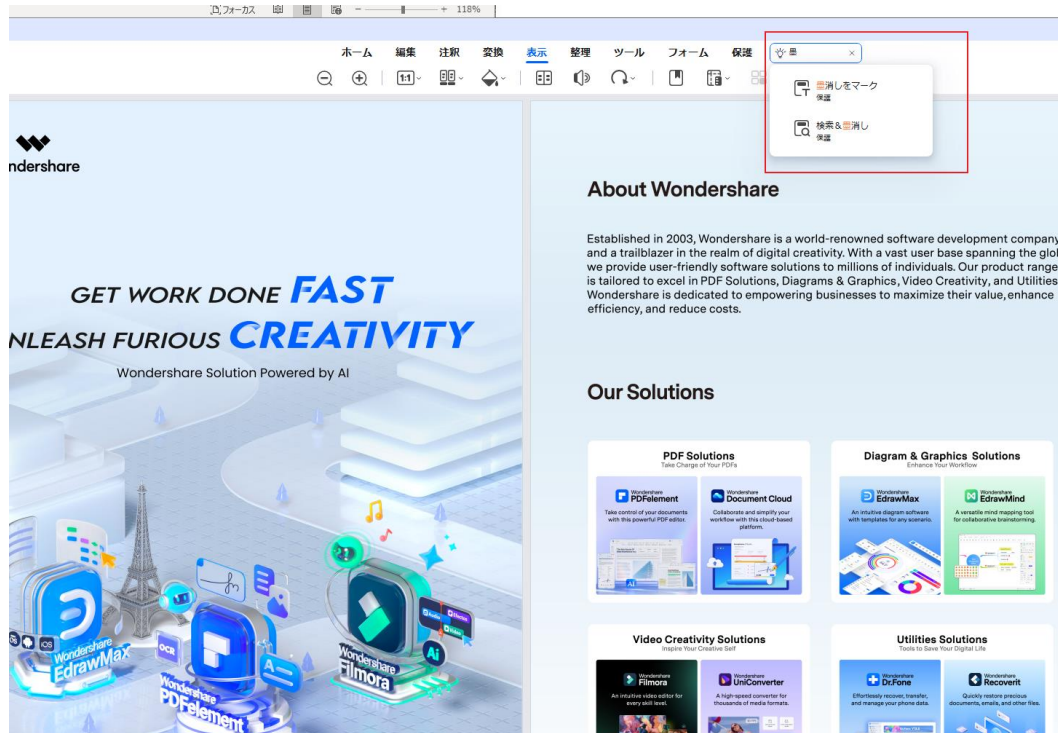
概要

Wondershare PDFelement for Windowsは、WindowsユーザーがPDFファイルを簡単に操作できる強力なPDFソリューションで、迅速かつ手頃な価格で見栄えの良いPDFドキュメントやフォームを安全に作成できます。PDFelementは以下の機能を提供しております。

- ワード感覚でPDFを編集できます。
- PDFからWord/Excel/PNG/JPGなどに変換できます。
- スキャンしたPDFや画像からテキストを認識します。
- メモやテキストのコメントを追加できます。
- AIによるPDF文書の要約、意味の解釈、文書の校正、書き換えなどができます。
- 証明書ベースの署名で、PDF書類に電子署名します。
- 1クリックでPDFのページを結合/分割/回転できます。
- テキストフィールド、チェックボックス、コンボボックス、画像などを使い記入可能なPDFを作成できます。
- PDFをフルスクリーンで表示しながら、注釈ツールやAIツールが使用できます。
- パスワードを追加しPDFファイルを安全に管理します。
- 画像/Word/その他あらゆる形式からPDFを作成できます。



ツールバーには異なるタブと異なるツールが表示されます。これは「編集」機能のツールバーです。さらに、「検索」機能を使用して特定のツールを直接検索できます。



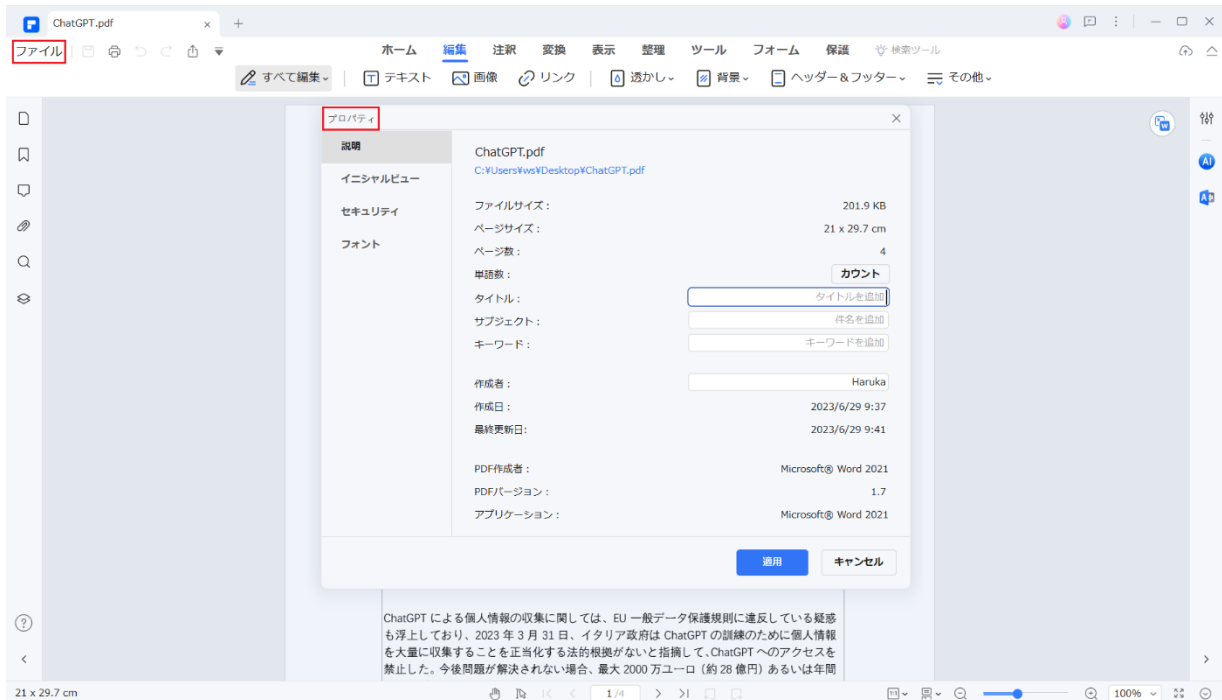
必要なツールを迅速に見つけるには、検索ボックスにツール名またはキーワードを入力し、その後、検

索結果で必要な機能をクリックします。で、対応するツールが直接アクティブになります。

さらに、「ファイル」タブをクリックしてさらに多くのメニューオプションを表示できます。

1. ファイルプロパティ

ファイル>プロパティ>説明"に移動すると、ファイルのプロパティを確認でき、また鉛筆記号でマークされた「タイトル」、「サブジェクト」、「キーワード」、「作成者」のデータを編集することもできます。



2. ファイルの設定

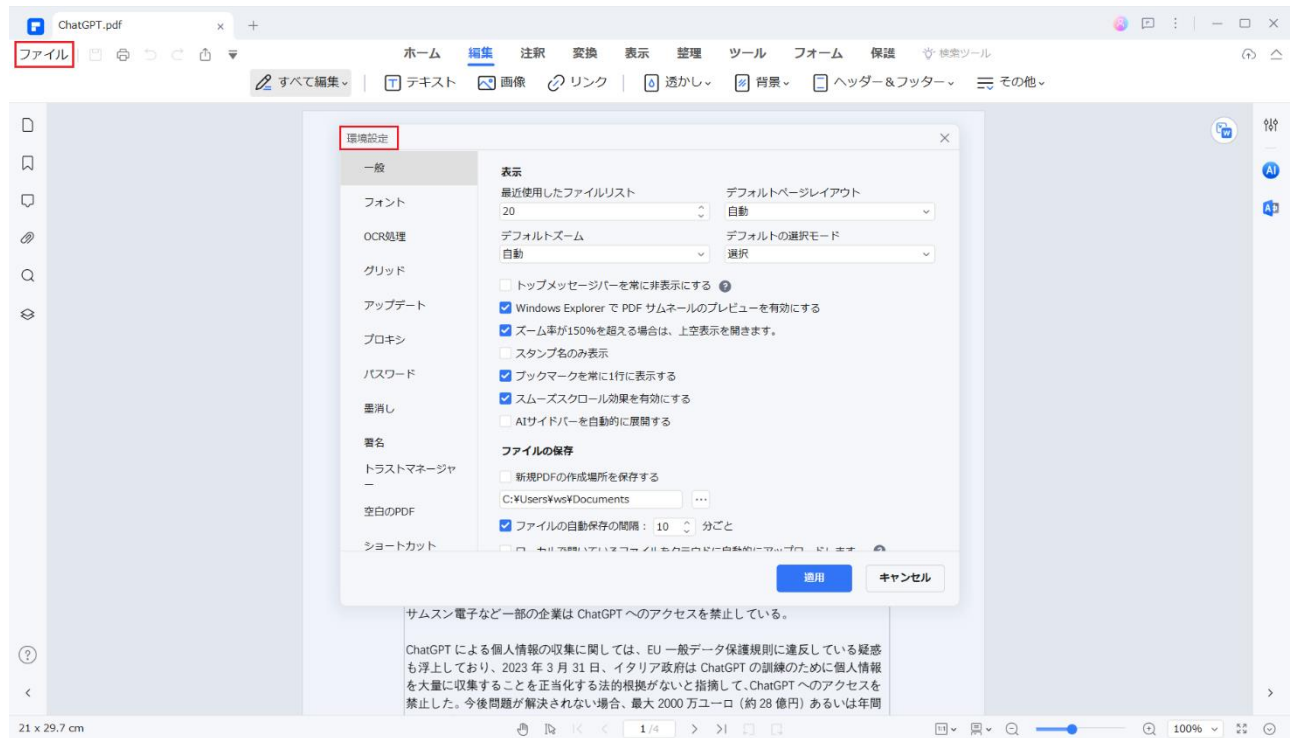
ファイル>環境設定"をクリックすると、「一般」、「フォント」、「OCR」、「グリッド」、「アップデート」、「プロキシ」、「パスワード」、「墨消し」、「署名」、「空白のPDF」、「ショートカット」に関する詳細な設定が表示されます。

- 一般：最近のファイルリスト、表示モード、自動保存時間、および測定単位を設定できます。
- フォント：コメント用のデフォルトテキストボックスフォントとデフォルトテキストフォントを設定できます。
- OCR：文書言語リストで使用するデフォルト言語を設定できます。
- グリッド：文書内のテキストとオブジェクトを正確に整列させることができます。
- アップデート：アップデートを確認する頻度を設定できます。
- プロキシ：プロキシ設定を選択できます。



Wondershare PDFelement

- パスワード：暗号化されたドキュメントを開くためのパスワードを設定できます。
- 墨消し：機密テキストを塗りつぶすための塗りつぶしを設定できます。
- 署名：独自のデジタル署名をデザインし、スタイルを編集できます。
- 空白のPDF：空白のPDFを作成して適用できます。
- ショートカット：主要な機能のショートカットを見つけることができます。



ショートカットキー

PDFelementを効率的に操作し、ファイルを管理するための多くのショートカットキーがあります。プログラムを開いた後、以下の指示に従って作業を進めることができます。また、「ファイル」>「環境設定」>「ショートカット」でショートカットキーを確認することもできます。



PDFを開く

ホームページからPDFを開く

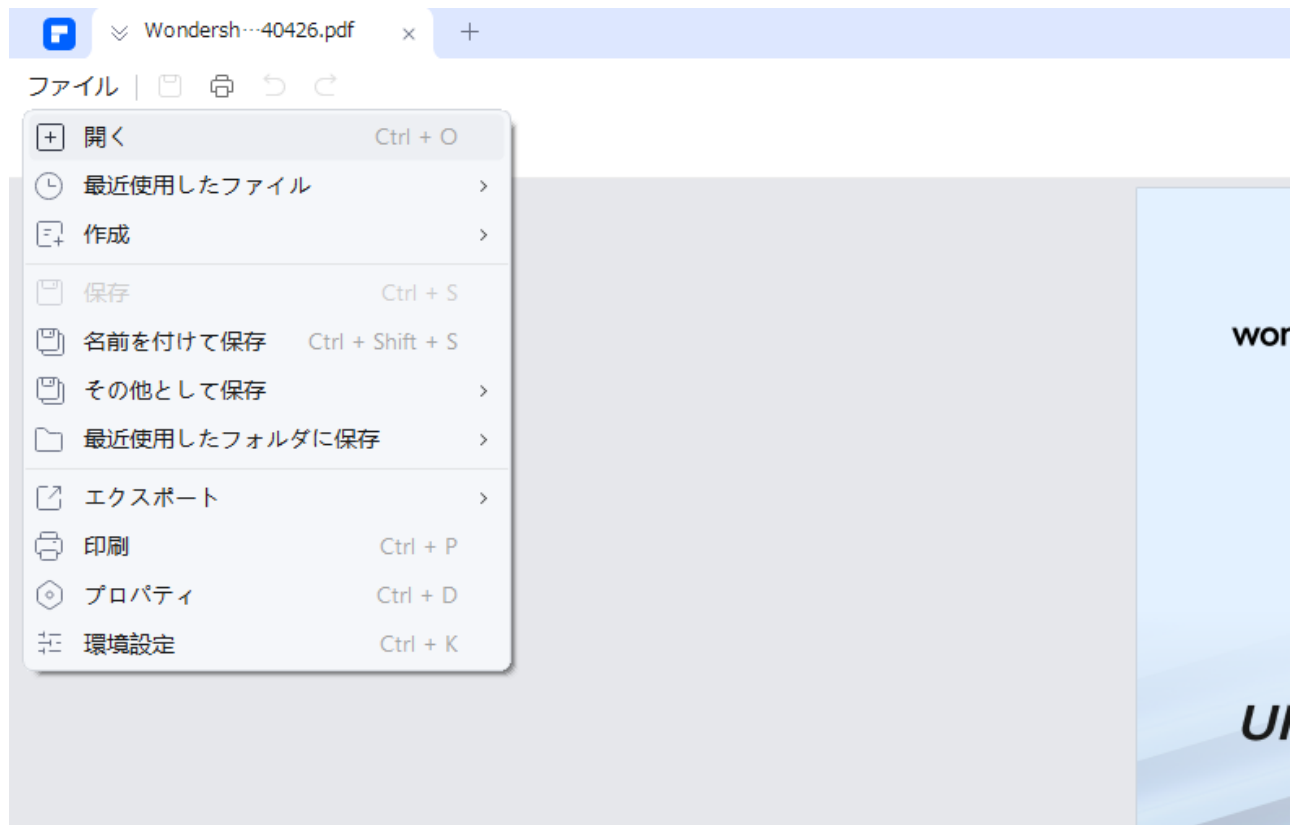
Wondershare PDFelement for Windowsと基本ツールに慣れたら、PDFファイルを読み込んだり作業したりすることができます。PDFファイルを開き、特定のページに簡単にアクセスし、ドキュメントの表示を調整することができます。次に、PDFelementのホームページからPDFを開く方法をいくつか紹介します。

- ファイルエクスプローラーからPDFを開く。PDFelementを開き、ホームウィンドウの「ファイルを開く」ボタンをクリックして、コンピューター上のPDFファイルをブラウズして開きます。
- 最近のファイルを開く。「最近のファイル」リストからPDFを選択して直接開きます。
- お気に入りのファイルを開く。「スター付きファイル」ボタンをタップして、以前にスターを付けたファイルを選択します。
- 「最近のフォルダー」からPDFを開く

ファイルメニューからPDFを開く

すでにPDFelementでPDFを開いている場合、左上に「ファイル」メニューが表示されます。ここでは、「ファイル」メニューからPDFファイルを開く方法を紹介します。

- 「ファイル」ボタンをタップし、「開く」または「最近のファイルを開く」オプションを選択して、ファイルエクスプローラーからPDFファイルを選択します。



保護されたPDFを開く

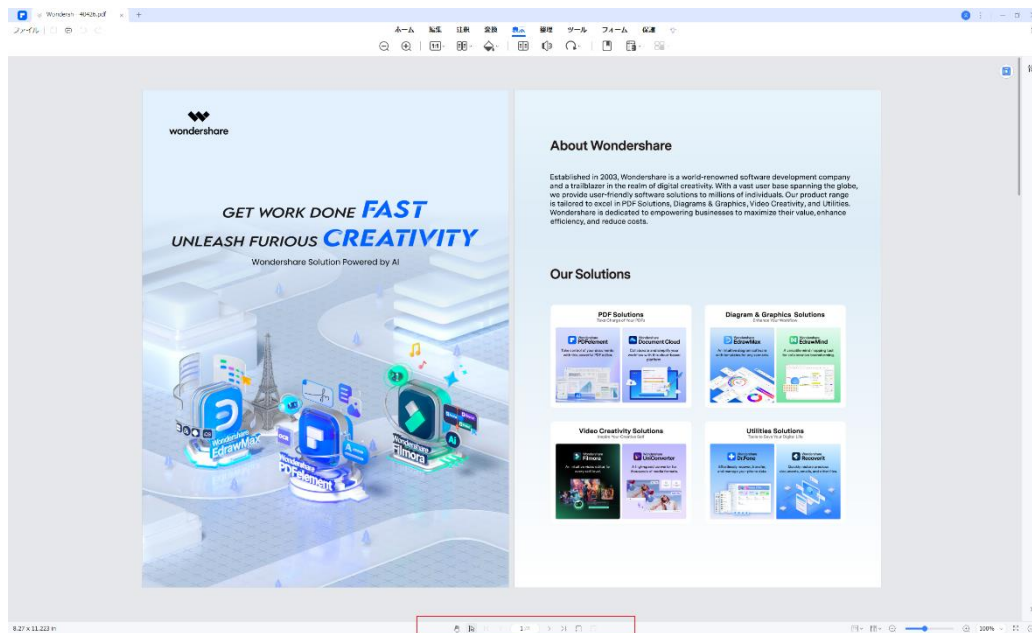
データのセキュリティを確保するために、パスワードで保護されたPDFがあります。保護されたPDFを開く方法は？パスワードで保護されたPDFを受け取った場合は、正しいパスワードを入力するだけでファイルを閲覧できます。



一部の保護されたPDFファイルには、印刷、編集、コピーなどを防ぐための他の制限があります。セキュリティがかけられたPDFファイルを印刷または編集しようとすると、許可されたパスワードなしではできない旨の通知が表示されます。編集を行う場合は、「編集を有効にする」ボタンをクリックし、許可されたパスワードを入力して編集を開始できます。

PDFのナビゲーション方法

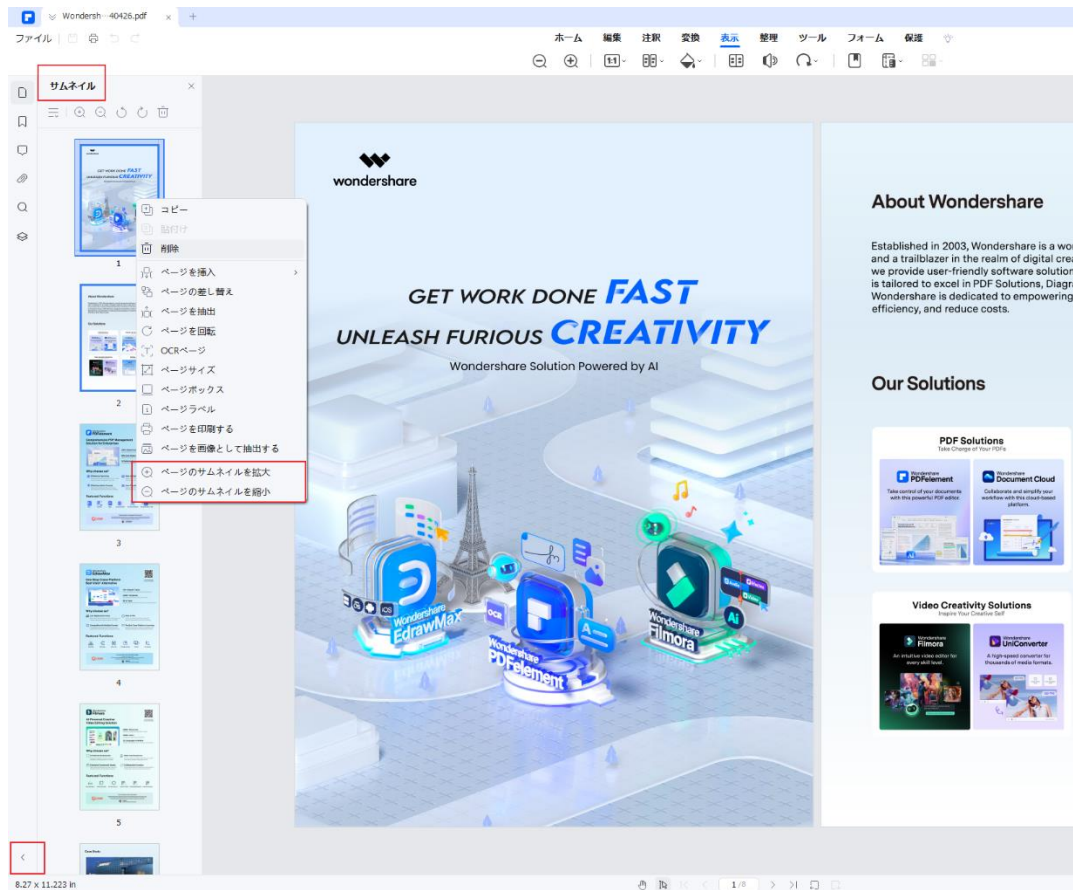
1ページのナビゲーション「表示」タブまたは下部のフローティングバーを使って、アクティブなドキュメントのページをナビゲートできます



- 「前のページ」ボタンをクリックすると、現在のドキュメントの前のページに移動します。
- 「次のページ」ボタンをクリックすると、現在のドキュメントの次のページに移動します。
- ページ番号を入力し、Enterキーを押すと、指定したページに直接移動できます。

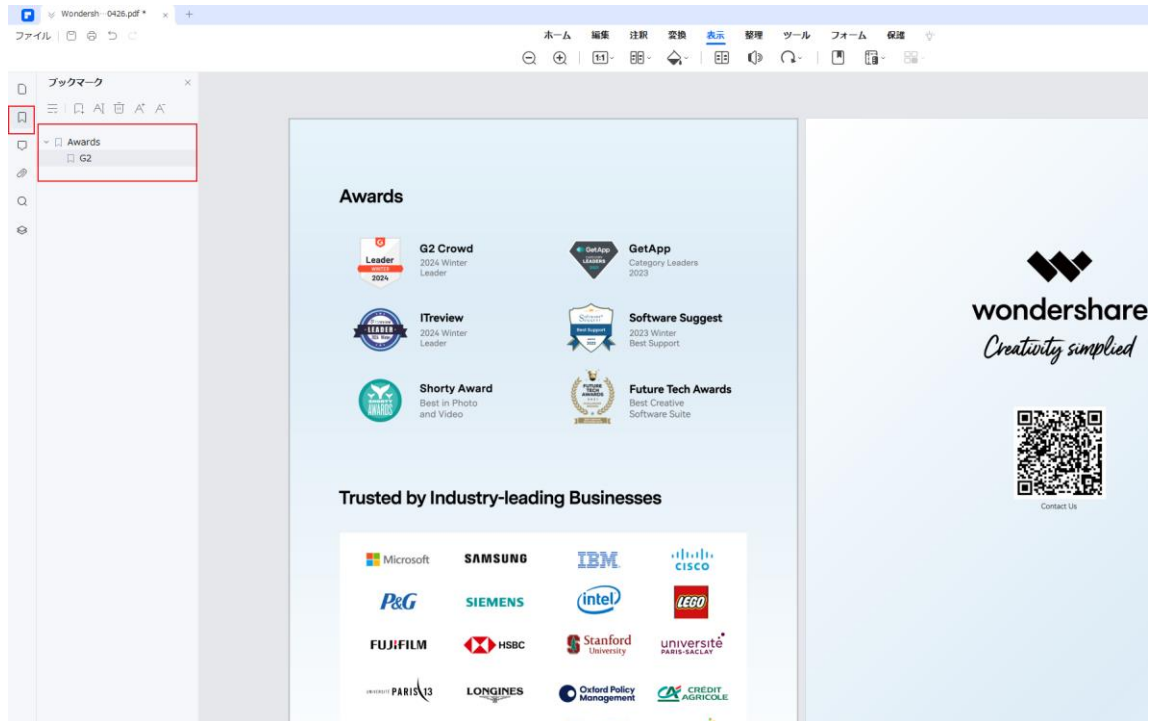
2. サムネイルパネル

サムネイルパネルでは、マウスのホイールを使ってドキュメント内のページをすばやくスクロールしたり、パネル内のスライダーをドラッグしてページを移動できます。サムネイルパネル内のページを右クリックすると、サムネイルのサイズを「ページサムネイルを拡大」や「ページサムネイルを縮小」で調整できます。



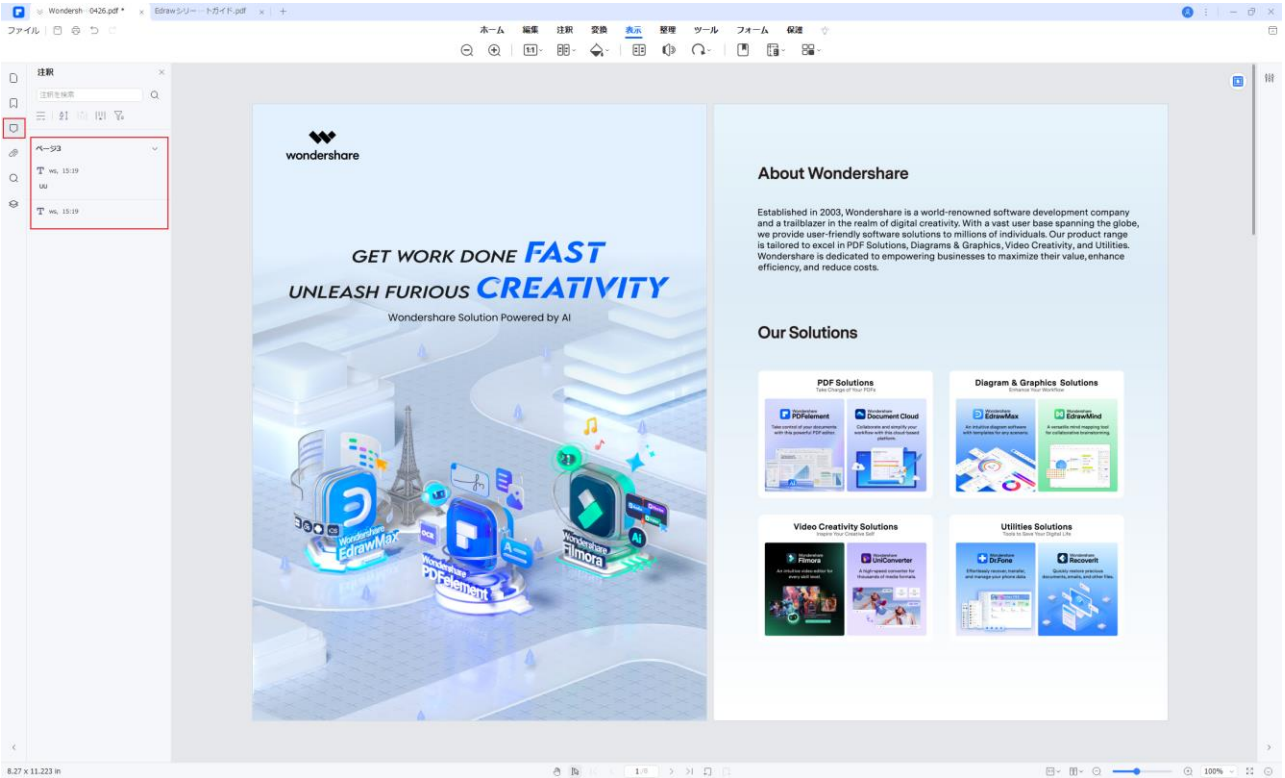
3. ブックマークパネル

ブックマークは、ブックマークパネル内にある特定のテキストへのリンクです。ブックマークを使うと、ドキュメント内の異なるページに移動できます。PDFelementでは、ブックマークを使ってPDFをナビゲートすることができます。ブックマークパネルに移動し、以前に設定したブックマークをクリックするだけで簡単に移動できます。



4. 注釈パネル

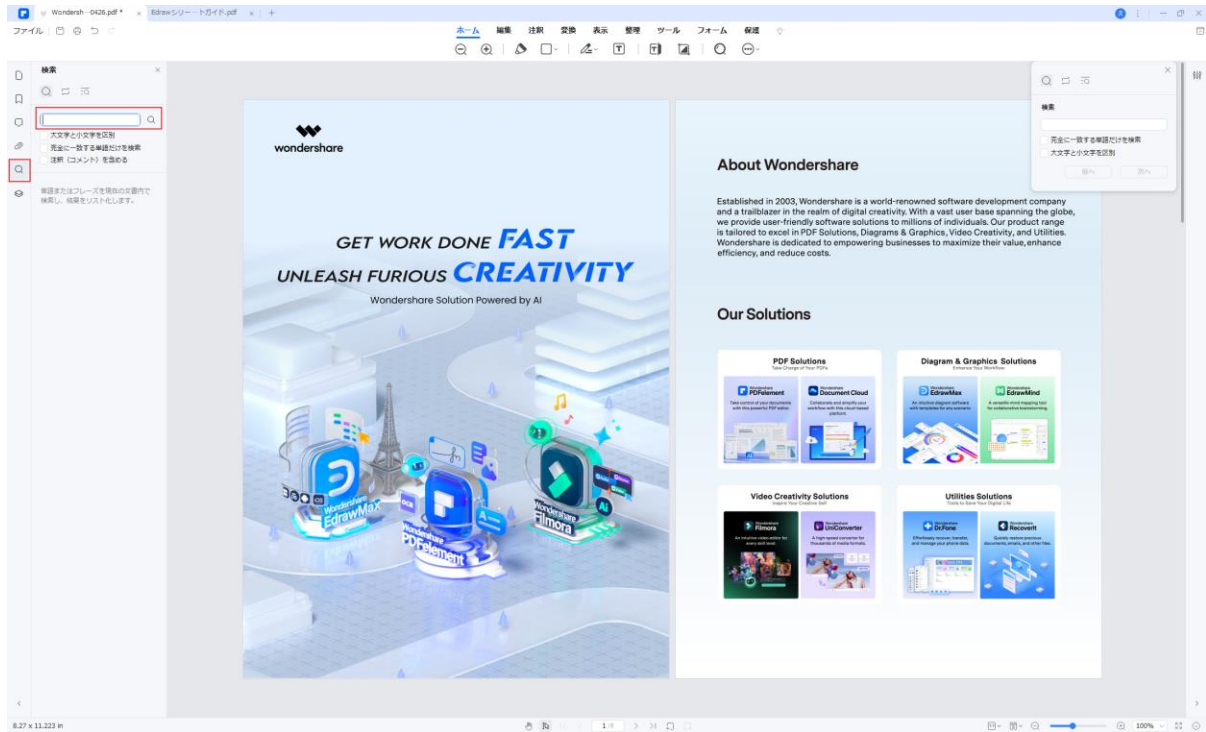
PDFドキュメントに注釈を追加している場合、すべての注釈のリストがここに表示されます。注釈はページ、日付、著者、タイプでソートすることができます。注釈をクリックすると、特定のページに移動できます。



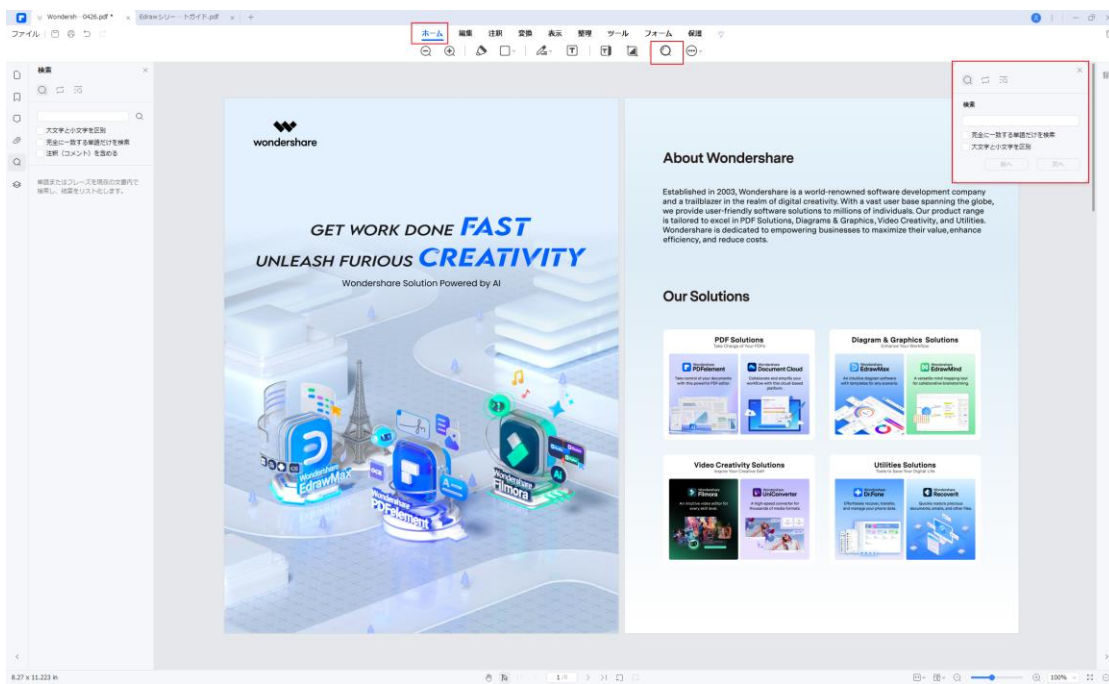
5. 検索パネル

PDFelementには強力な内蔵検索ツールがあり、アクティブなドキュメント内で特定のテキストを検索しながらPDFをナビゲートできます。検索を実行する方法は次の通りです：

- 左側のナビゲーション列の「検索パネル」をクリックし、ボックスにキーワードを入力してEnterキーを押すと、検索が開始されます。

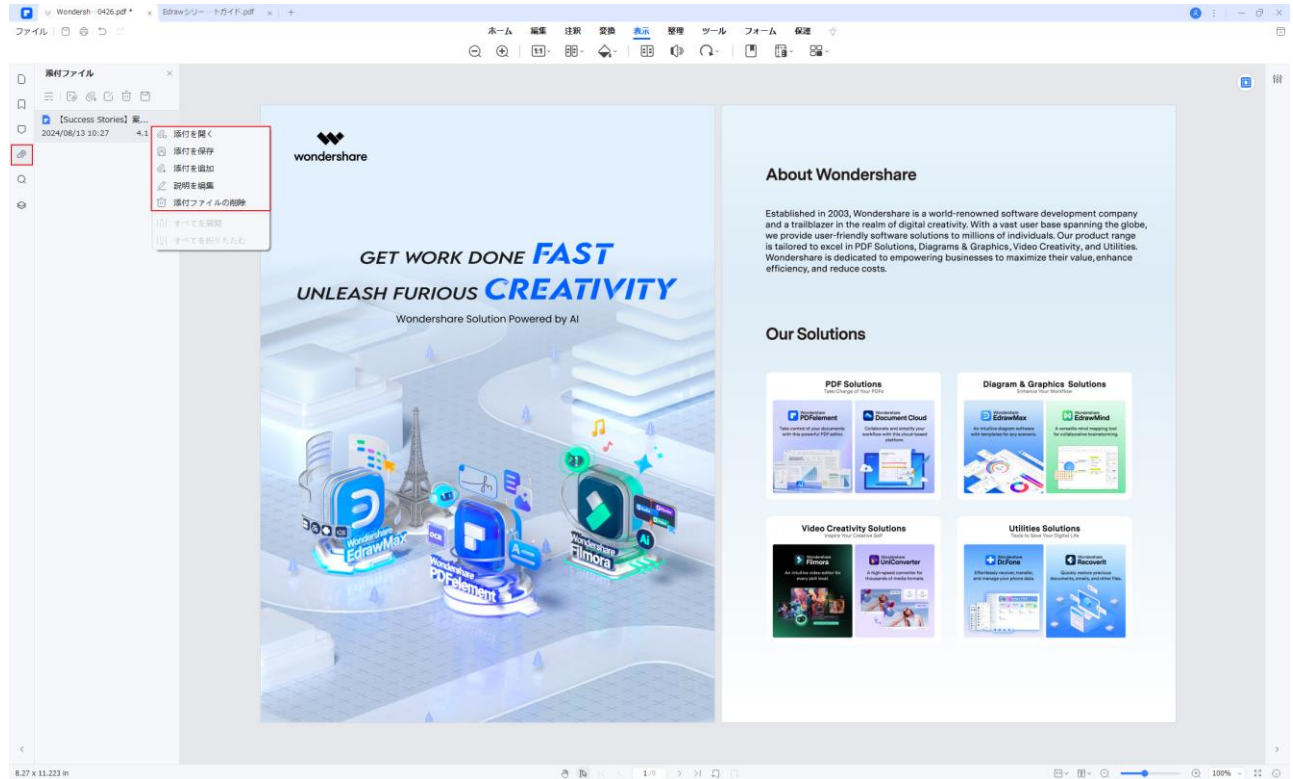


- 「ホーム > 検索」をクリックし、検索ボックスにキーワードを入力してEnterキーを押すと、検索が開始されます。



6. 添付ファイルパネル

添付ファイルが含まれているPDFを開く必要がある場合、添付ファイルパネルを使用してファイルが保存されている場所に移動できます。これらの添付ファイルを直接開いたり、新しい添付ファイルを追加したり、説明を編集したり、削除したり、保存したりすることができます。



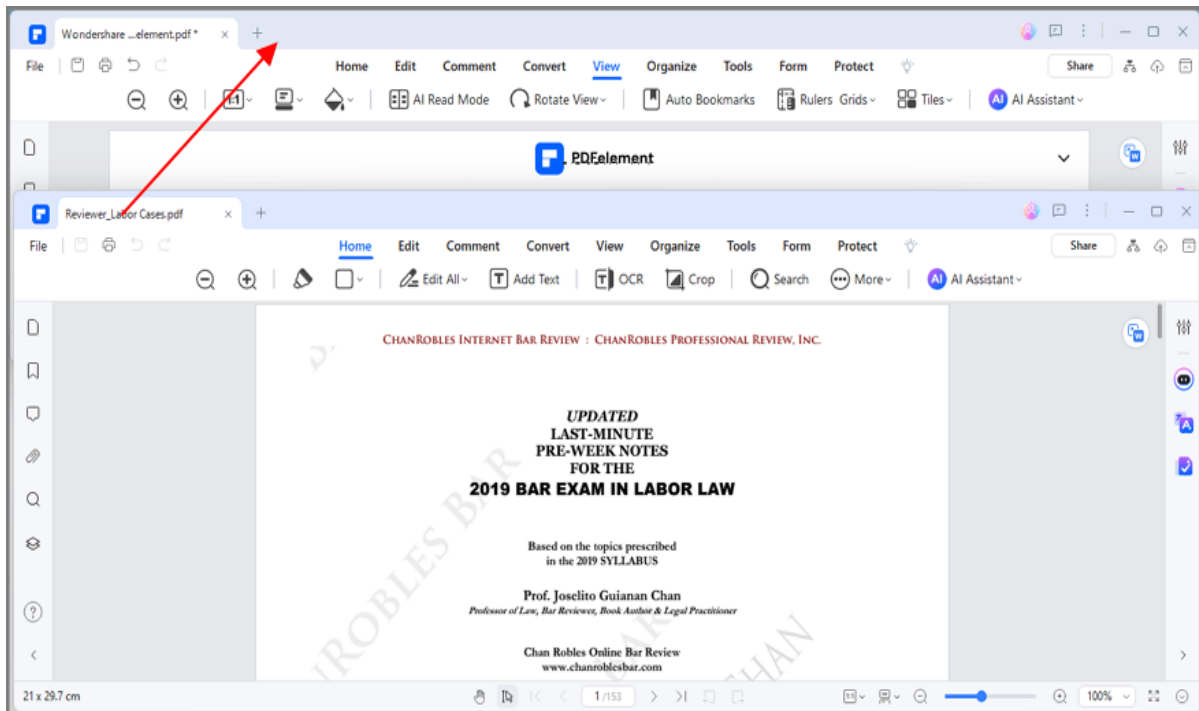
複数のPDFを異なるウィンドウで表示

PDFelementでは複数のPDFを異なるプログラムウィンドウで表示することがサポートされており、異なるファイルをより良く表示したり比較したりできます。

- 最初に複数のPDFファイルをプログラムで開き、「表示」>「並べて表示」ボタンをクリックします。
- ウィンドウを水平方向または垂直方向にタイル表示するオプションを選択します。

-
- The screenshot shows a dual-monitor workstation. The left monitor displays a presentation titled "About Khan Architects Inc." featuring a large image of a modern building. The right monitor displays a PDF file named "ppt file-sample-Copy.pdf" which contains the same presentation content. A red arrow points from the PDF title bar to the presentation title on the left monitor.

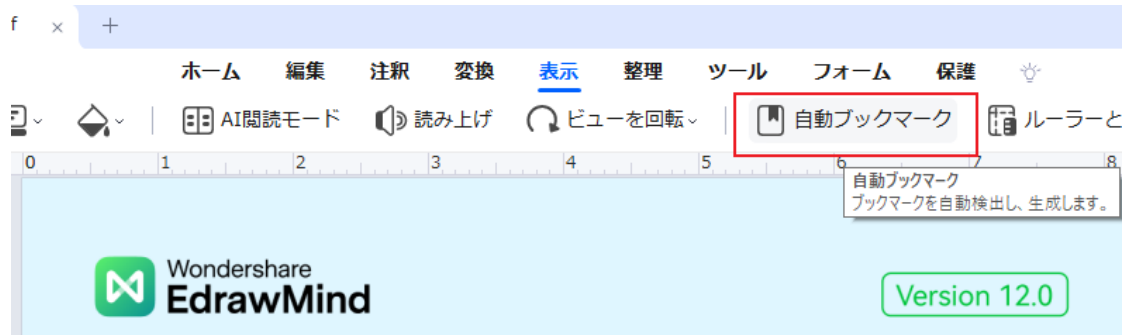
- 複数のウィンドウにタイル表示した後、ファイルのタブを一つずつ元のウィンドウにドラッグすると、すべての開いているファイルが一つのウィンドウに戻ります。



PDFにしおりを追加する方法

1. 自動的にしおりを作成する

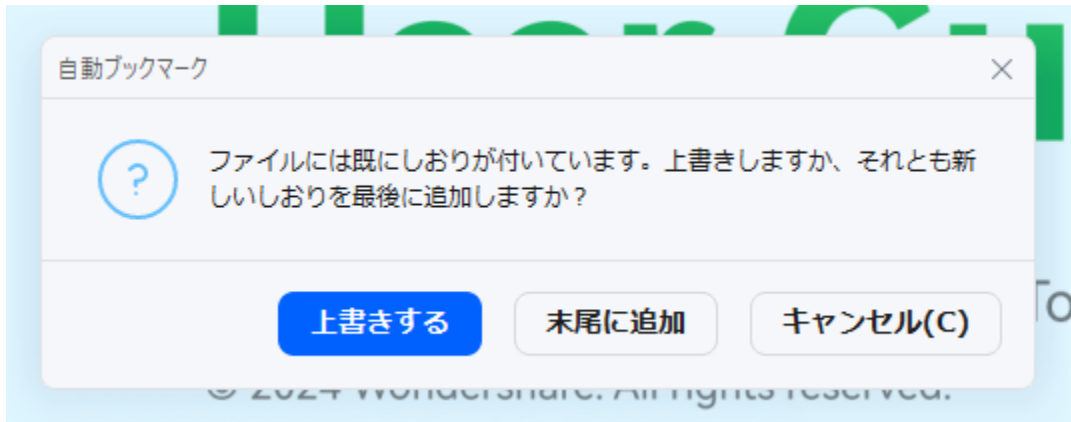
- PDFelementでは、PDF内の見出しスタイルに基づいてしおりを自動生成できます。「表示」タブの「自動しおり」ボタンをクリックするだけで、しおりが自動的に作成されます。



- 左側のしおりパネルを開き、自動生成されたしおりを展開して確認できます。

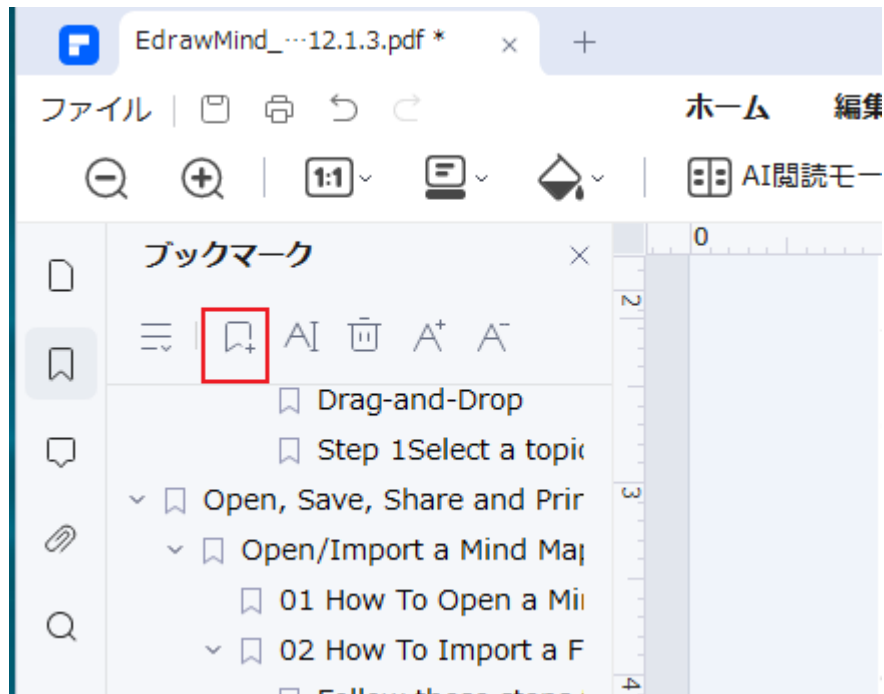


- PDFファイルに既にしおりが含まれている場合、「自動しおり」ボタンをクリックするとメッセージが表示されます。この際、既存のしおりを上書きするか、新しいしおりを末尾に追加するかを選択できます。



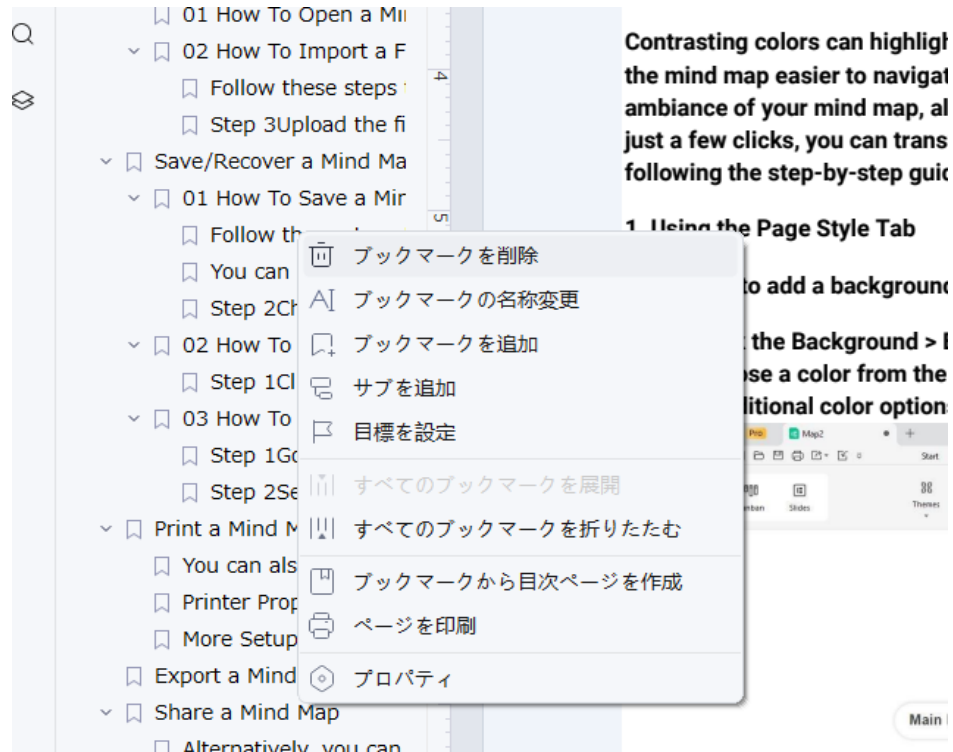
2. 手動でしおりを追加する

- しおりを追加するページへ移動
しおりを挿入したいページに移動し、しおりパネルを開いて「追加」ボタンをクリックすることで、しおりを挿入できます。
- しおりパネルを利用して追加
ファイルを開き、左側パネルの「しおり」ボタンをクリックすると、現在のページに直接しおりを作成できるしおりパネルが表示されます。



3. しおりを編集する

- 名前を変更
しおりパネルでしおりを右クリックし、「しおり名を変更」を選択して名前を変更します。
- 子しおりを追加
しおりパネルでしおりを右クリックし、「子しおりを追加」を選択して子しおりを作成します。
- 現在のページに設定
「現在のページに設定」を右クリックで選択し、しおりを現在のページに変更します。
- すべてのしおりを展開
「すべてのしおりを展開」を右クリックで選択し、子しおりを含むすべてのしおりを展開します。
- すべてのしおりを折りたたむ
「すべてのしおりを折りたたむ」を右クリックで選択し、子しおりを折りたたみます。



4. しおりから目次を作成する

PDFelementは、既存のしおりに基づいて目次を簡単に作成する機能を提供しています。この機能を使うことで、PDF内を効率的にナビゲートできます。

- 目次を作成する手順

PDFelementでPDFを開き、左側のしおりパネルを開きます。

しおりを右クリックし、「しおりから目次を作成」を選択します。"



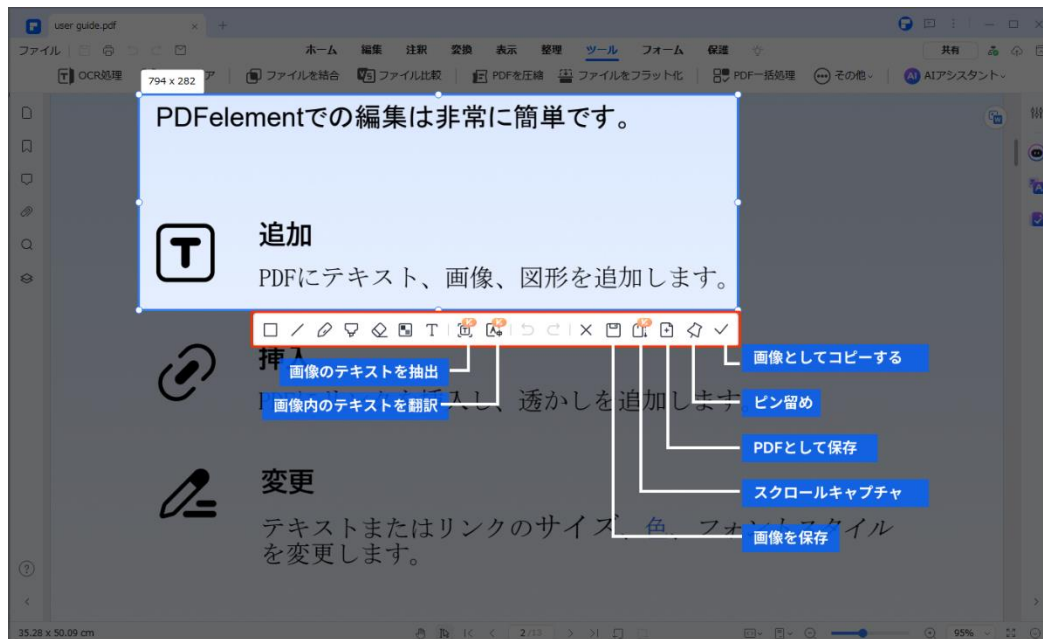
- 目次の利用
作成された目次はPDFの先頭に追加されます。
目次内の項目をクリックすることで、該当セクションに直接ジャンプできます。

画面キャプチャ

PDFelementのキャプチャツールで、PDFの一部を画像として保存・別のファイルに貼り付けることができます。

1、「ツール」→「その他」→「スクリーンショット」の順にクリックして、マウスで領域をクリックしてドラッグします。スクリーンショットを取ります。

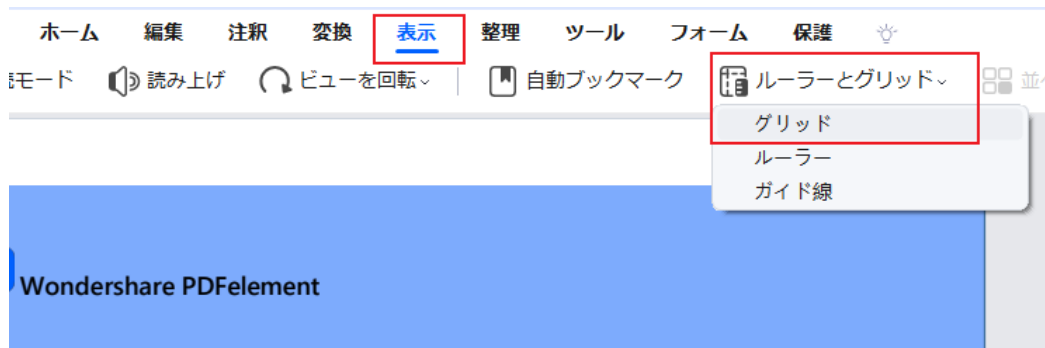
2、スクリーンショットを取る範囲を指定してから、画面下の「画像を保存、PDFとして保存、ピン留め」などのアイコンをクリックして、それぞれの操作が行われま



PDFを定規とグリッドで表示する方法

正確にコンテンツを配置したい場面では、PDFelementのPDF定規とPDFグリッドを活用することで、文書内のテキストやオブジェクトを精密に整理できます。「表示 > 定規とグリッド」オプションを使用して、定規やグリッドの表示・非表示を切り替えることができます。

- グリッドを表示
- 「グリッド」ボタンをクリックすると、PDF全体にグリッドが表示されます。再度「グリッド」ボタンをクリックすることで、このモードをオフにできます定規を表示:



「表示 > ルーラーとグリッド > ルーラー」ボタンをクリックすると、水平方向および垂直方向の定規が表示され、PDFファイル内の要素のサイズを測定できます。

- ガイドラインの追加と削除:
定規に平行な線をページ内の任意の場所にドラッグしてガイドラインを追加できます。ガイドラインを削除するには、線を選択してDeleteキーを押してください。

PDF内の単語数とページ数の確認方法

PDFelementは、PDFドキュメントの単語数やページ数を簡単に数える機能を提供しています。ワンクリックで素早く結果を確認できます。



単語数を数える手順

- PDFファイルをPDFelementで開きます。
- 「ファイル」ボタンをクリックし、ドロップダウンリストから「プロパティ」を選択します。
- 表示された「プロパティ」ウィンドウで「説明」タブに移動します。
- 「単語」オプションを見つけて「カウント」ボタンをクリックします。



- PDFelementがPDF内の単語数を即座に計算します。
- PDFのテキストに変更を加えた場合、再度「カウント」ボタンをクリックすると新しい単語数を計算できます。

ページ数を確認する手順

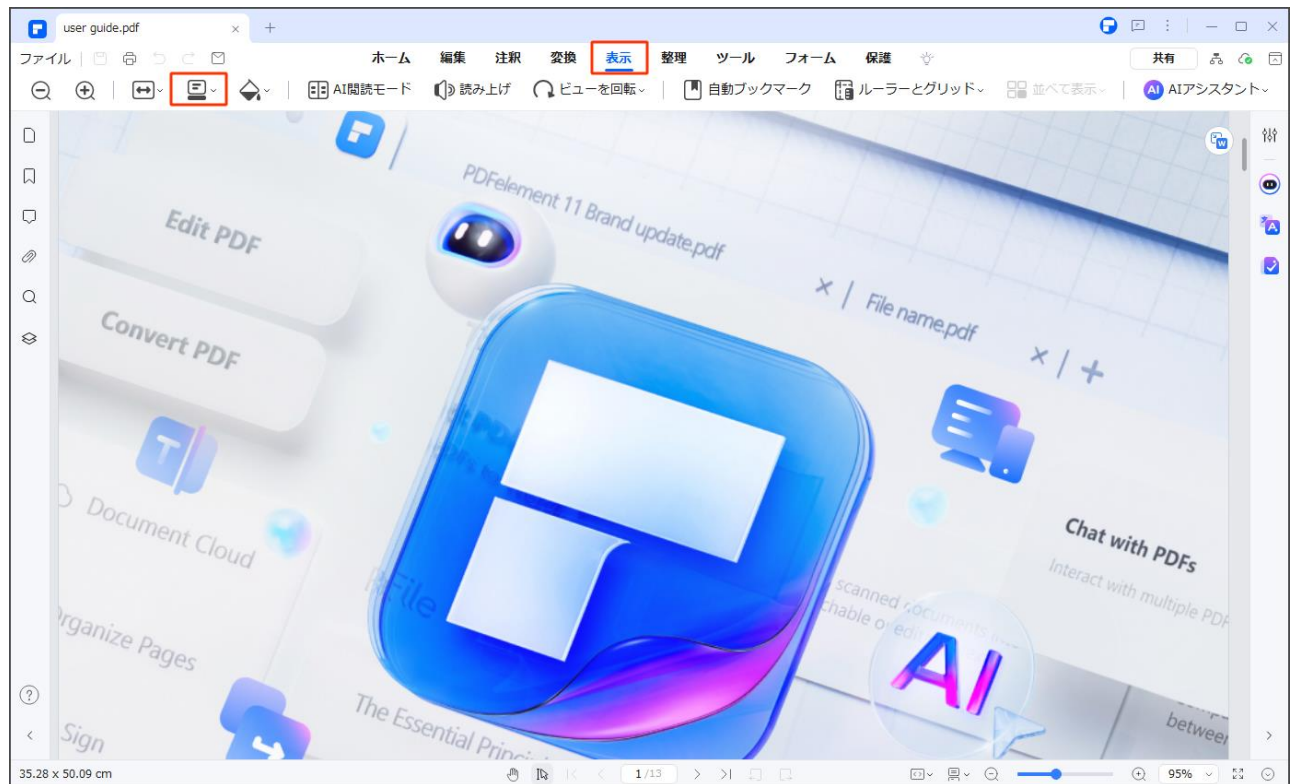
- 同じ「プロパティ」ウィンドウ内で「ページ」オプションを見つけます。
- PDFファイルのページ数がここに表示されます。



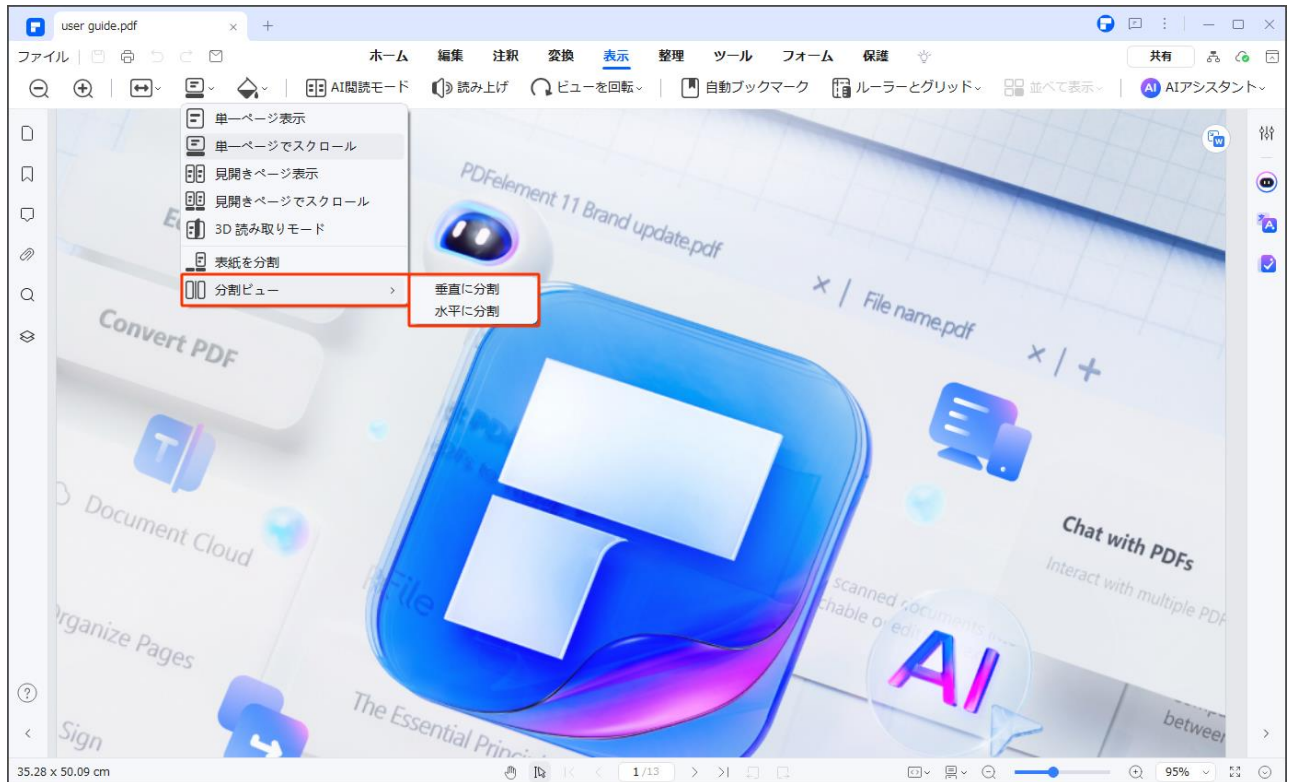
画面分割表示の使い方

画面分割表示は、PDF を 2 つの画面で別々に表示する機能です。これを使用して、連続していない 2 ページの情報を一度に表示することができます。一方の画面をスクロールしても、もう一方の画面の表示には影響しません。

- PDF を開き、「表示」>「閲覧モード」ボタンをクリックします。



- 「分割ビュー」をクリックし、「垂直に分割」または「水平に分割」を選択します。



- 「垂直に分割」を選択すると、一方の画面が右側に、一方が左側に表示されます。一方の画面にカーソルを合わせ、下にスクロールしてテストします。もう一方の画面は動きません。

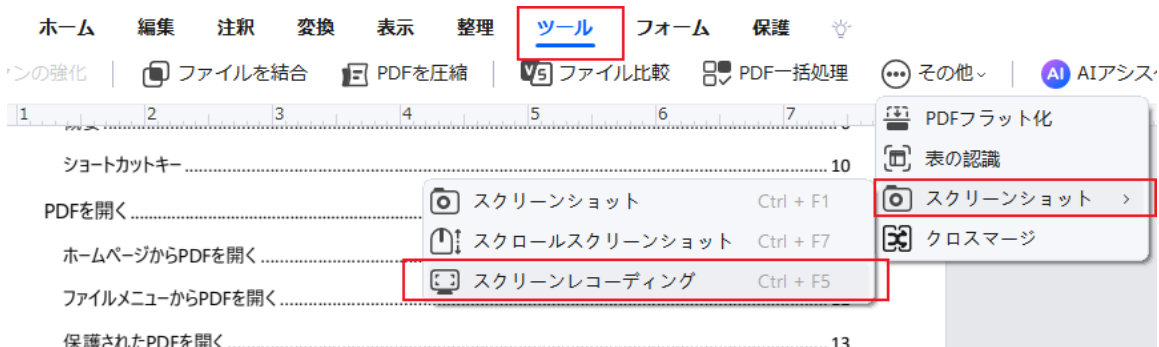


- 「水平に分割」を選択すると、一方の画面が上部に、一方が下部に表示されます。一方の画面にカーソルを合わせ、下にスクロールしてテストします。もう一方の画面は動きません。



PDFの画面録画を作成する方法

PDFelementを使用してPDFドキュメントの画面録画を行う手順は以下の通りです：

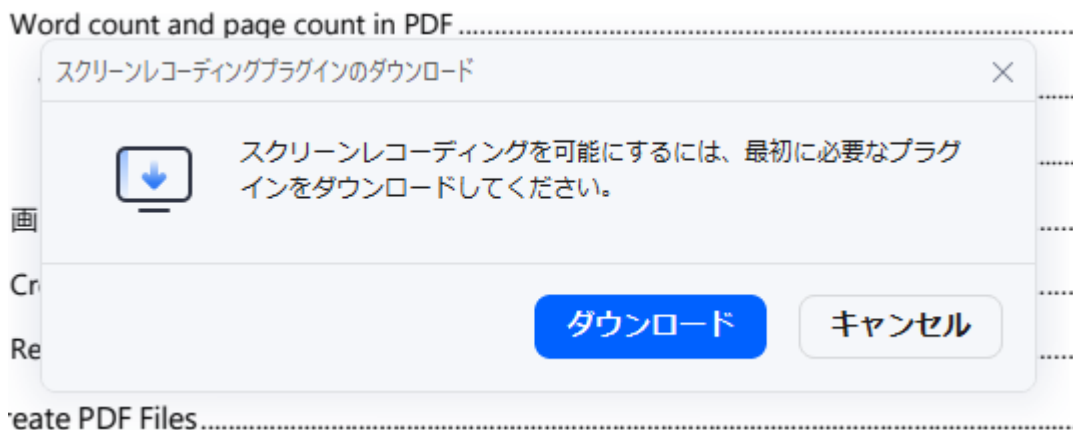


1. 録画モードの選択

「ツール」タブから「スクリーンショット」ボタンをクリックし、ドロップダウンメニューから「画面録画」を選択します。

2. プラグインのダウンロードと起動

ダイアログボックスが表示され、プラグインのダウンロードを促されます。「ダウンロード」をクリックしてプラグインをインストールし、完了後に「起動」をクリックします。



3. 録画範囲の選択

画面上に十字線が表示されます。マウскарソルを使用して録画したいエリアをドラッグして選択します。



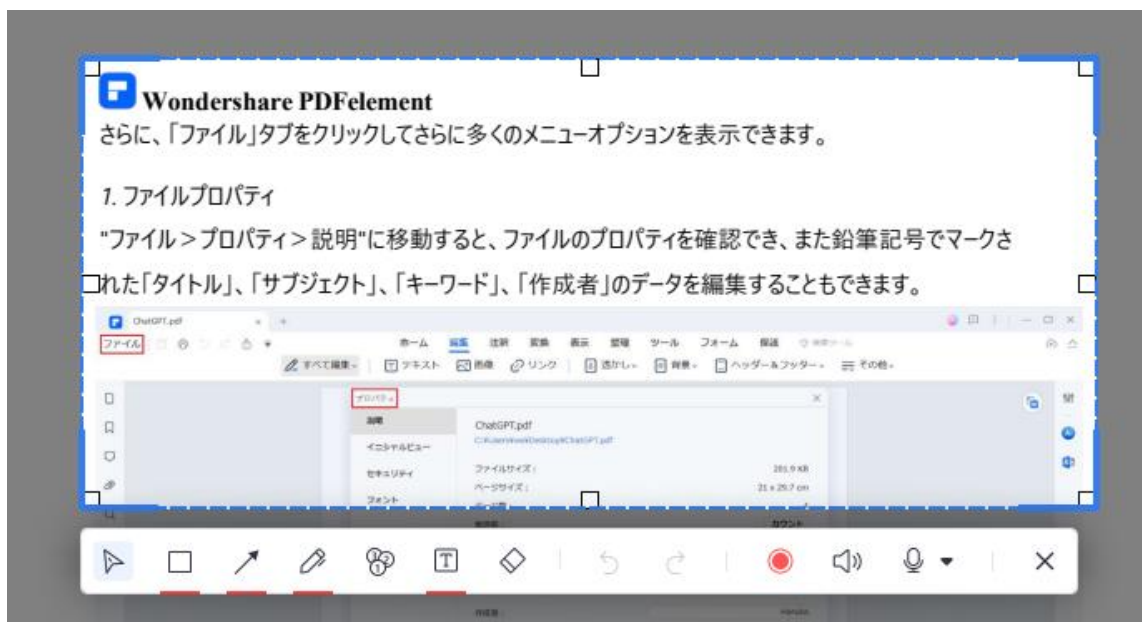
ツールバーには異なるタブと異なるツールが表示されます。これは「編集」機能のツールバーです。さらに、

4. 録画ツールバーの操作

録画範囲を選択すると、2つのツールバーが表示されます。

上部バー: 録画範囲のアスペクト比を調整したり、画面全体を録画するオプションを選択可能です。

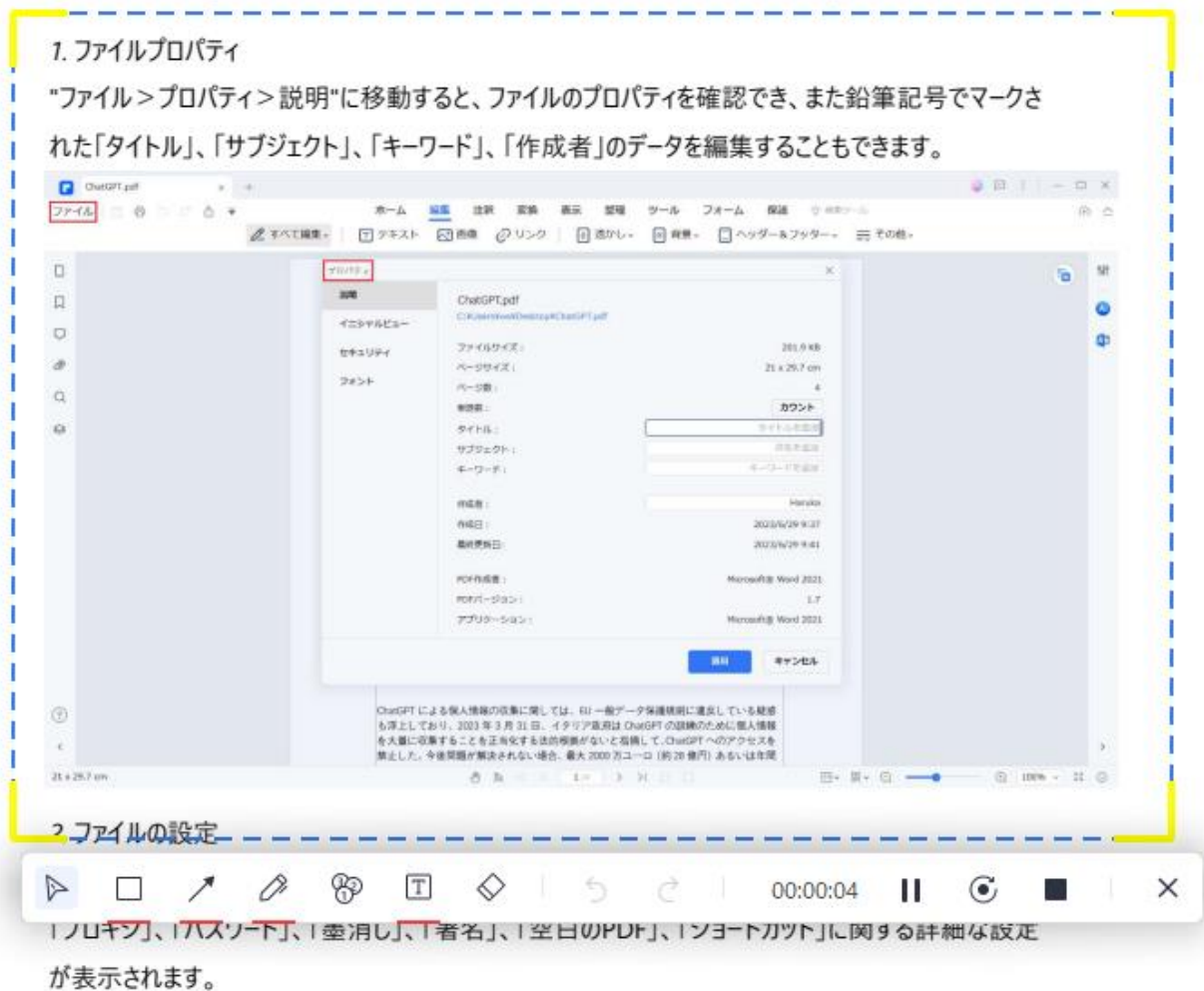
下部バー: 以下のオプションが利用可能です。



- カーソル: 録画エリアを移動
- 矩形: 矩形マークを追加
- 矢印: 矢印マークを追加
- ペン: 手書き描画を追加
- 番号インデックス: 番号を追加
- オブジェクト消去: 描画を削除
- 元に戻す: 前の操作を取り消し
- やり直し: 前の操作を再実行
- 録画: 録画を開始
- 音声: システム音の有効化/無効化
- マイク: マイクを選択
- 終了: 録画を終了

5. 録画の開始と停止

「録画」ボタンをクリックして録画を開始します。録画中にマークや描画を追加できます。録画を停止するには「終了」ボタンをクリックします。



6. 録画ファイルの確認

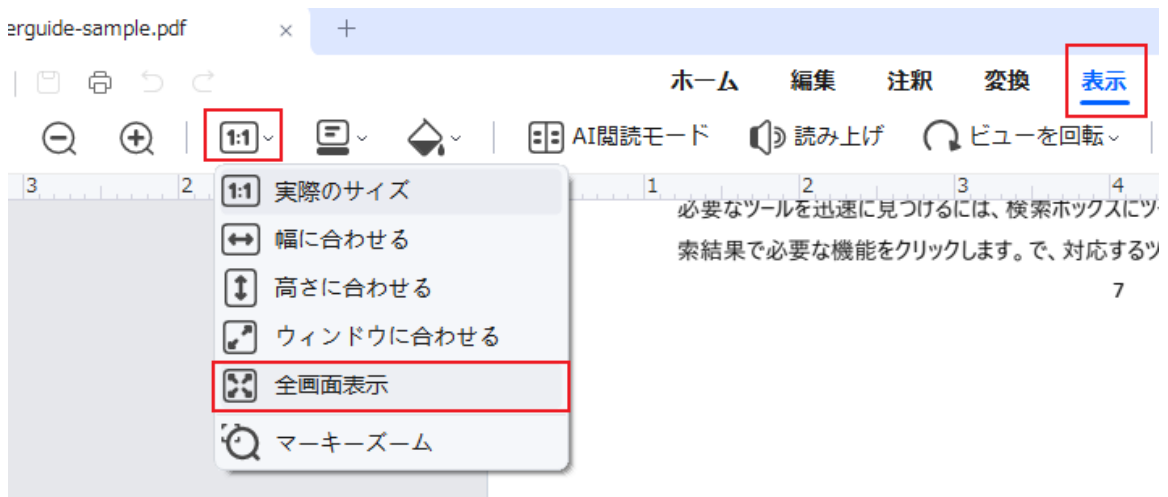
録画終了後、「フォルダーを開く」オプションが表示されます。これをクリックすると録画ファイルを確認できます。

PDFファイルを読む方法

PDFelementを使ったPDF閲覧の機能と操作方法を以下にご紹介します。

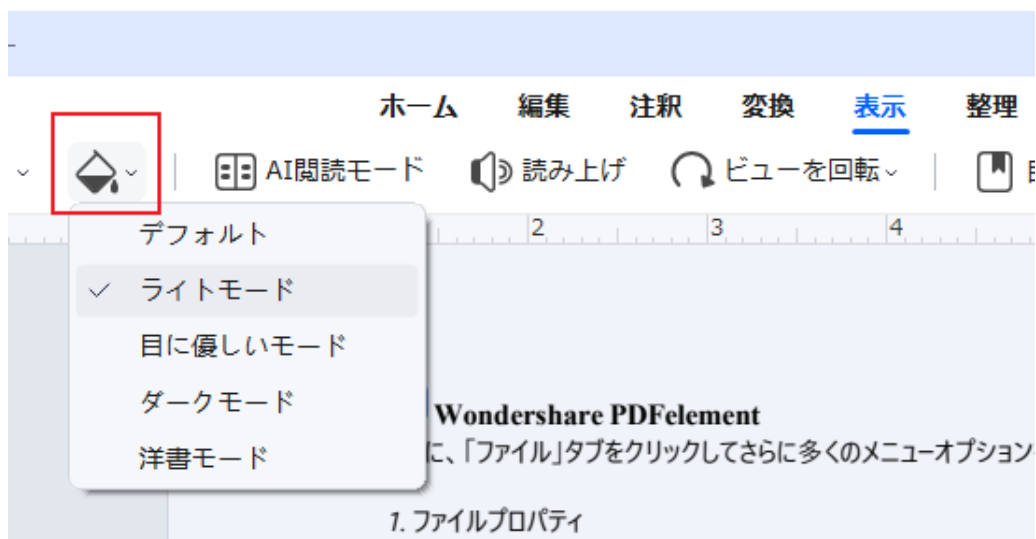
1. 全画面表示モードでPDFを閲覧する

情報や指示を確認する際は、全画面モードを使用して集中して閲覧することをお勧めします。「表示 > 全画面」を選択するか、画面右下をクリックしてください。また、ショートカットキー「F11」でも切り替えが可能です。



2. 表示テーマを調整する

「表示 > 背景」で、閲覧時の背景を好みに応じて変更できます。



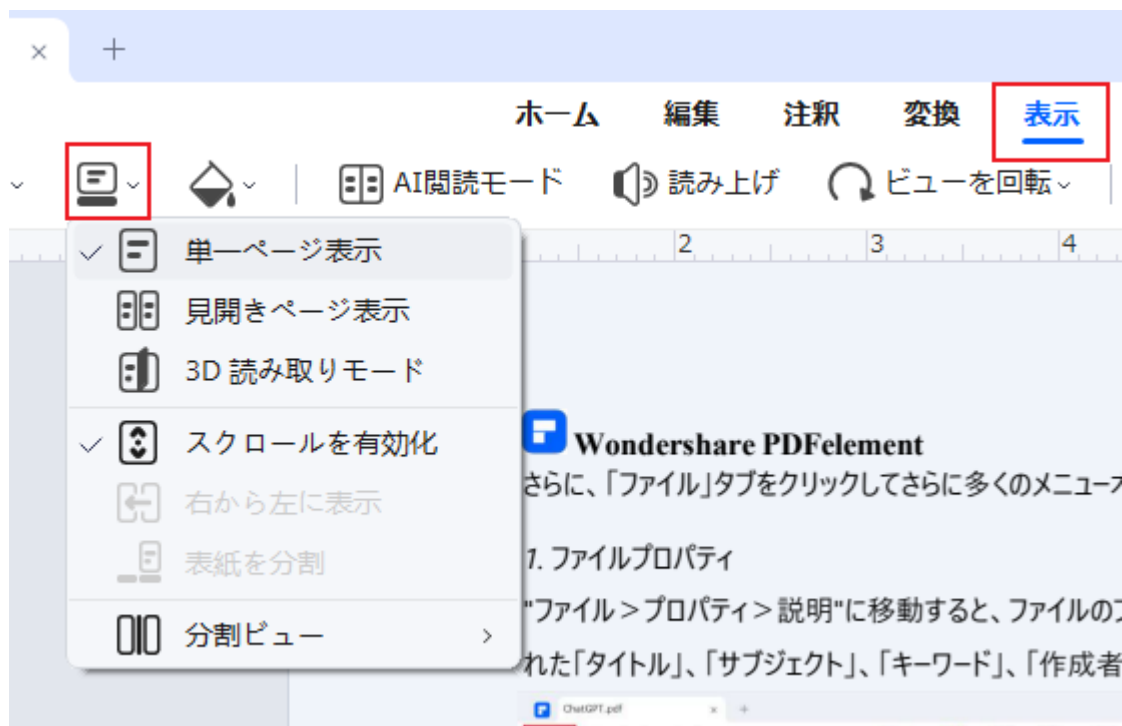
3. ページの向きを変更する

「表示 > ビューの回転」で、「時計回り」または「反時計回り」にページの向きを変更できます。



4. 文書レイアウトを設定する

「表示」タブや画面下部のフローティングバーから、PDF文書のレイアウトを調整できます。



- 単一ページ表示: 1ページを一度に表示
- スクロール有効化: 縦方向にスクロール可能な連続表示
- 見開きページ表示: 2ページを並べて表示

5. ズーム機能

ズームツールを使用してPDFの表示を拡大または縮小できます。最小1%、最大6400%まで調整可能です。



6. ページレイアウトの調整

「表示」タブから以下のレイアウト設定が選べます。



- 実際のサイズ: ページを100%表示にする
- 幅に合わせる: ウィンドウの幅に合わせて調整
- 高さに合わせる: ウィンドウの高さに合わせて調整
- ウィンドウに合わせる: ページ全体をウィンドウに収める
- 全画面: メニューバーなどを非表示にして画面全体を使用

7. 表示設定を好みに合わせる

「ファイル > 環境設定 > 一般」から「デフォルトページレイアウト」と「デフォルトズーム」を設定し、すべてのPDFを統一した形式で表示できます。



8. 初期表示設定

頻繁にレビューするファイルについては、PDFelementで開く際の初期設定を調整可能です。「ファイル > プロパティ > イニシャルビュー（初期表示）」で設定を変更し、「ファイル > 保存」または「名前を付けて保存」で確定します。この設定を行うと、ファイルは常に選択した設定で開くようになります。

Wondershare PDFelement

- ナビゲーションタブ

ドキュメントを開いたときに、しおりパネルやサムネイルパネルを自動的に表示するかどうかを設定できます。

- レイアウト

ドキュメントの表示モードを設定できます。単一ページ表示、2ページ表示などが選択可能です。

- 表示

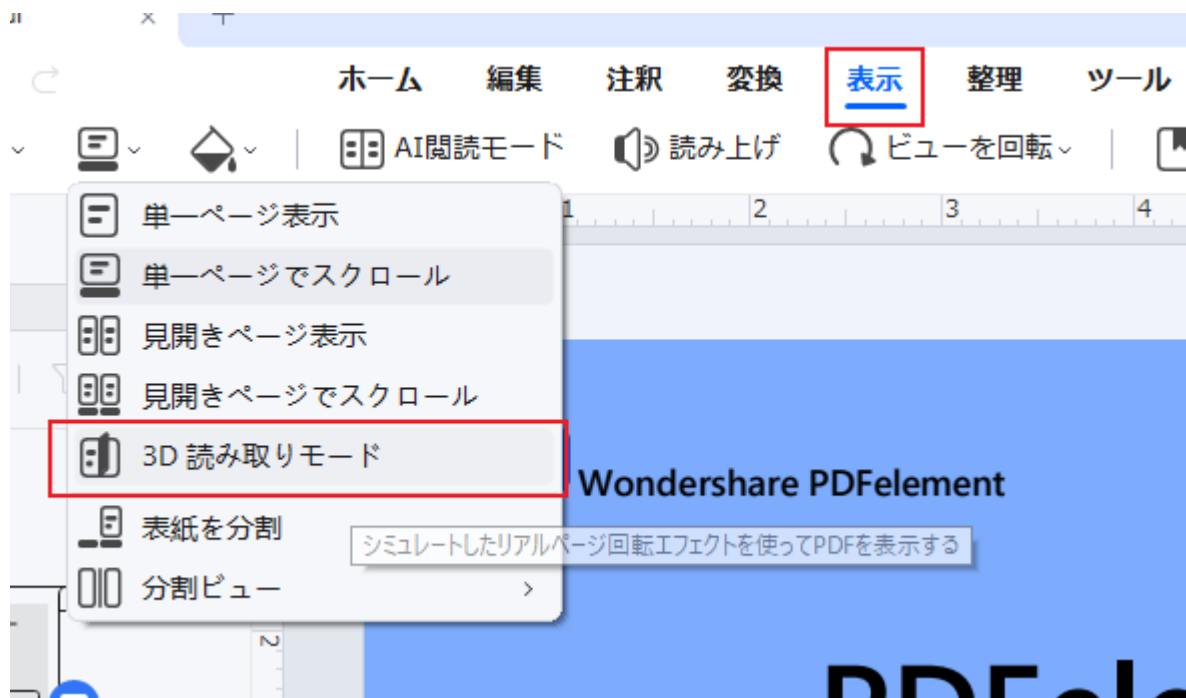
ドキュメントの全体的な表示スタイルを設定できます。

- 指定ページから開始

ドキュメントを開く際に特定のページから開始する設定が可能です（例：ページ2を設定すると、毎回ページ2が開きます）。

9. 3D読み取りモード

PDFelementの「3D読み取りモード」を使って、現実的なページめくりエフェクトとともに、没入感のある読書体験をお楽しみください。





Wondershare PDFelement

- 3D読み取りモードの有効化

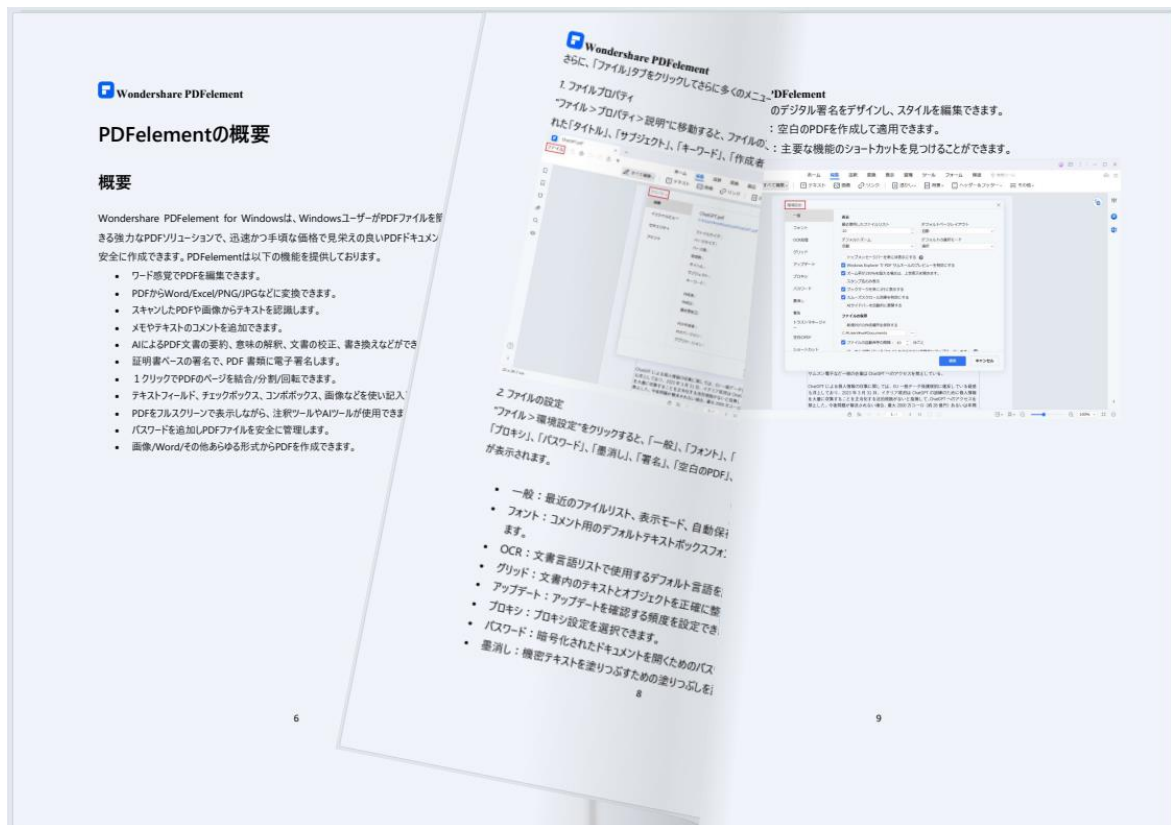
「表示」タブで「ページビュー」アイコンをクリックし、「3D読み取りモード」を選択します。

- リアルな2ページビュー

PDFが2ページ表示になり、まるで本を読んでいるかのような感覚が得られます。

- ページ移動

キーボードの下矢印キーを押すだけで次のページに簡単に移動できます。リアルなページめくりエフェクトで、より魅力的な読書体験を提供します。



PDFファイルを作成する方法

PDFファイルを作成する方法

PDFelementを使用してPDFファイルを効率的に作成する方法を以下に説明します。

1. ファイルエクスプローラーからPDFを作成

PDFelementでは、印刷可能な形式のファイルから簡単にPDFを作成できます。

- デスクトップでPDFelementを開き、ホームページに表示される「PDFを作成 > ファイルから」をクリックします。

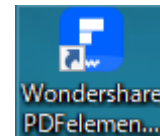


- 既にPDFを開いている場合は、「ファイル > 作成 > ファイルから」を選択します。



2. ドラッグ&ドロップでPDFを作成

ファイルをドラッグ&ドロップするだけで、プログラム内で簡単にPDFを作成できます。

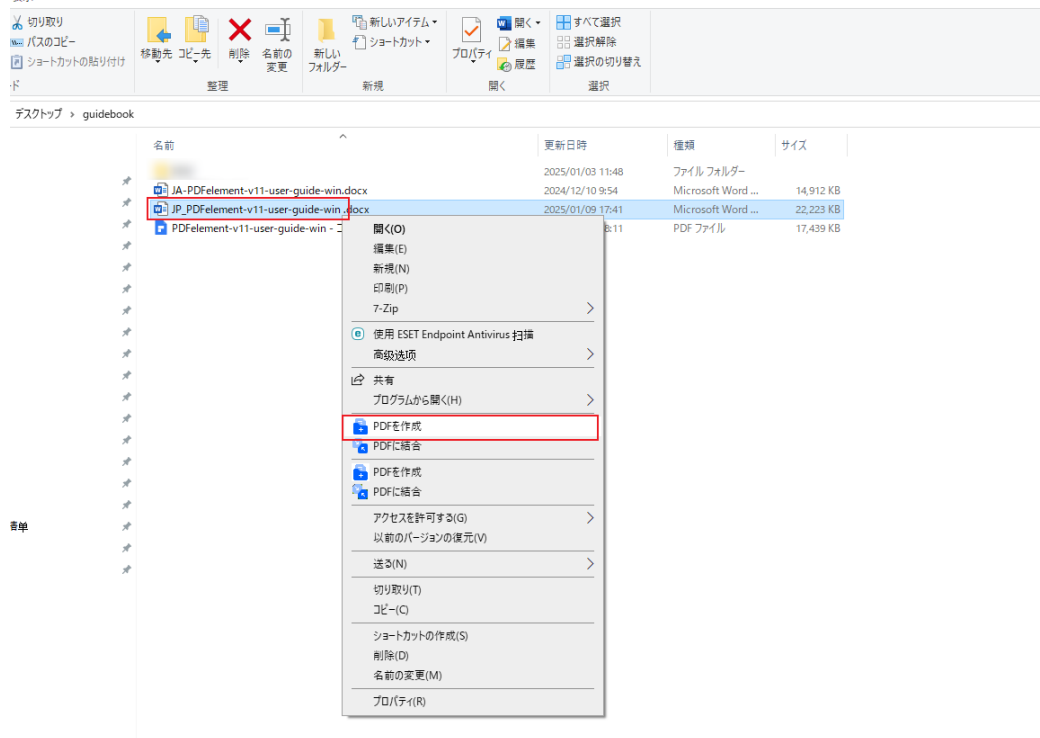


- 変換したいファイルをPDFelementのデスクトップアイコンにドラッグします。
- PDFelementが開いている場合は、アプリケーションウィンドウ内に直接ファイルをドラッグします。

3. 右クリックでPDFを作成

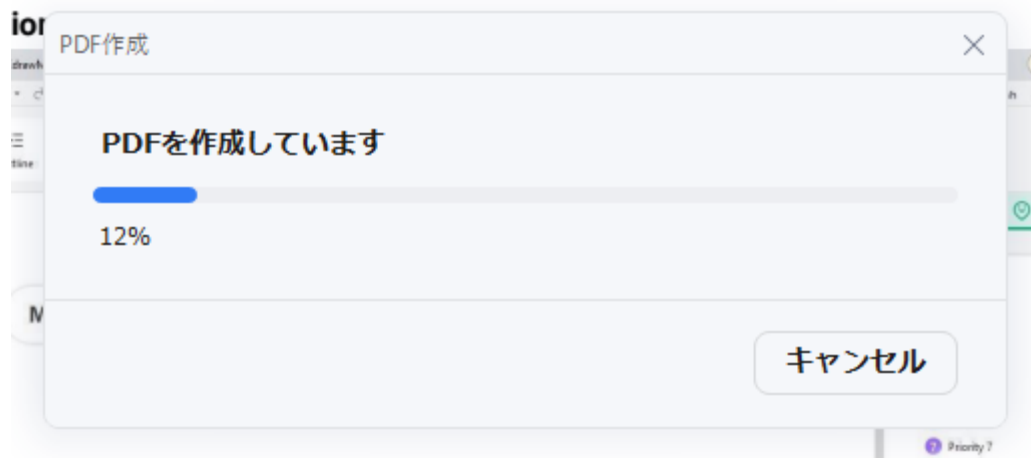
PDFelementはWindowsシステムに対応しており、Word、Excel、PowerPoint、テキスト、画像などのドキュメントを右クリックで直接PDFに変換できます。

- 対象のドキュメントを右クリックします。
- メニューから「Wondershare PDFelementでPDFに変換」を選択します。



- 数秒でPDF形式に変換されます。変換後、作成されたPDFファイルがPDFelementで開きます。
- 「Ctrl + S」を押してPDFファイルを保存します。

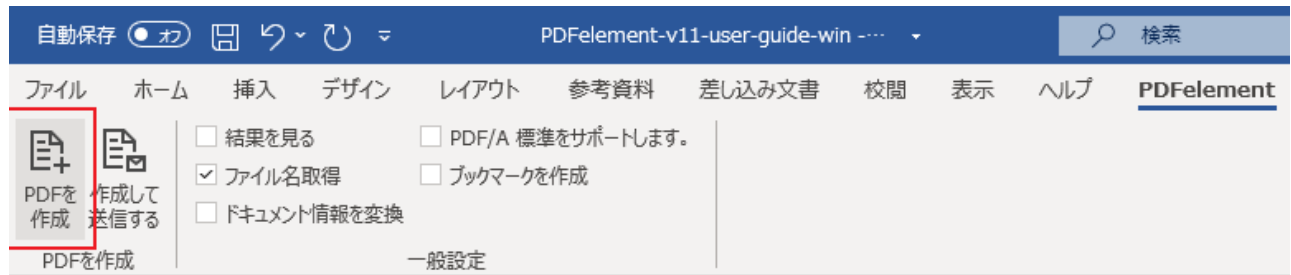
re finished editing your mind map. Alternatively, click the File tab in the



4. Microsoft OfficeでPDFを作成

PDFelementは、Microsoft Office（Word、Excel、PowerPoint）内から直接PDFを作成する機能も提供しています。

- Word/Excel/PPTファイルを開きます。メニューに「PDFelement」ボタンが表示されます。
- 「PDFelement > PDFを作成」をクリックして、PDFドキュメントを迅速に作成します。



空白PDFの作成

PDFelementを使用して、ファイルや画像、スキャンデータを使用せずに空白のPDFを作成できます。

- 空白のPDFを作成する手順

1 ホームページの「PDFを作成 > 空白のPDF」ボタンをクリックします。



2 既にPDFを開いている場合は、「ファイル > 作成 > 空白のPDF」ボタンをクリックして直接作成できます。

3 テンプレートモールからテンプレートを使用して、時間を節約することも可能です。

- 空白PDFの編集

作成後、「編集 > テキストを追加」または「コメント > タイプライター」ボタンをクリックしてページにテキストを追加できます。また、他のボタンを使用してPDFに必要な操作を加えることができます。「ファイル > 保存」をクリックして、作成したPDFをコンピューターに保存してください。

複数ファイルをPDFに変換

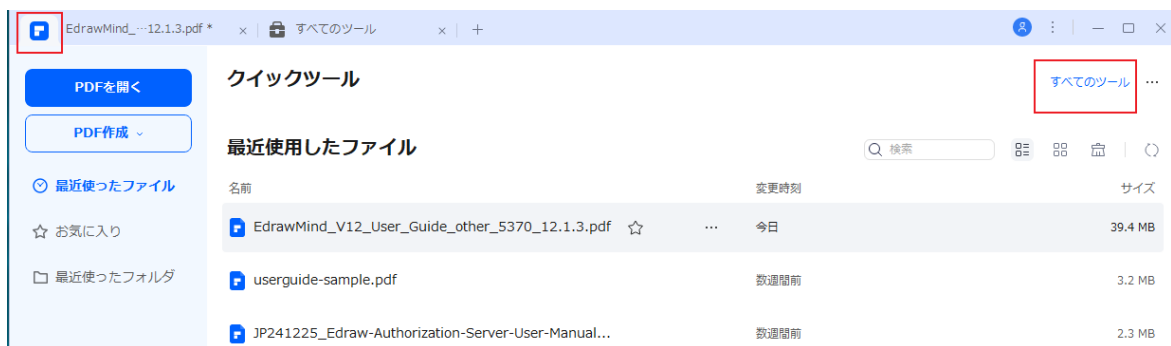
Officeファイル、メール、ウェブサイト、または印刷可能な任意のファイルをPDFに変換できます。

1. 複数ファイルからPDFを作成

PDFelementの「結合」機能を使用して、異なる形式のファイルを1つのPDFファイルに簡単に結合できます。

手順

- PDFelementを起動し、「すべてのツール」の「結合」ボタンをクリックします。



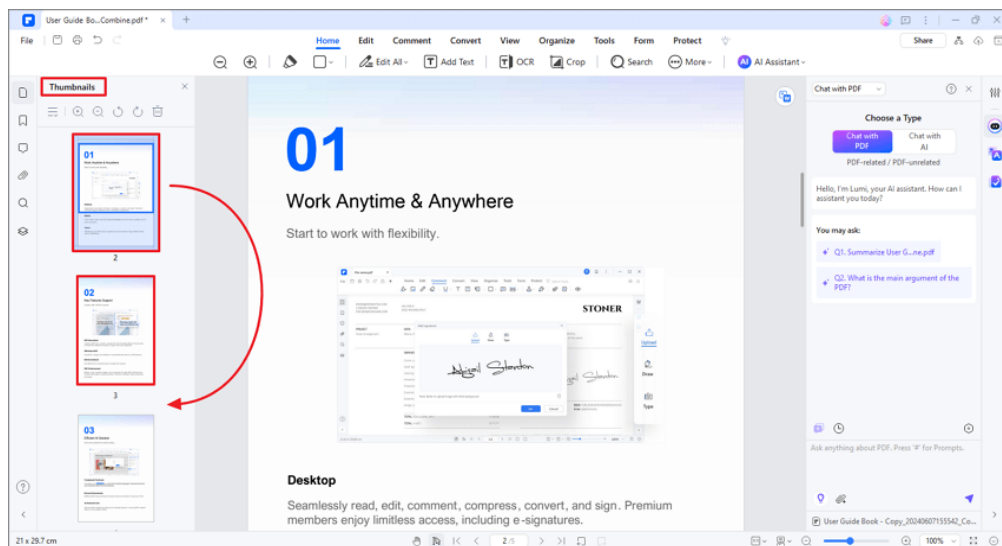
- ファイルをドラッグ&ドロップして境界領域に追加するか、「ファイルを追加」オプションを使用して複数のファイルを選択します。



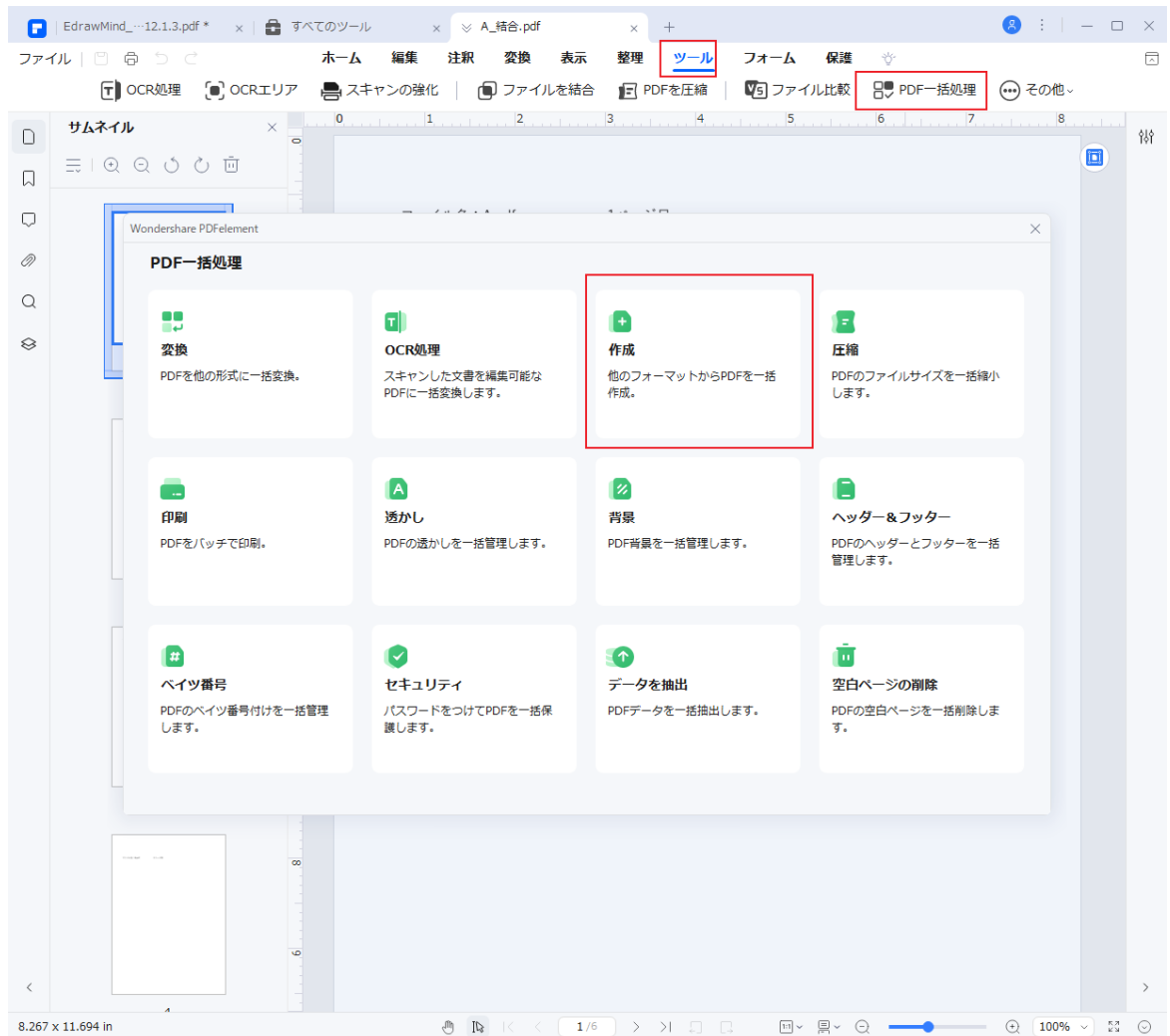
- 必要に応じて「ファイルを追加」をクリックしてさらにファイルを追加したり、「ページ範囲」で特定のページを選択したり、追加したファイルを削除することができます。
- 「適用」ボタンをクリックすると、作成されたPDFファイルがアプリケーションウィンドウに表示されます。ページ順序を変更したい場合は、左側のサムネイルパネルでページをドラッグして上下に移動させ、「ファイル > 名前を付けて保存」をクリックして保存してください。

2. PDF一括処理でPDFを作成

PDFelementを使用すると、複数のファイルを一度にPDFに変換できます。



- ・ ホームメニューで「ツール > PDF一括処理」ボタンをクリックします。
- ・ 表示されたウィンドウで「作成」オプションを選択し、必要なファイルを追加します。
- ・ 最後に「適用」ボタンをクリックしてプロセスを完了します。



ファイルをPDFに印刷

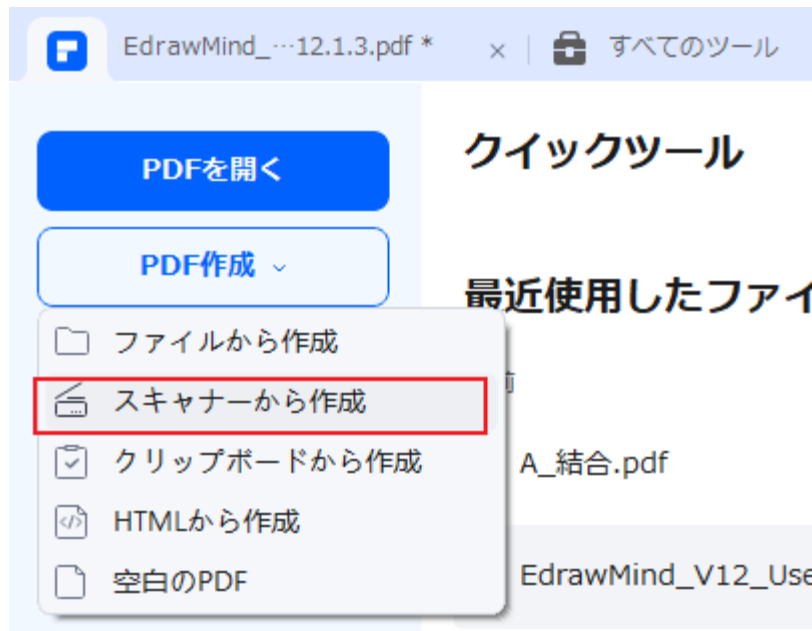
PDFelementプリンターは標準的なプリンターのように機能するため、任意のWindowsアプリケーション（例：Notepad、Outlook Express、Internet Explorer）からPDFとして印刷できます。

- ファイルを作成元のアプリケーションで開きます。
- 「ファイル > 印刷」をクリックします。
- プリンターとして「Wondershare PDFelement」を選択し、「印刷」ボタンをクリックします。
- ファイルがPDFelementアプリケーションウィンドウで開きます。「ファイル > 保存」をクリックしてPDFとして保存してください。

スキャンしたドキュメントをPDFに変換

PDFelement Professionalは、スキャナーやモバイルデバイスから直接PDFを作成する機能を提供します。

- プログラムを開き、「PDFを作成 > スキャナーから」をクリックします。



- 使用するスキャナーやデバイスを選択し、「スキャン」ボタンをクリックして作成を開始します。

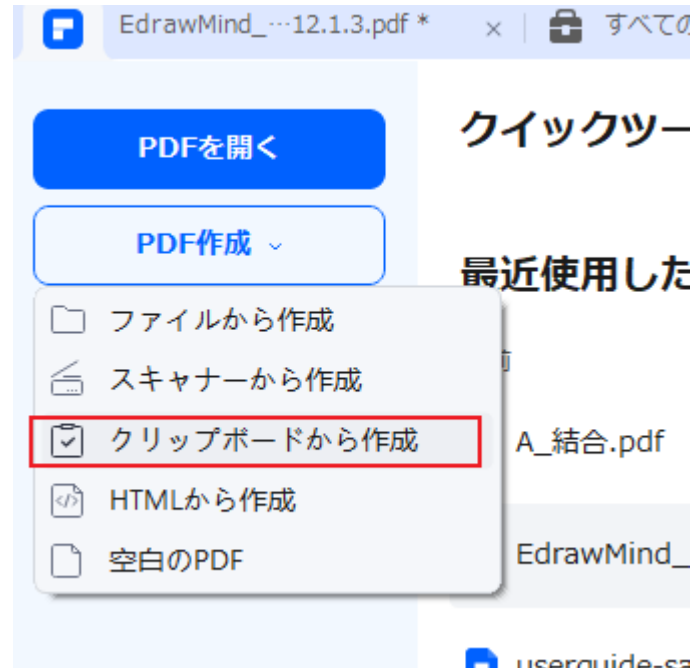


- スキャンした画像を選択してPDFとして作成するか、さらにページをスキャンして1つのPDFとして作成することも可能です。
- 作成されたPDFファイルはプログラム内で直接開かれます。作業を開始するか、コンピューターに保存してください。

クリップボードからPDFを作成

PDFelementでは、クリップボードの内容を直接PDFに作成することが可能です。

- プログラムを開き、「PDFを作成 > クリップボードから」をクリックします。

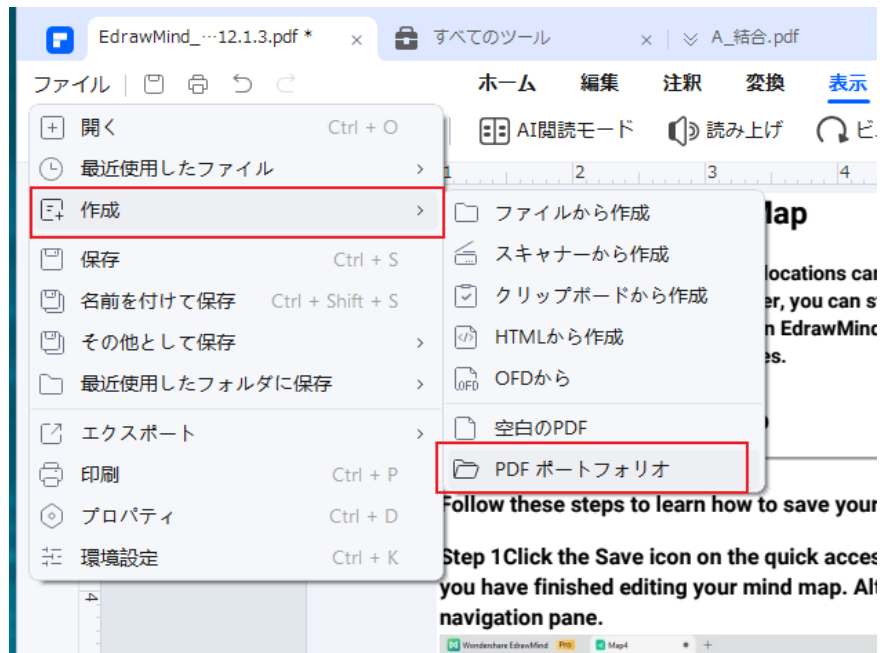


- クリップボードの内容がPDFとして作成され、PDFelement内で処理できます。最後に「保存」アイコンをクリックしてPDFを保存してください。

PDFポートフォリオを作成

PDFelementでは、複数のファイルを1つのポートフォリオ内で表示するPDFポートフォリオの作成が可能です。

- PDFelementのホームページで「PDFを開く」をクリックしてPDFファイルを開きます。
- 「ファイル > 作成 > PDFポートフォリオ」をクリックしてポートフォリオを作成します。



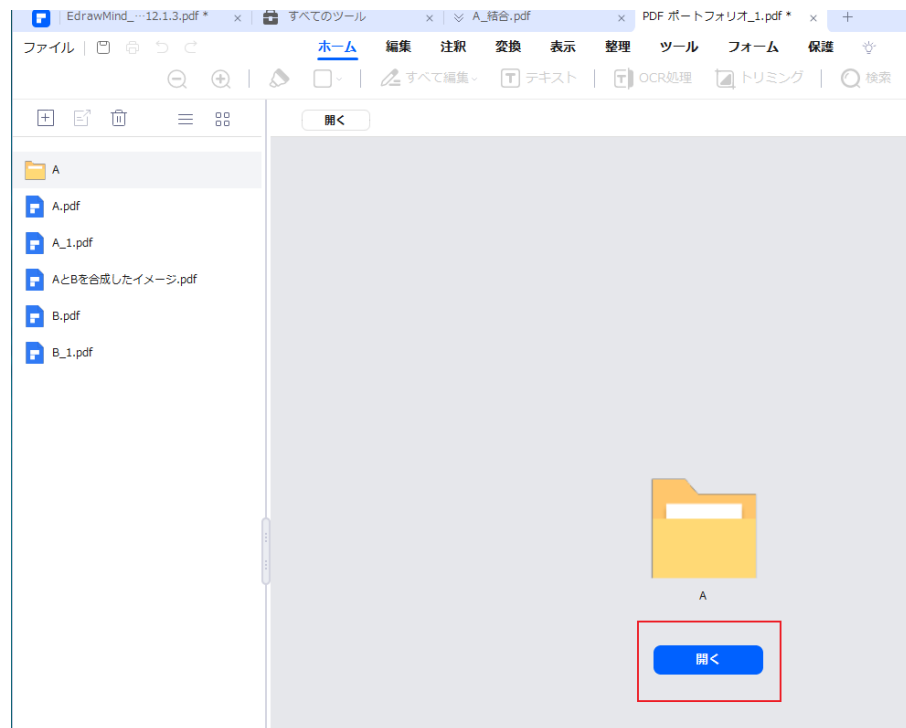
- 「ファイルを追加」または「フォルダを追加」を選択してファイルやフォルダをアップロードします。



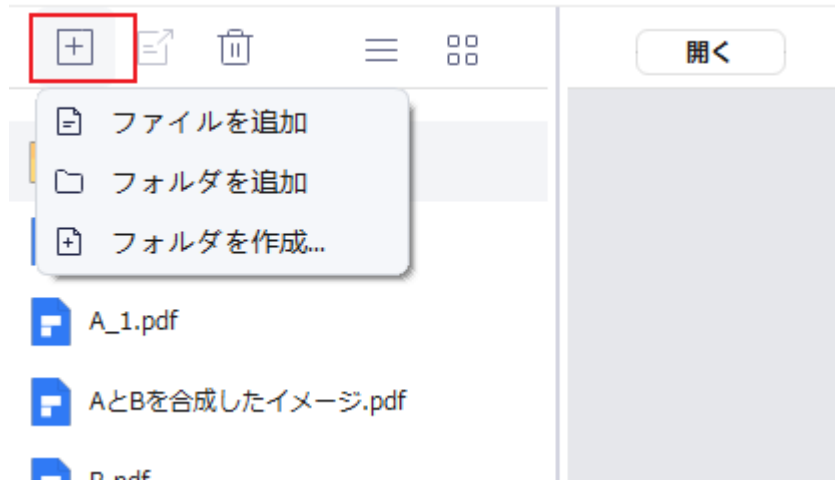
- ポートフォリオ内のファイルを開いて閲覧または編集します。



- フォルダーを開き、「開く」ボタンをクリックしてPDFファイルを表示します。



- 「+」アイコンをクリックして新しいファイルやフォルダーを追加します。



- 「抽出」アイコンまたは「削除」アイコンを使用して、ファイルをポートフォリオから抽出または削除します。

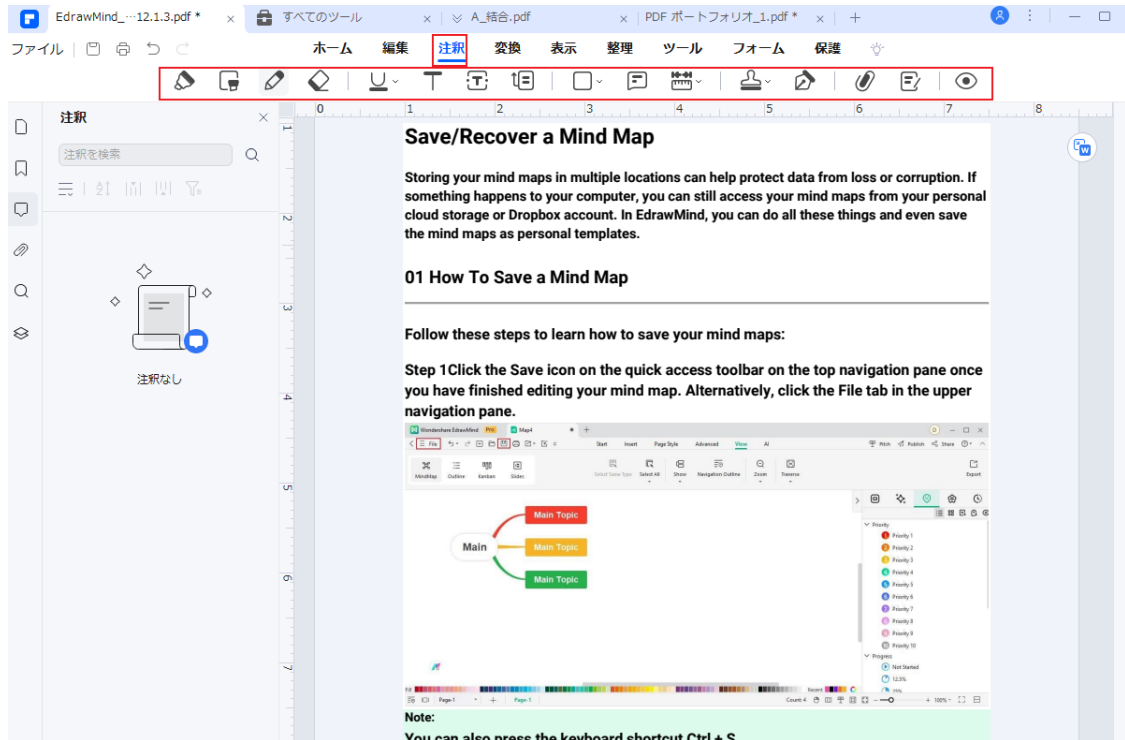
PDFにコメントを追加

PDFにコメントを追加

PDFに意見、説明、イラストなどを追加するためのコメント機能を活用できます。また、コメントの編集、削除、移動も簡単に行えます。

1. コメントの種類と追加方法

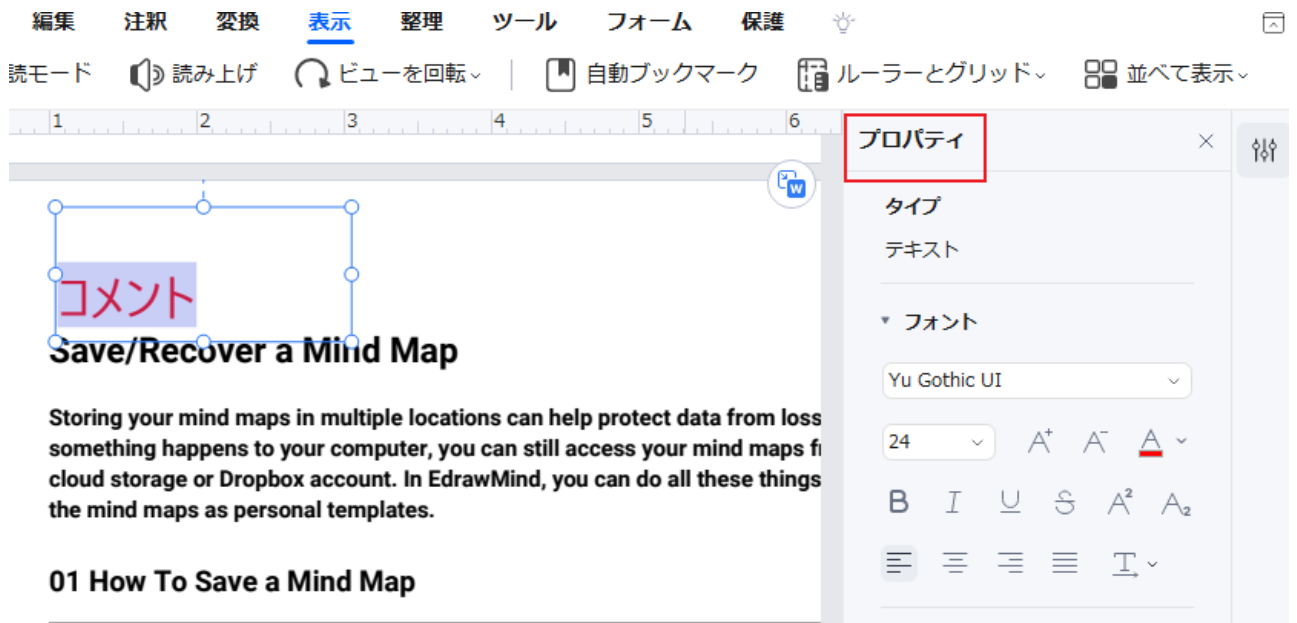
- メモ
「コメント > メモ」ボタンをクリックし、配置したい場所をクリックしてコメントを記入します。
- タイプライター
「コメント > タイプライター」ボタンをクリックし、配置したい場所をクリックしてダブルクリックすると、コメントを入力できます。
- テキストボックス
「コメント > テキストボックス」ボタンをクリックし、配置したい場所をクリックしてボックスをダブルクリックするとコメントを記入できます。
- 吹き出し
「コメント > 吹き出し」ボタンをクリックし、配置したい場所をクリックしてコメントを入力します。
- エリアハイライト
「コメント > エリアハイライト」ボタンをクリックし、ドラッグして強調したいエリアを選択します。



2. コメントのカスタマイズ

フォント、フォントサイズ、色、配置を変更できます。

太字、斜体、下線、打消線、上付き文字、下付き文字などの装飾も可能です。



3. コメントを連続追加

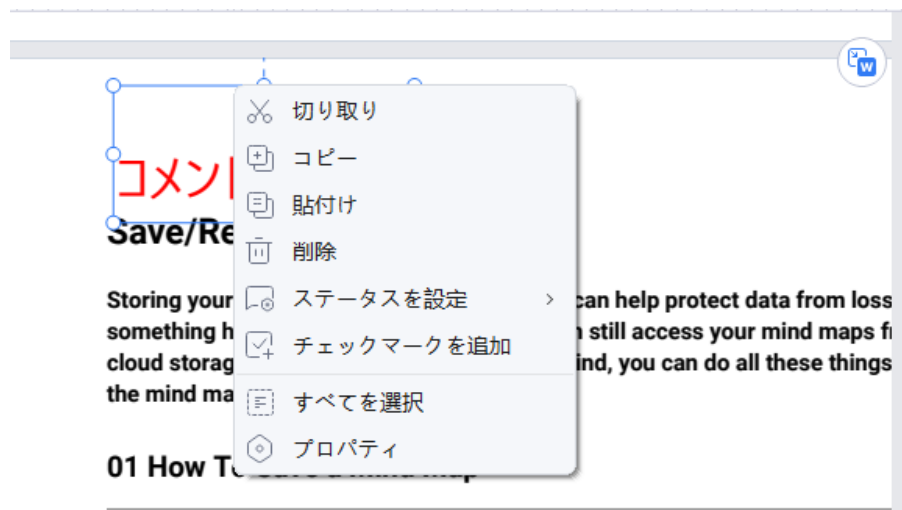
コメントツールを選択すると、他のツールを選択するまでそのまま継続して使用できます。

4. コメントの移動/コピー/貼り付け

コメントをドラッグして移動するか、Ctrl+Cでコピー、Ctrl+Vで貼り付けが可能です。

5. コメントのロック

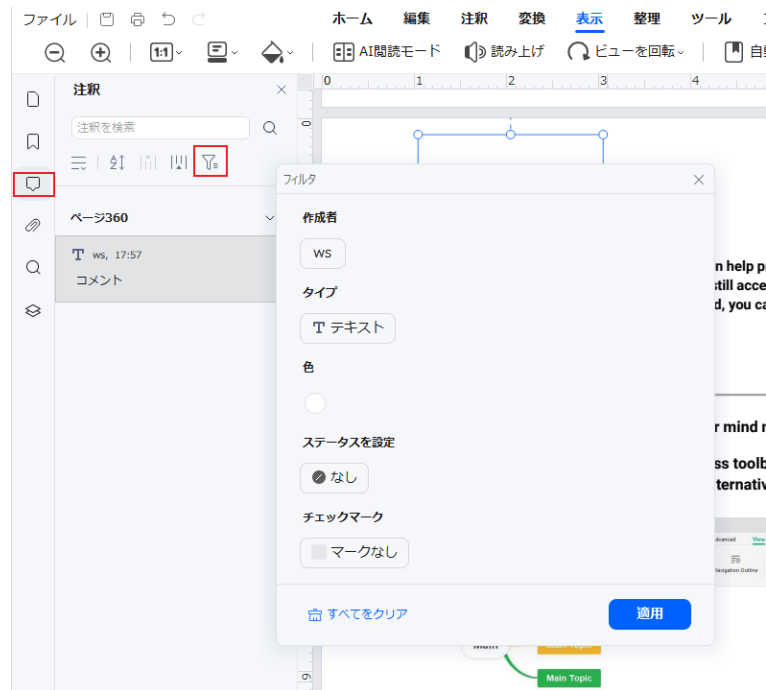
コメントを右クリックし、プロパティパネルで「ロック」アイコンをクリックすると、他のユーザーが変更できなくなります。





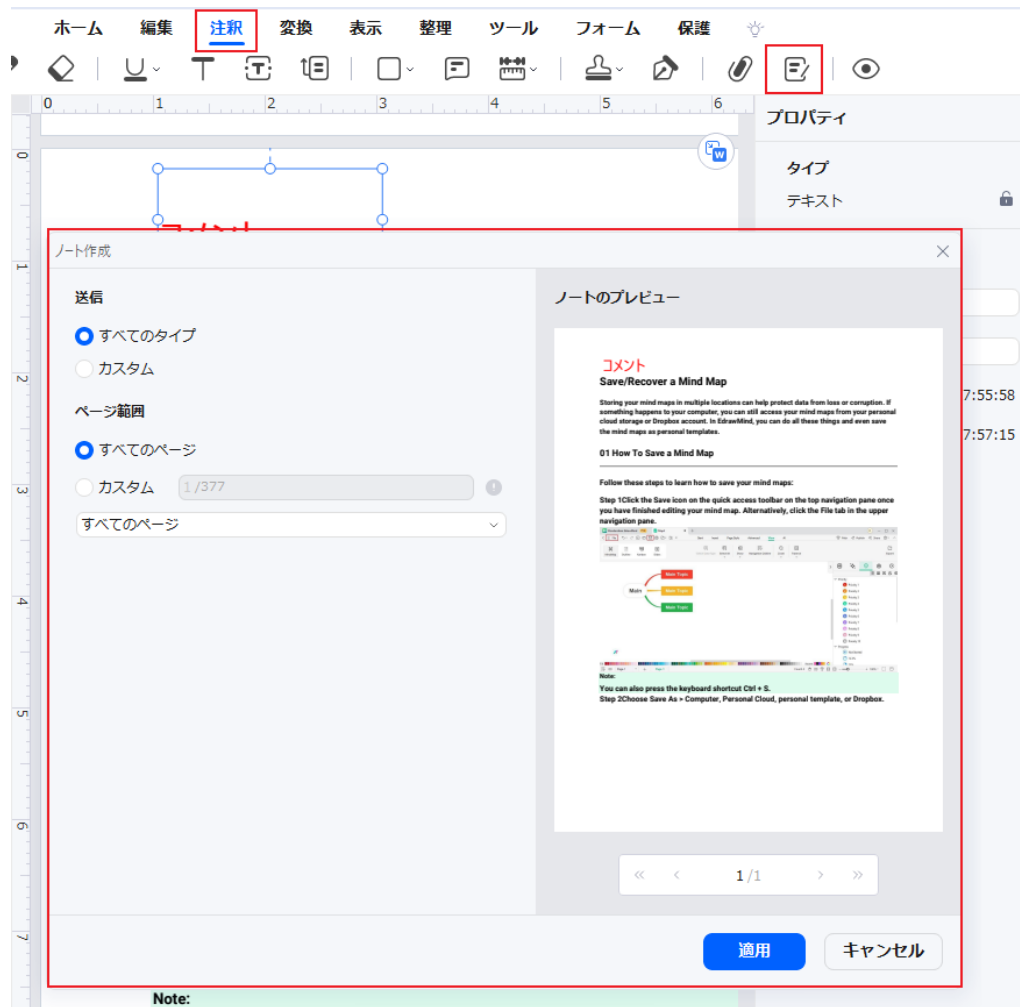
6. コメントの検索・フィルター

「コメントリスト」パネルで検索バーを使用してキーワード検索、または「フィルター」ボタンで著者、種類、色でフィルタリングできます。



7. コメント付きページのみをエクスポート

コメント > ノートを作成」をクリックすると、コメント付きページのみの新しいファイルを作成できます。



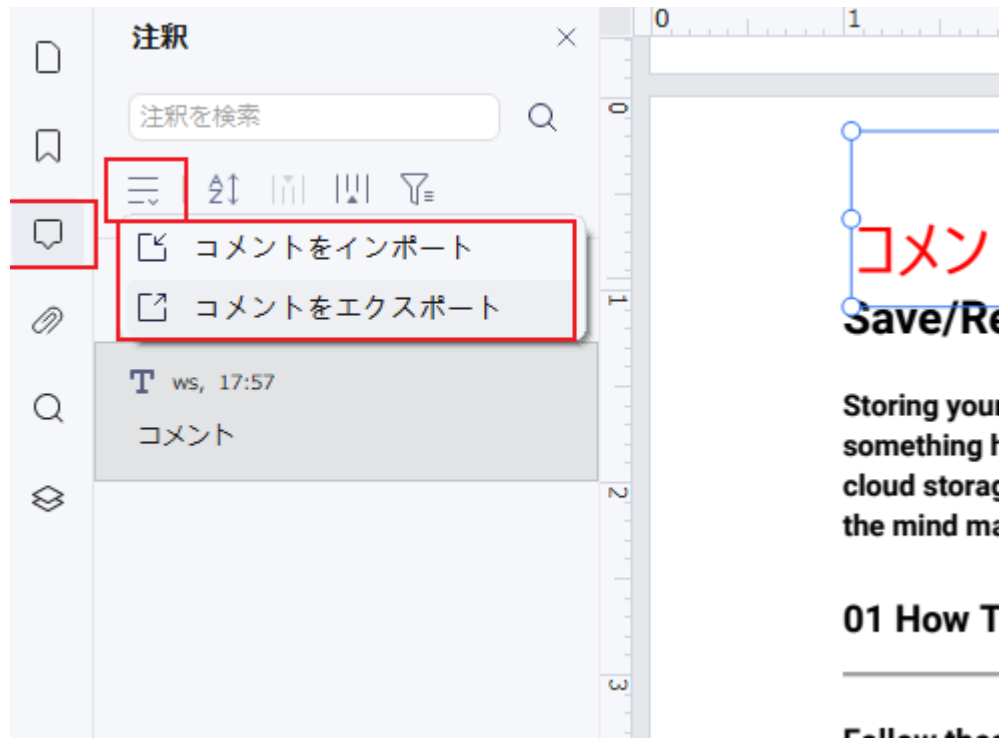
8. コメントのエクスポートとインポート

PDF間でコメントを移動したい場合、PDFelementを使用してコメントをエクスポートおよびインポートできます。

- 手順

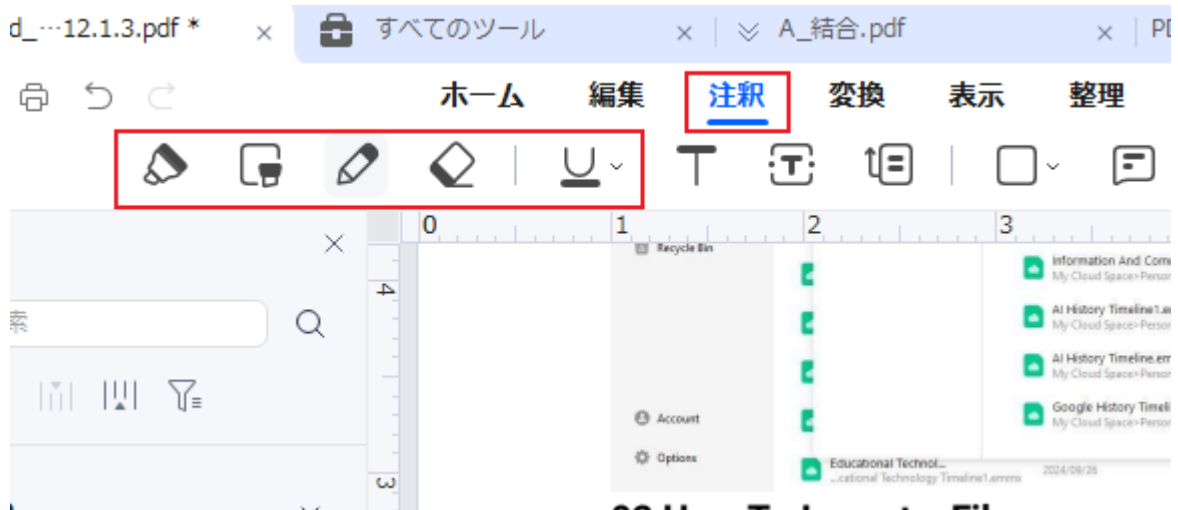
1 左側の「コメントリスト」パネルを開きます。

2 コメントを右クリックし、「コメントをエクスポート」または「コメントをインポート」を選択します。



PDFのマークアップ

PDFelementを使用してPDFをマークアップする手順について説明します。「コメント」タブを開くと、テキストマークアップツールが利用可能です。ここでは、「ハイライト」、「エリアハイライト」、「鉛筆」、「消しゴム」、「下線」など、さまざまなツールが用意されています。



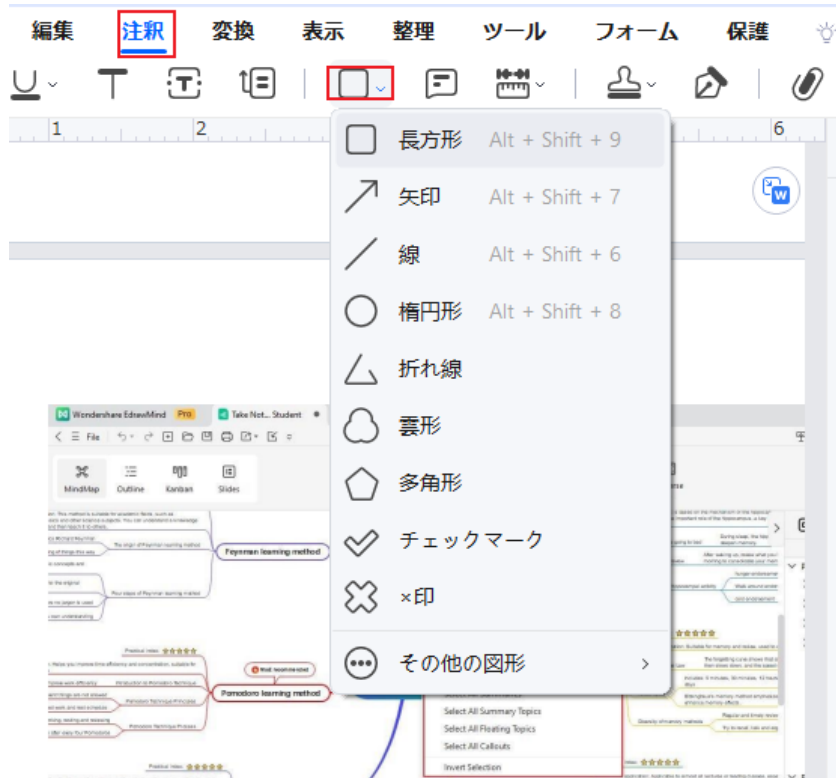
- ハイライト  : 重要なテキストを蛍光マーカーで強調し、記憶や参照を助けます。
- エリアハイライト  : 任意のエリアを強調表示します。
- 下線  : 強調を示すためにテキストの下に線を引きます。
- 取り消し線  : テキストを横切る線を引き、削除されたことを示します。
- 波線  : テキストの下に波線を描きます。
- キャレット  : 校正記号として、テキスト挿入位置を示します。

• マークアップの色を変更する方法

- 1 作成したマークアップを選択し、右クリックして「プロパティ」を選択します。
- 2 右側の「プロパティ」パネルで「外観」オプションを使用して、色や不透明度を変更できます。

PDFへの描画

PDFelementの描画ツールを使用すると、PDFにさまざまなグラフィック要素を追加できます。これにより、ドキュメントの特定の部分に注目を集めることが可能です。



- 矩形  : 四角形を描いて特定のエリアを囲むことができます。
- 楕円  : Shiftキーを押しながら円または楕円を描きます。
- 雲形  : 雲のような形状を描きます。
- 多角形  : 3つ以上の線分で構成された閉じた図形を描きます。
- 連結線  : 3つ以上の線分で構成された開いた図形を描きます。
- 直線  : テキストやエリアを直線でマークします。
- 矢印  : 矢印を描き、方向や注目ポイントを示します。
- 鉛筆  : フリーフォームの形状を自由に描きます。
- 消しゴム  : 鉛筆で描いたマークアップを消去します。ただし、他のマークアップは消去できません。

PDFにスタンプを追加

PDFelementのスタンプツールは、高度なツール群で、PDFドキュメントにコンテンツをスタンプとして追加することができます。PDFelementは、JPEG、PNG、BMPなど、さまざまな画像形式のスタンプに対応しており、既存のスタンプを使用するか、自分でカスタムスタンプを作成することができます。この機能は、ドキュメントのレビューや状態、重要性を説明する際に特に便利です。

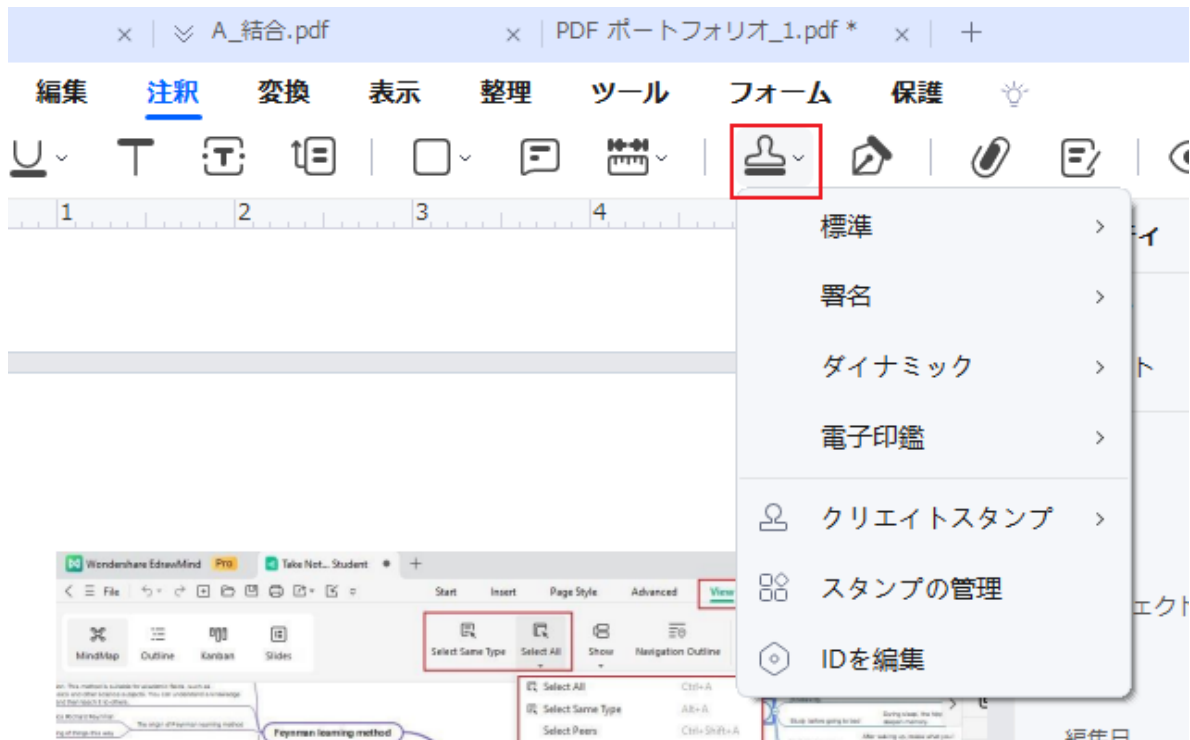
PDFにスタンプを追加する

1. 手順

「コメント > スタンプ」ボタンをクリックします。

「標準ビジネス」「サインはこちら」「動的」「デジタルスタンプ」など、事前に定義されたスタンプの種類から1つを選択します。

配置したい位置をクリックします。



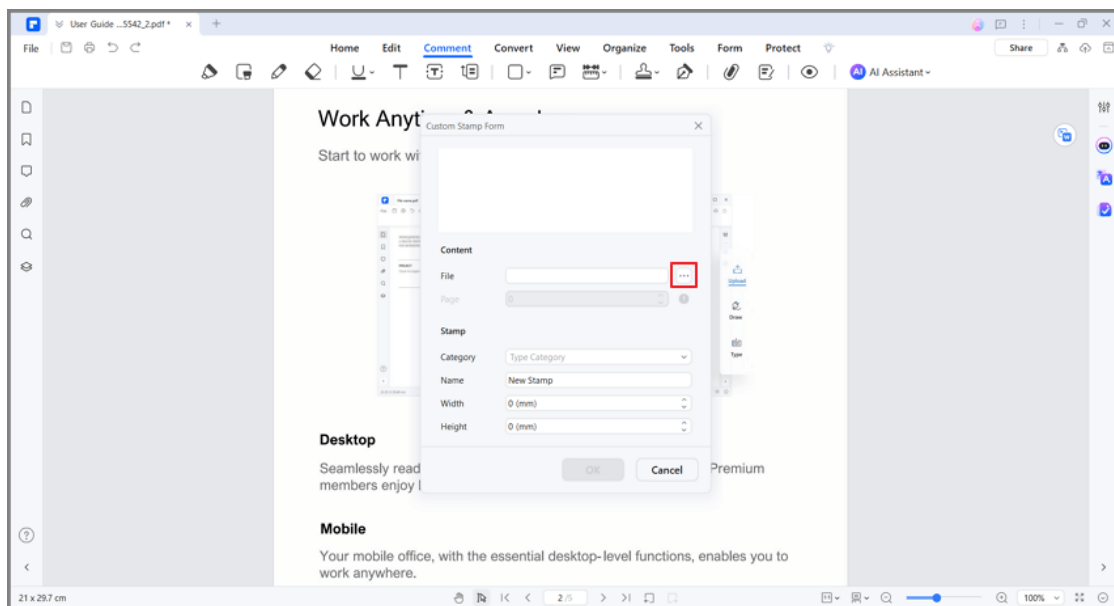
2. スタンプを作成/管理する

• カスタムスタンプの作成

「コメント > スタンプを作成」ボタンをクリックし、「ファイルを選択」ボタンをクリックして目的の画像を選択します。スタンプに名前を付けることも可能です。「OK」ボタンをクリックすると、カスタムスタンプとして保存されます。

• スタンプの管理

作成したスタンプを選択し、「作成」「編集」「削除」を行うことができます



PDFの測定ツール

PDFelement for Windowsには、PDF内の形状や図面を測定する機能が搭載されています。このツールを使用すると、PDFの距離、周囲、面積を簡単に測定できます。

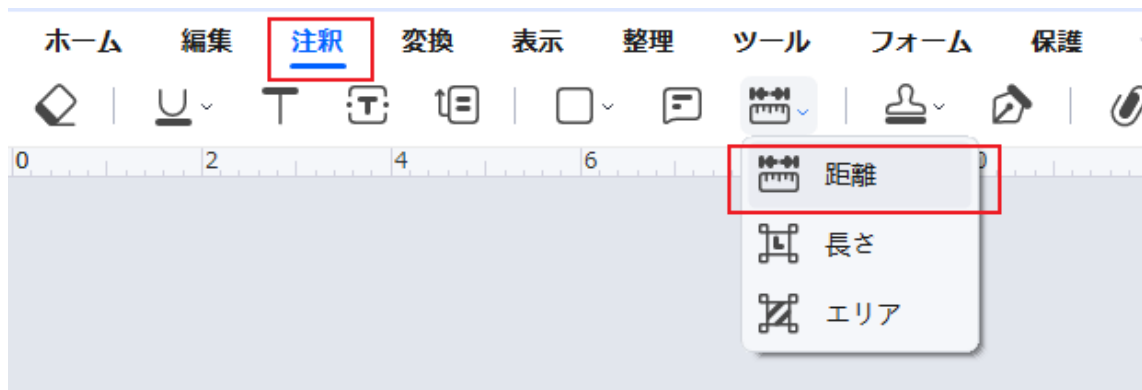
1. PDF内で測定を行う

「注釈 > 距離ツール」ボタンをクリックし、ドロップダウンメニューから以下の3つのオプションのいずれかを選択します。

- 距離ツール: 始点と終点をドラッグして直線を描き、ダブルクリックで測定を完了します。
- 長さツール: 始点から図形の外周を描画し、ダブルクリックで測定を完了します。
- エリアツール: 任意の閉じた図形を描画し、ダブルクリックで面積を計算します。

2. 測定中の操作

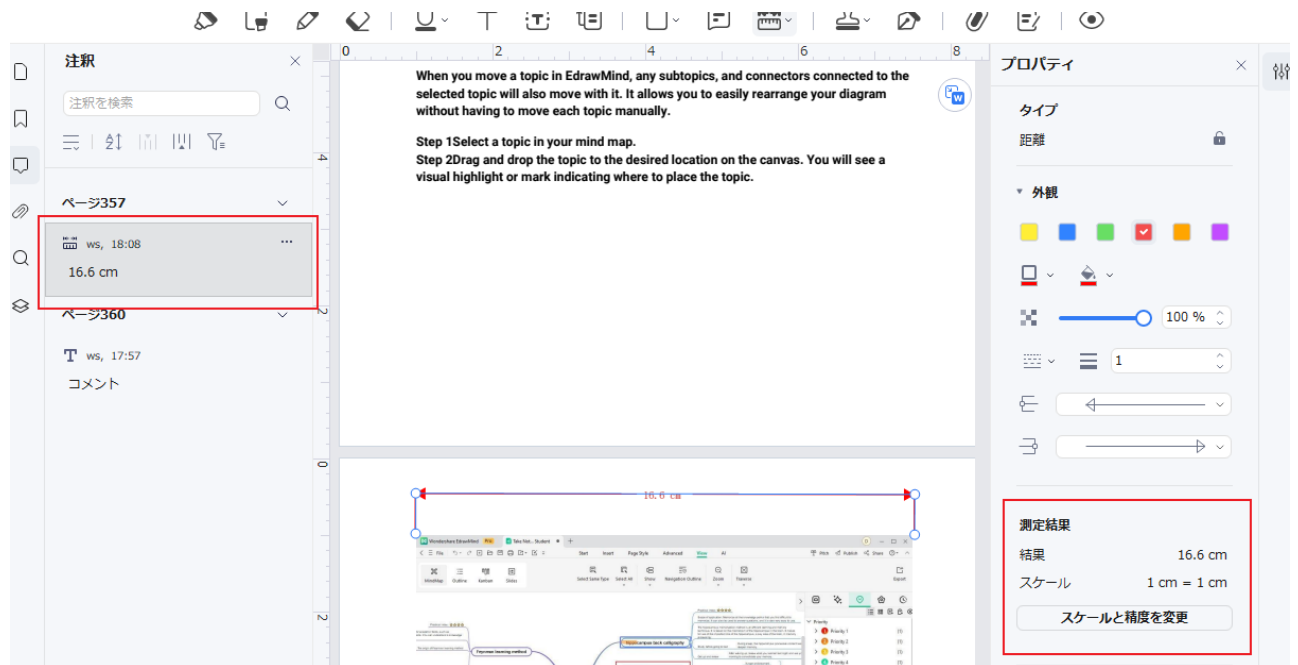
測定を取り消したい場合は、「ESC」キーを押すか右クリックで「測定をキャンセル」を選択します。



3. 測定結果を確認する

測定結果は以下の方法で確認できます。

- カーソルを測定した図形にホバーさせると結果が表示されます。
- 図形をダブルクリックすると、ポップアップノートに結果が表示されます。
- 左側の「コメント」パネルで確認します。
- 右側の「プロパティ」パネルで結果を確認します。



4. 測定設定を変更する

測定ラインを右クリックし、ドロップダウンメニューから「スケールと精度の変更」を選択します。適切なスケール比率を設定することができます。また、以下の単位を選択可能です：mm、cm、m、km、in、pt、mileなど。

- スナップタイプの設定：
 - パスにスナップ: ラインの終端にスナップ。
 - 終点にスナップ: ラインの終点にスナップ。
 - 中点にスナップ: ラインの中点にスナップ。
 - 交点にスナップ: 複数のラインの交点にスナップ。

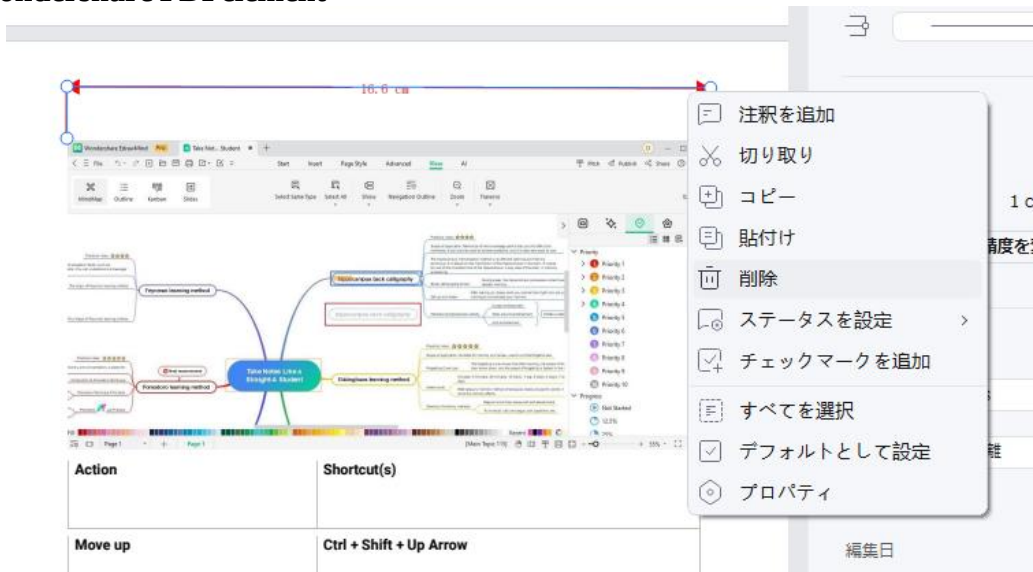


- 外観の設定

「プロパティ」パネルでスタイル、色、不透明度などを設定し、測定結果の外観をカスタマイズできます。

5. 測定結果を削除する

測定したオブジェクトを右クリックし、「削除」を選択して結果を削除します。



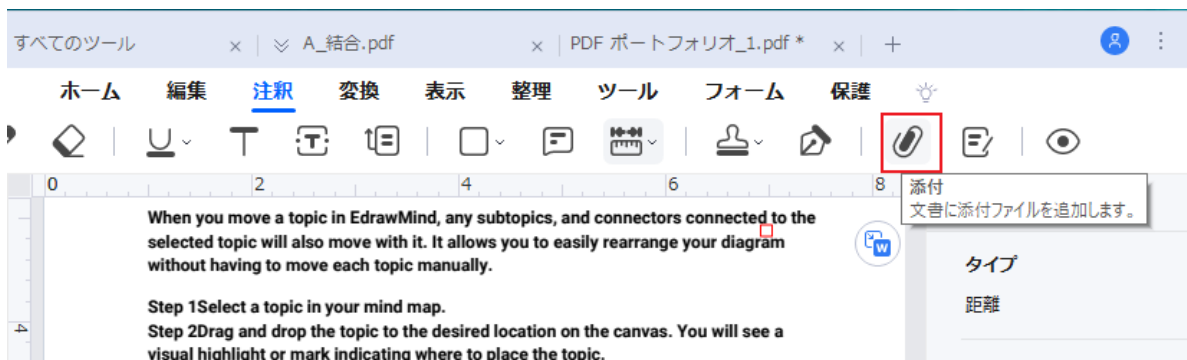
PDFに添付ファイルを追加

「添付ファイルを追加」ツールを使用すると、PDF内の指定した位置にファイルを埋め込むことができます。これにより、読者がそのファイルを開いて閲覧することが可能になります。添付ファイルをコメントとして追加することで、ポップアップノートやテキストボックスに収まりきらない長文ドキュメントを参照できます。また、PDFを移動した場合でも、添付ファイルは一緒に移動されます。

添付ファイルを追加する手順

- コメントとして添付

「コメント > 添付ファイル」ボタンをクリックし、コメントを追加したい位置をクリックします。

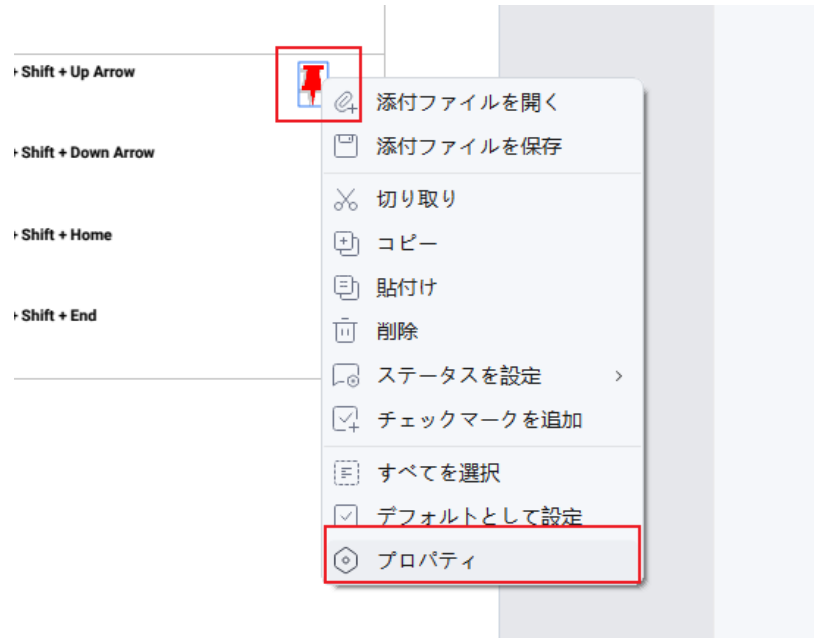


- ファイルを選択

ポップアップダイアログで添付するファイルを選択します。

- コメントの操作

添付コメントを右クリックして「添付を開く」「添付を保存」「カット」「コピー」「削除」「プロパティを開く」などを選択できます。

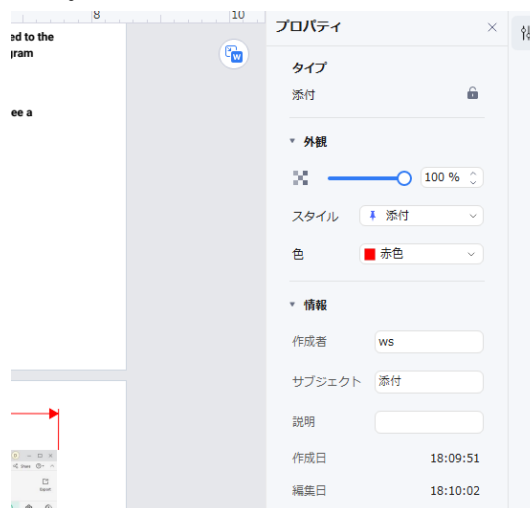


- アイコンの調整

プロパティでアイコンのスタイル、色、不透明度を変更可能です。

- 添付ファイルパネルでの確認

添付コメントは添付ファイルパネルにも表示されます。パネル内の添付ファイルをクリックすると、そのページに移動します。



PDFの注釈を非表示または削除

注釈の操作

- 元に戻す/やり直し

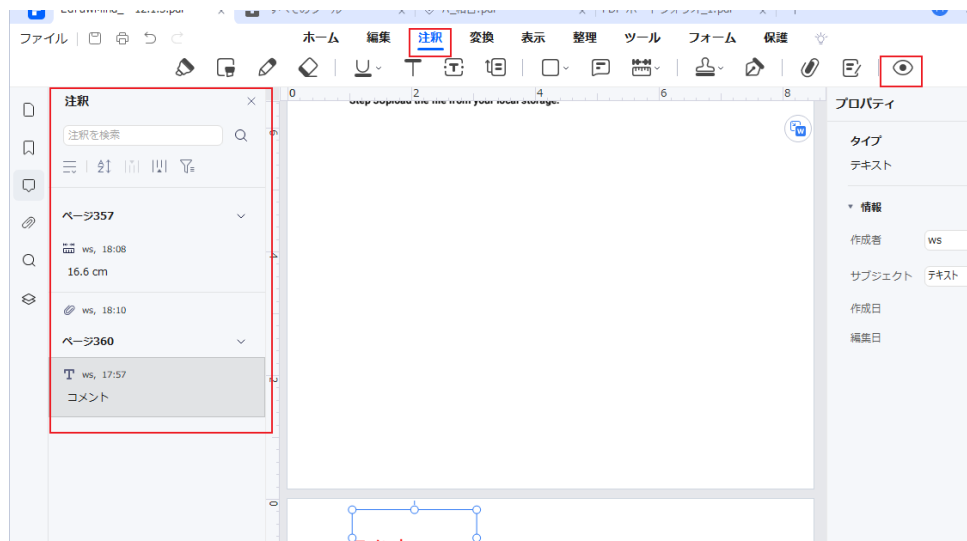
テキストボックスや描画、ハイライトなどの注釈操作を行った際、「元に戻す」ボタンで直前の操作をキャンセル、「やり直し」ボタンで取り消しを復元可能です。

- 注釈の削除:

- 注釈を右クリックして「削除」を選択するか、選択後にキーボードのDeleteキーを押します。
- または、左側の注釈パネルで該当する注釈を右クリックし「削除」を選択します

- 注釈の非表示:

コメントが多すぎてテキストの閲覧を妨げる場合、「コメント」ツールで「コメントを表示」のチェックを外すことで注釈を非表示にできます。同じボタンを再度クリックすると、注釈を再表示できます。



コメントのプロパティを調整

すべてのコメントの外観を変更できます。

- プロパティの設定

「選択」ボタンをクリックして選択モードに入り、コメントを右クリックして「プロパティ」を選択します。

右側に表示される「プロパティ」パネルで、「情報」「外観」「フォント」などの設定を変更可能です。

- デフォルト設定の保存

「デフォルトとして設定」をクリックすると、同じ種類のコメントを追加する際に適用されるデフォルト設定として保存されます。

PDFのテキスト編集

PDFのテキスト編集

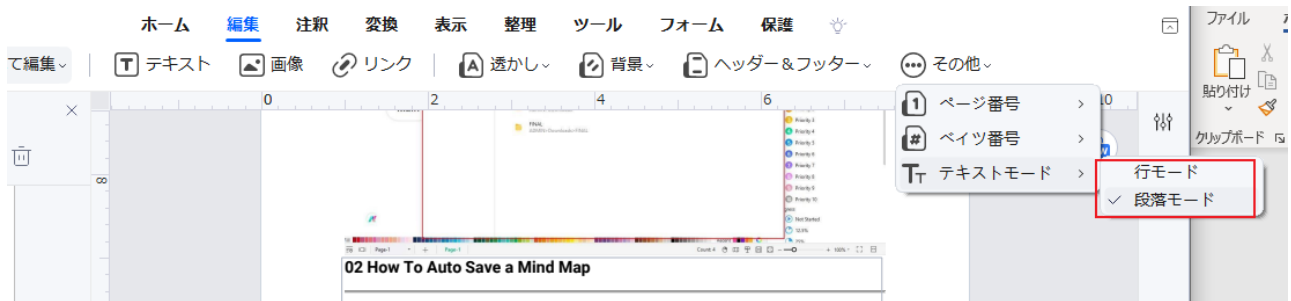
Microsoft OfficeのWordやExcel、PowerPointでテキストを編集するのは一般的ですが、PDFのテキスト編集も可能です。PDFelementを使用してPDFテキストを編集する方法を以下に説明します。

1. 編集モードを選択してテキストを編集

モード選択

「ファイル > 全般」で「行モード文書編集をサポートする」を選択します。その後、「編集」タブのツールバーに「編集モード」が表示されます。「編集 > 編集モード」を選択すると、「段落モード」と「行モード」が利用可能です。

- 段落モード: 全体のテキストが1つのブロックとして表示されます。
- 行モード: 各行が個別のブロックとして扱われます。



- 新しいテキストを追加
「編集 > テキストを追加」ボタンをクリックし、必要な位置に新しいテキストを挿入します。
- テキストスタイルの変更
テキストを選択すると、フォント、フォントサイズ、太字、斜体、色、行間、段落間隔などを自由に変更可能です。

2. 特定のオブジェクトのみ編集

- オブジェクト選択を限定

「編集 > すべてを編集」をクリックすると、テキスト、画像、リンクのみを編集対象にするオプションが利用可能です。

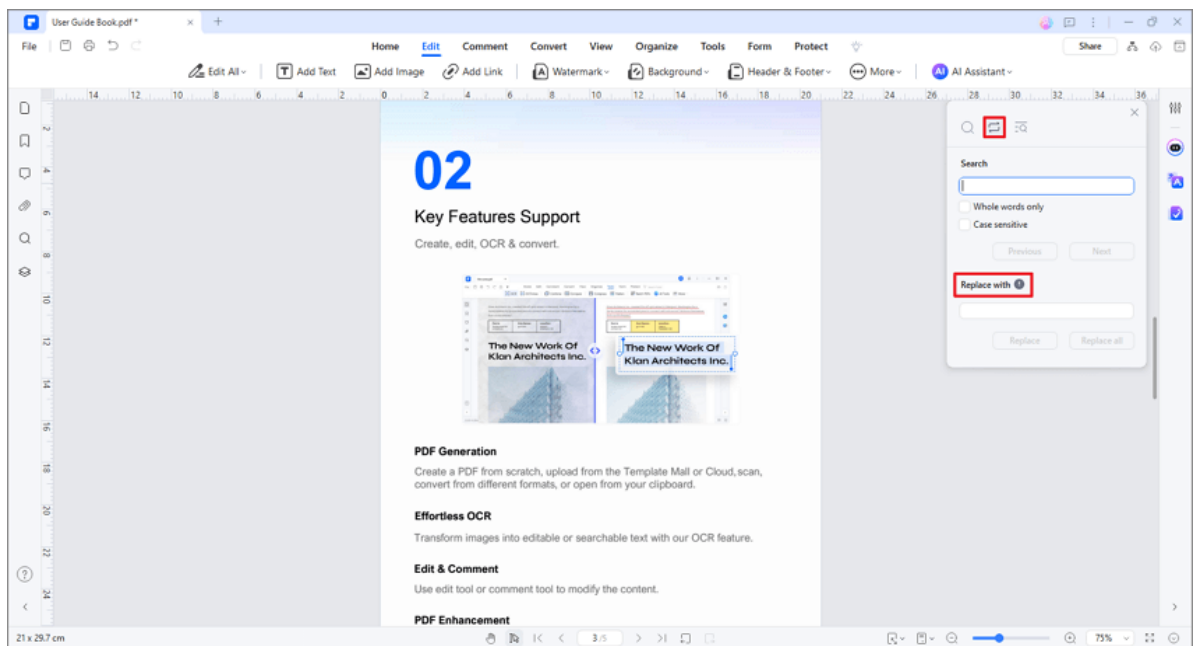


3. 上付き文字・下付き文字の作成と編集

- PDFを開き、「編集」ボタンをクリックして編集したいテキストを選択します。
- 「上付き文字」または「下付き文字」ボタンをクリックすると、選択したテキストが上付きまたは下付き文字に変わります。

4. キーワードの検索と置換

- PDFを開き、Ctrl+Fを押して検索ウィンドウを開き、検索したいキーワードを入力します。
- 「置換」ボタンをクリックし、新しい単語を入力して置換を実行します。



PDFの画像編集

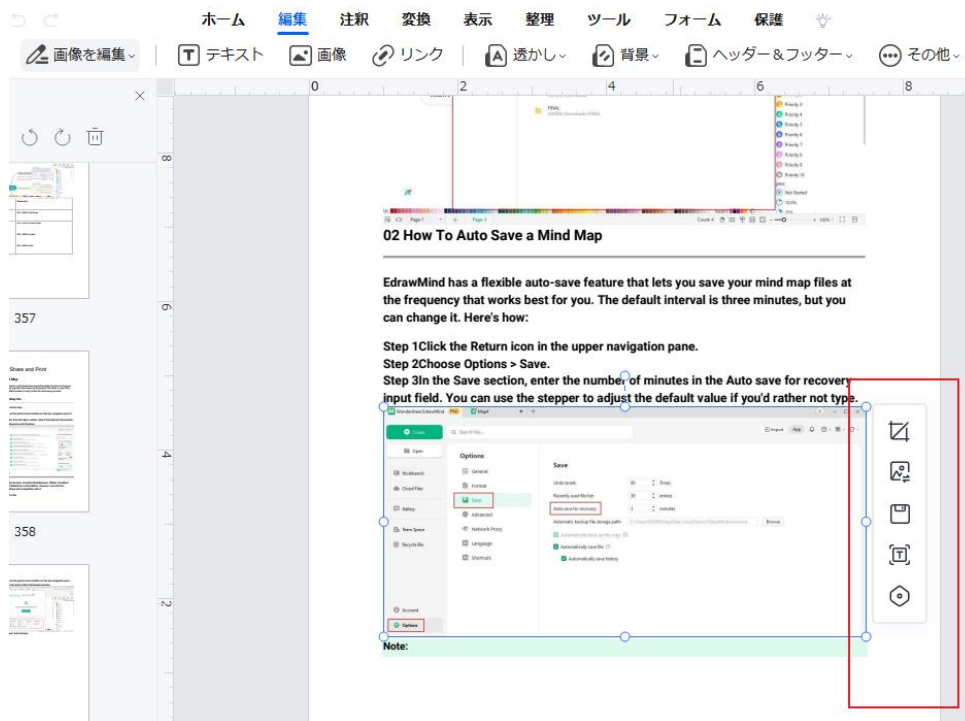
PDF内の画像や図形、その他のオブジェクトを編集する方法を説明します。

- 画像を追加

「編集 > 画像を追加」ボタンをクリックして、追加したい画像を選択します。

- 画像の移動

画像をクリックして選択し、ドラッグして移動します。移動中に配置ガイドラインが表示され、整列を保つのに役立ちます。また、矢印キーを使用して微調整も可能です。



- 画像の編集ツール

画像の横に小さなツールバーが表示され、以下の操作が可能です：

- 切り抜き
- 右回転/左回転
- 画像の置き換え
- 画像の編集

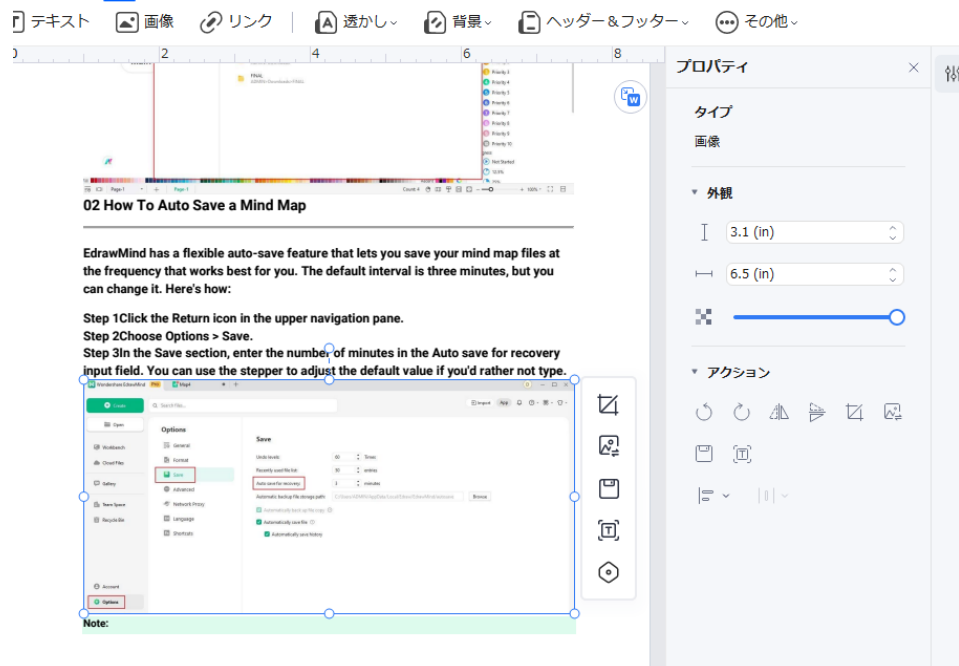


- 画像の回転

緑色の円形ボタンをクリックし、任意の角度で画像を回転可能です

- ショートカットメニュー

「画像を編集」ボタンをクリックするか、画像を右クリックしてショートカットメニューを表示させ、画像の移動、整列、透明度の調整が可能です。



PDF内のリンク編集

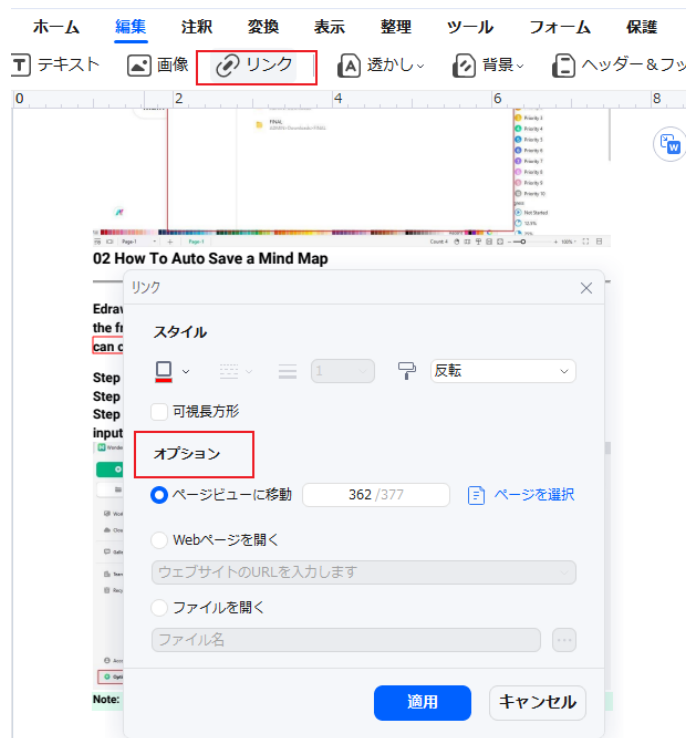
リンク編集機能を使用すると、読者を関連するページや特定のウェブページに誘導することができます。

1. リンクの追加

- リンクの挿入

「編集 > リンクを追加」ボタンを選択し、次の3つのリンクアクションオプションから1つを選びます：

- ✧ ページビューへのジャンプ
- ✧ ウェブページを開く
- ✧ ファイルを開く



2. リンクの配置

カーソルを目的の位置に置き、マウスボタンを押したままドラッグして四角形を描きます。描画後、リンクのアクションと外観を設定するダイアログボックスが表示されます。

3. 外観設定



Wondershare PDFelement

- リンクタイプ: 四角形の枠を「表示/非表示」に設定可能。
- ハイライトスタイル: リンククリック時のエフェクト（反転、押し込み、輪郭）。
- 色: 四角形の枠の色。
- 枠の厚さ: 四辺の厚さを設定（値が高いほど太くなる）。
- 枠スタイル: 枠線のスタイルを「実線」「破線」「下線」から選択。

4. リンクアクション設定

- ページビューへのジャンプ
「リンクを設定」ボタンをクリック後、作業エリアやサムネイルパネルで目的のページに移動し、再度「リンクを設定」をクリックして完了します。
- ウェブページを開く
URLを入力して、指定したウェブページにリンクを設定します。
- ファイルを開く
コンピューター内の別ファイルを開くリンクを設定します。「」ボタンをクリックして目的のファイルを選択します。

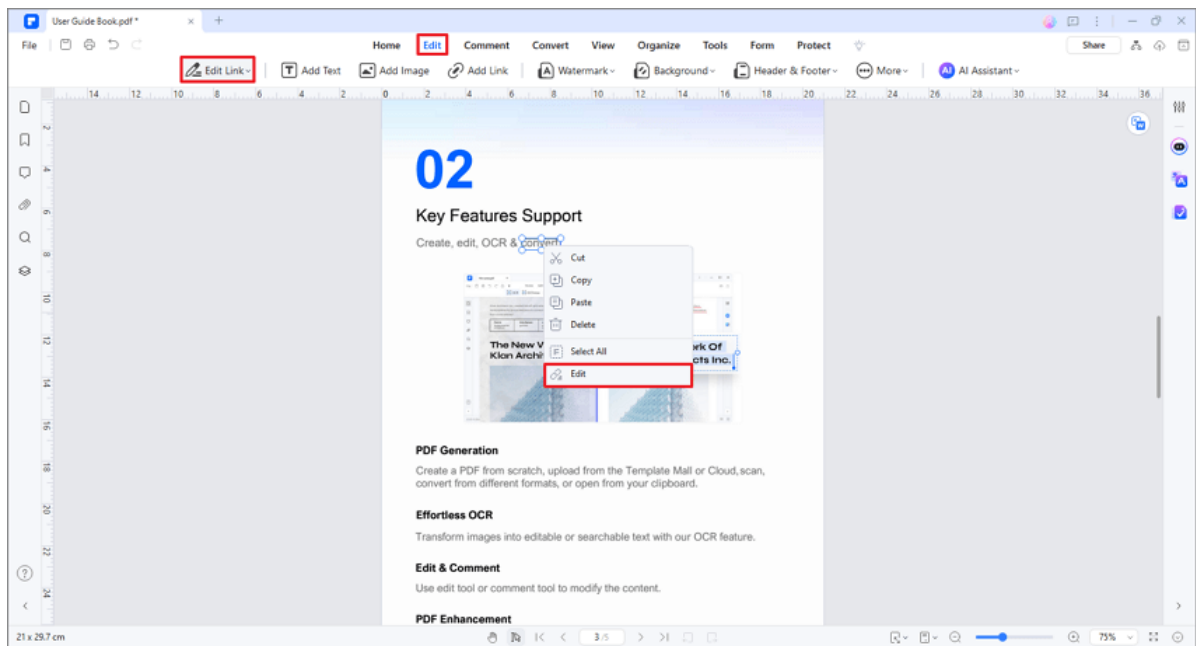
5. リンクの編集

1 操作方法

- 移動: 「編集 > すべてを編集 > リンクを編集」ボタンをクリックし、リンクをドラッグして位置を変更します。
- サイズ変更: リンク四角形の周囲をドラッグしてサイズを調整します。
- 削除または再編集: リンクを右クリックして「削除」または「リンクを編集」を選択し、再設定します。

2 リンクの実行確認

「選択」または「ハンド」ボタンをクリックした後、リンクをクリックすると設定したターゲットに移動します。



PDFにページ番号を追加する方法

PDFelementでページ番号を追加することにより、PDF文書のナビゲーションを強化しましょう

1. ページ番号を追加する

- 「編集」タブを開き、「その他」、「ページ番号」の順にクリックし、「ページ番号の追加」を選択します。



- 続いて表示される「ページ番号」ウィンドウの中で、書式、位置、ページ範囲を設定します。リアルタイム・プレビューのレイアウトが右側に表示されます。
- 「テンプレートに追加」には、これらの設定をテンプレートとして保存することもできます。確認したら、「適用」をクリックします。



2. ページ番号の更新

- 「ページ番号の更新」ボタンをクリックします。



- 「ページ番号」セクションで設定を変更します。
- 修正後、「適用」をクリックして更新を確認します。

3. ページ番号の削除

- 「ページ番号の削除」ボタンをクリックします。



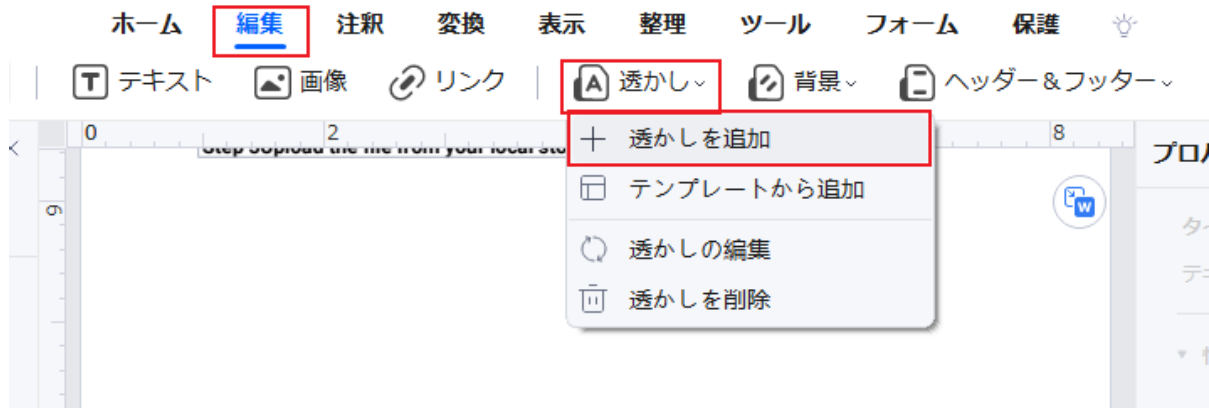
- 確認画面で、「はい」を選択すると番号の削除が完了です。



PDFに透かしを追加

1. 単一のPDFに透かしを追加

PDFを開き、「編集 > 透かし > 透かしを追加」をクリックします。



- テキスト透かし

テキストを入力し、フォント、サイズ、色、位置を設定します。

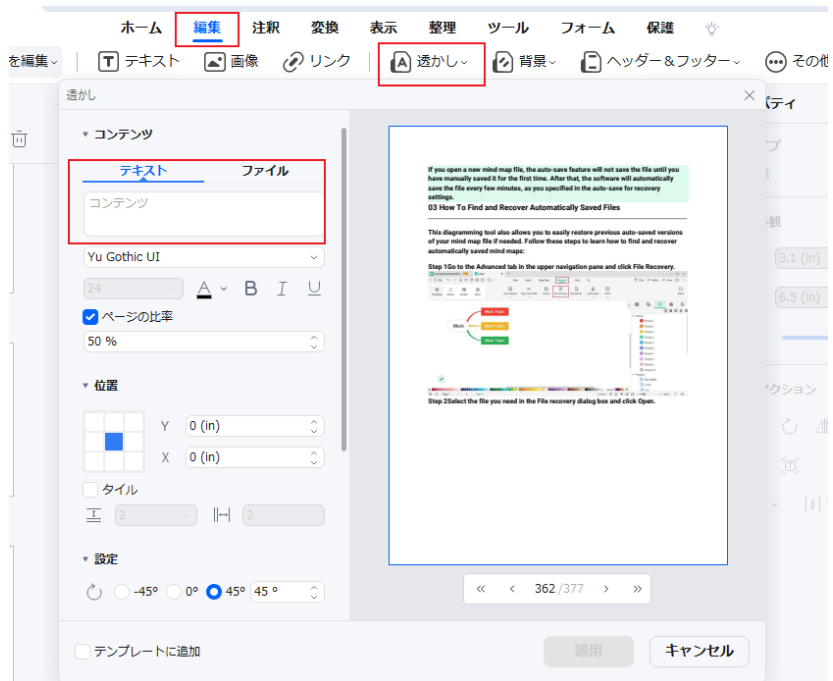
- 画像透かし

「ファイル」をクリックし、コンピューターから画像を選択します。画像を透かしに使用する場合、絶対スケールを設定するとPDFページのサイズに関係なく同じサイズで表示されます。

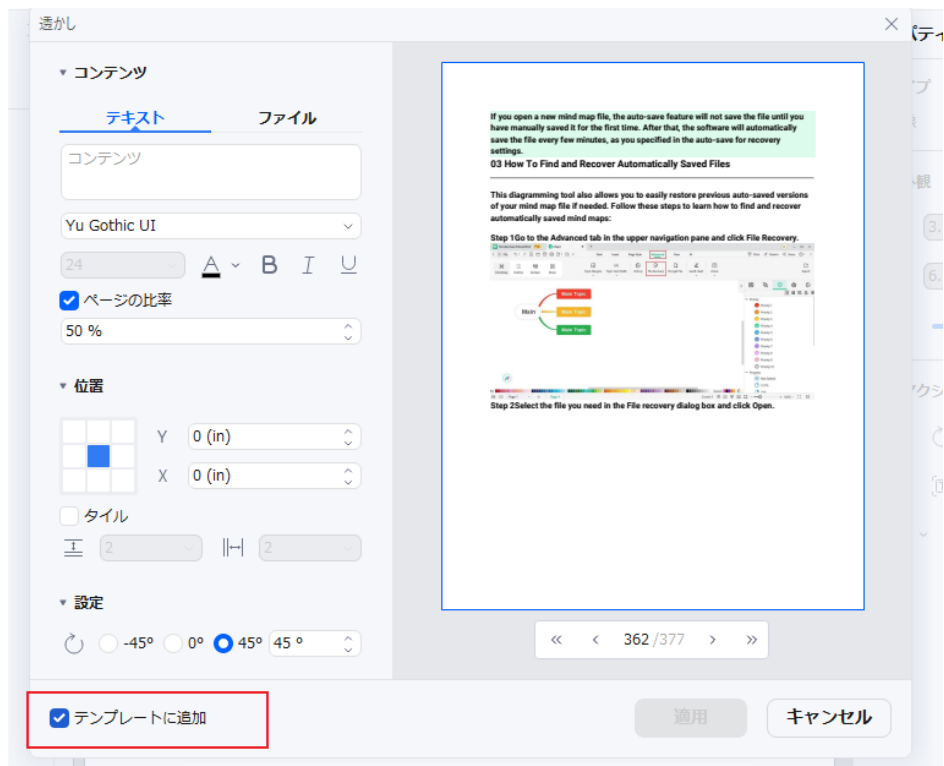
- 設定
 - 回転角度や不透明度を調整できます。
 - 垂直・水平の距離を設定。
 - ページ範囲や外観を指定して適用。

Wondershare PDFelement

テンプレートの保存



「保存」ボタンをクリックして透かしテンプレートを作成。次回から再設定せずに適用可能です。



2. PDF一括処理で透かしを追加/削除

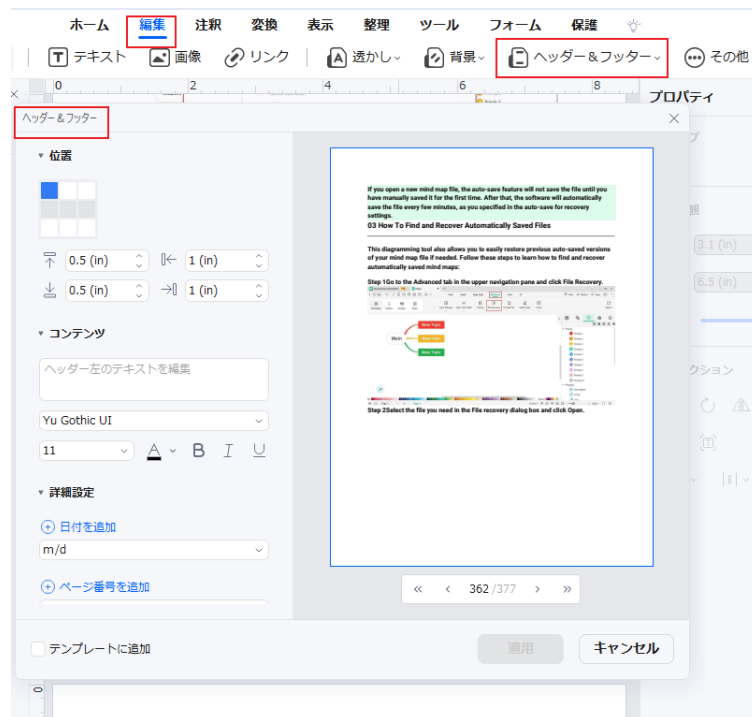
「ツール > PDF一括処理」ボタンをクリックし、「透かし」タブでPDFをドラッグ & ドロップします。

- テンプレートの利用
テンプレートが保存されていない場合、新規テンプレートを作成する必要があります。
「+」ボタンをクリックして設定を保存します。
- 削除
透かしを削除したい場合は「透かしを削除」オプションを選択。
- 適用
「適用」ボタンをクリックして処理を開始します。

PDFにヘッダーとフッターを追加

- 手順

「編集 > ヘッダー & フッター」をクリックし、「内容」エリアでヘッダーとフッターの内容をデザインします。



- 設定

「位置」エリアで配置を選択し、「その他の設定」で日付形式やページ番号形式を設定可能です。

- PDF一括処理

「ツール > PDF一括処理 > ヘッダー & フッター」をクリックして複数のPDFに一括追加できます。

PDFにページ番号を追加

ページ番号はページのラベル付けに使用され、特に法務文書で便利です。

1. 単一のPDFに追加

1. 手順

「編集 > ページ番号 > ページ番号を追加」をクリックします。

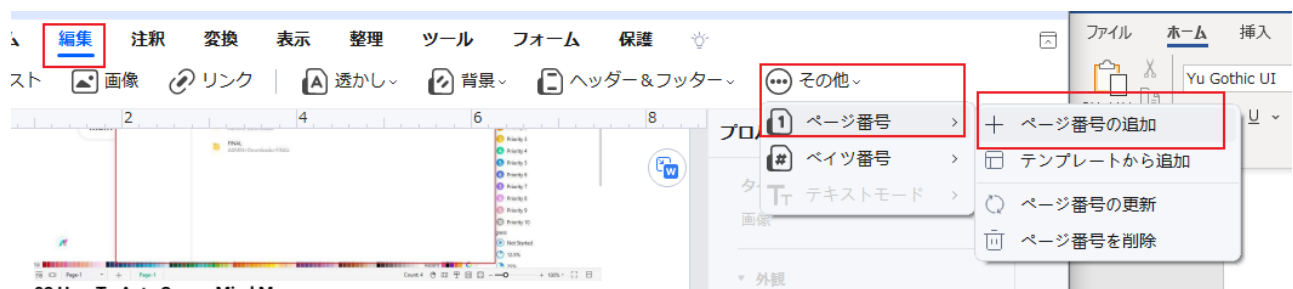
2. 設定

プレフィックス（前置文字）、開始番号、サフィックス（後置文字）を設定。

フォント、外観、位置、ページ範囲を指定。

3. テンプレート保存

設定をテンプレートとして保存できます。



2 テンプレートからページ番号を追加

保存済みのテンプレートを使用してページ番号を適用可能です。「編集 > ページ番号 > テンプレートから追加」をクリックします。



2. ベイツ番号の編集

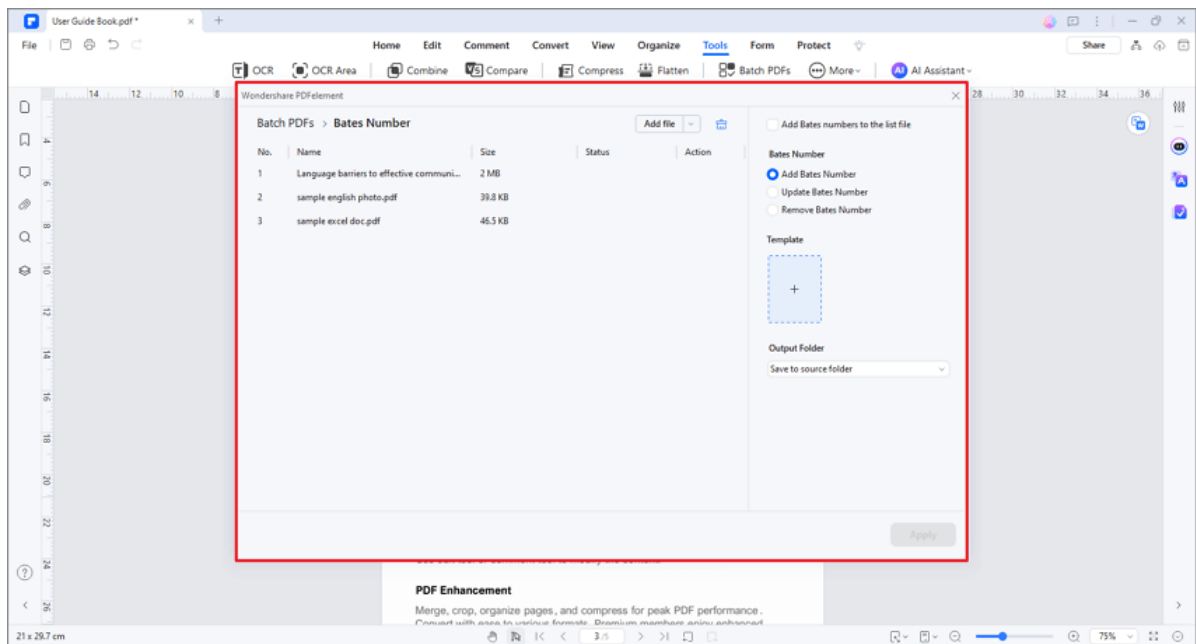
既存のベイツ番号を変更する場合、「編集 > ベイツ番号 > ベイツ番号を編集」をクリックし、設定を変更後「保存」をクリックします。

3. ベイツ番号の削除

「編集 > ベイツ番号 > ベイツ番号を削除」をクリックすると、選択したPDFのベイツ番号を削除できます。

4. PDF一括処理で追加

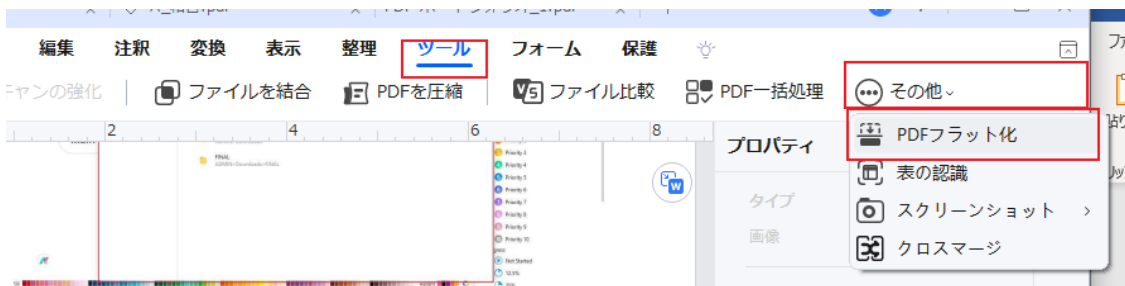
「ツール > PDF一括処理 > ベイツ番号」タブで複数のPDFに一括でベイツ番号を追加可能です。



PDFをフラット化する

フラット化の手順

1. 「ツール」タブで「フラット化」ボタンをクリックします。
2. この操作により、PDF内の注釈、フォームフィールド、およびレイヤーがフラット化されます。
3. フラット化されたPDFファイルは自動的にPDFelementで開かれます。その後、コンピュータに保存可能です。



PDFファイルを結合する

PDFファイルを結合

1手順

- PDFelementを起動し、スタートページの「すべてのツール」タブから「PDFを結合」ボックスをクリックします。



- 新しい「PDFを結合」ウィンドウで、ファイルをドラッグ & ドロップするか、「ファイルを追加」ボタンをクリックしてコンピューターからPDFファイルをインポートします。
- メールの添付ファイルを結合する場合は、添付ファイルを直接「結合」ウィンドウにドラッグ & ドロップできます。

2設定

- 必要に応じて、「ブックマークから生成された新しい目次ページを追加」を選択します。
- 「」ボタンをクリックして出力フォルダを設定します。

3結合の実行

- 「適用」ボタンをクリックすると、数秒でPDFファイルが結合されます。結合されたPDFは自動的にPDFelementで開かれ、編集や管理が可能です。
- ブックマークから新しい目次ページを生成するオプションを選択した場合、結合されたPDFには新しい目次ページが追加されます。

異なる形式のファイルを結合

異なる形式（Word、Excel、PowerPoint、テキスト、画像）のファイルを1つのPDFに結合できます。操作方法は複数のPDFファイルを結合する場合とほぼ同じですが、他の形式のファイルではページ範囲を設定できません。詳細は前述のPDF結合手順を参照してください。

右クリックでPDFを結合

1. 手順

複数ファイルの選択: Ctrlキーを押しながら結合したいファイルを選択します。

右クリックメニュー: 選択したドキュメントを右クリックし、「Wondershare PDFelementでファイルを結合」を選択します。

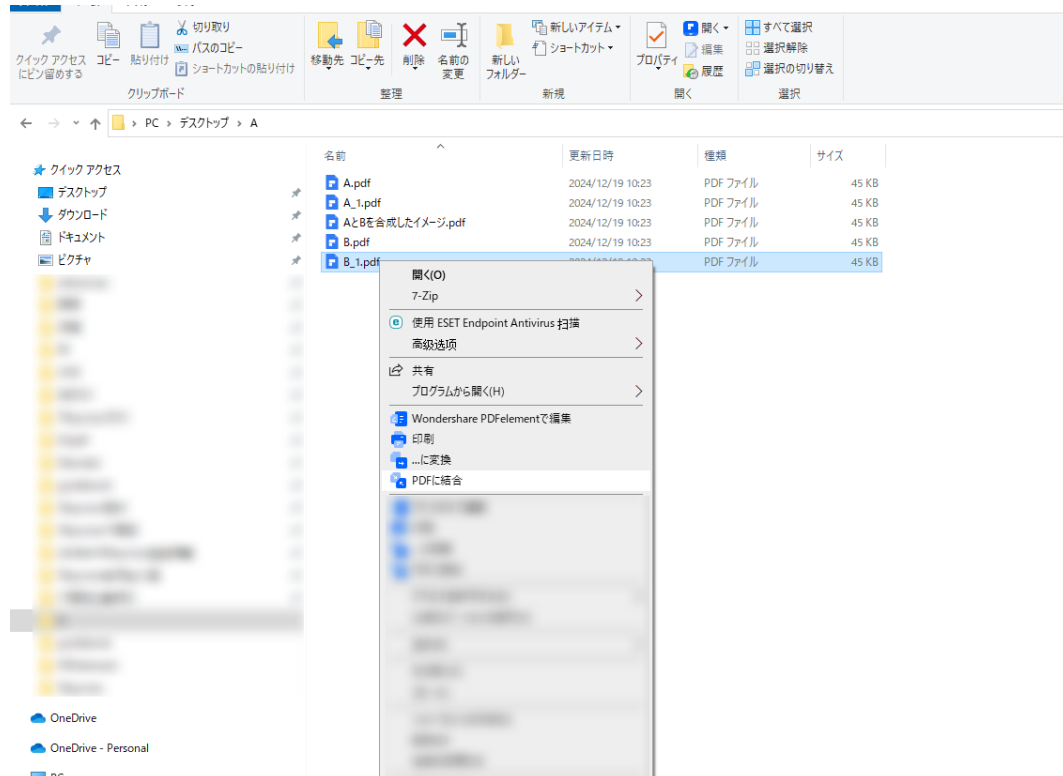
2. 結合設定

ポップアップする「PDFを結合」ウィンドウで、PDF形式のファイルについてはページ範囲を設定できます。他形式のファイルではページ範囲は設定不可です。

「」ボタンをクリックして出力フォルダを選択します。

3. 結合の実行

「適用」ボタンをクリックして結合プロセスを開始します。



PDFファイルを整理

PDFファイルを分割

1. 整理 > 分割をクリックします。

2. オプションを選択：

ページ数で分割：各ファイルのページ数を入力します。

ブックマークで分割：最上位のブックマークで分割します。

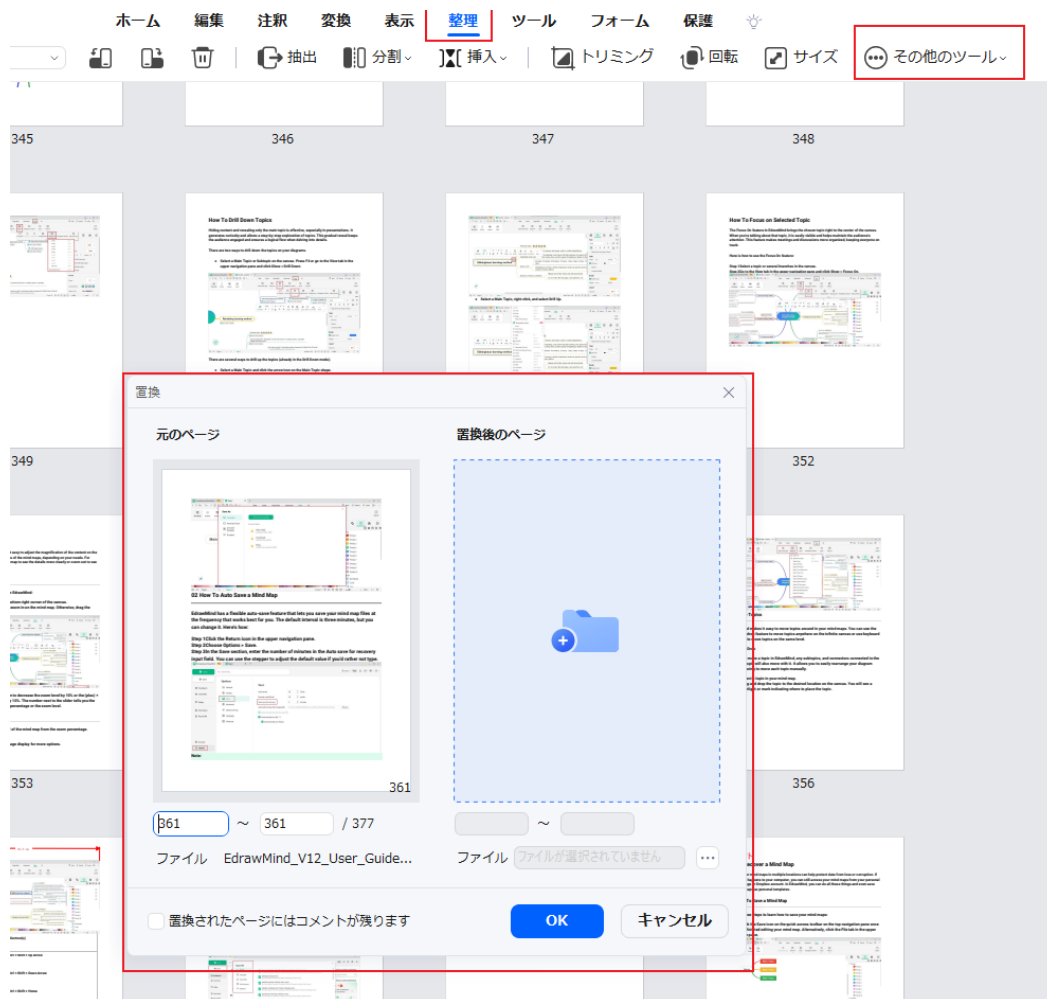
3. OKをクリックして出力フォルダを選択し、保存します。



ヒント：各ページを個別のPDFに分割するには、「ページ数で分割」に1を入力します。

PDFのページを置換

1. サムネイルパネルでページを選択します。
2. 右クリックして置換を選択、またはページ > 置換をクリックします。
3. ダイアログボックスで、現在のPDFおよび置換用PDFのページ範囲を設定します。
4. OKをクリックして置換を開始します。



PDFのページを抽出

1. ページ > 抽出をクリックします。
2. ページ範囲を設定するか、サムネイルパネルでページを選択します（Ctrlキーで複数選択可）。
3. OKをクリックすると、抽出されたページが新しいPDFとして開きます。
4. ファイル > 保存を使用して保存します。



PDFにページを挿入

1. 空白ページを挿入

- ページ > 挿入 > 空白ページをクリックします。
- ダイアログボックスで必要なページ数を設定します。

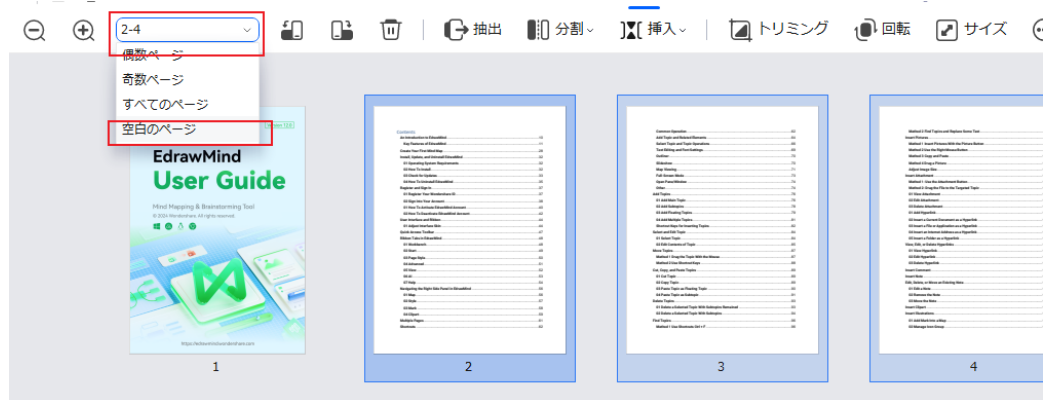


2. 別のPDFから挿入：

- 挿入 > PDFからを選択し、対象のPDFとそのページ範囲を選択します。
- または、複数のPDFを開いている場合、サムネイルパネル間でページをドラッグ & ドロップします。

空白ページを削除

- ページ > ページ入力 をクリックし、空白ページを選択します。



- すべての空白ページが表示されます。右クリックして削除を選択します。
- または、ツール > PDF一括処理 > 空白ページを削除を使用して、空白ページを一括で削除します。

PDFページの複製

複製方法

1. サムネイルパネルで複製

左側のサムネイルパネルで複製したいページをクリックします。または、Ctrlキーを押しながら複数ページを選択し、Ctrl+Cでコピー、Ctrl+Vで貼り付けます。

2. 「ページ」メニューで複製

「ページ」メニューを開き、複製したいページを選択します。Ctrlキーを押しながら複数ページを選択し、Ctrl+Cでコピー、Ctrl+Vで貼り付けます。

PDFページのサイズ変更

1. 手順

上部メニューバーの「整理」タブをクリックし、「サイズ」を選択します。

「ページサイズ」ポップアップウィンドウで現在のページサイズが表示されます。

2. サイズ設定

標準サイズ: ドロップダウンメニューから固定サイズ（Letter、A4など）を選択。

カスタムサイズ: 幅と高さの値を入力。

3. その他の設定

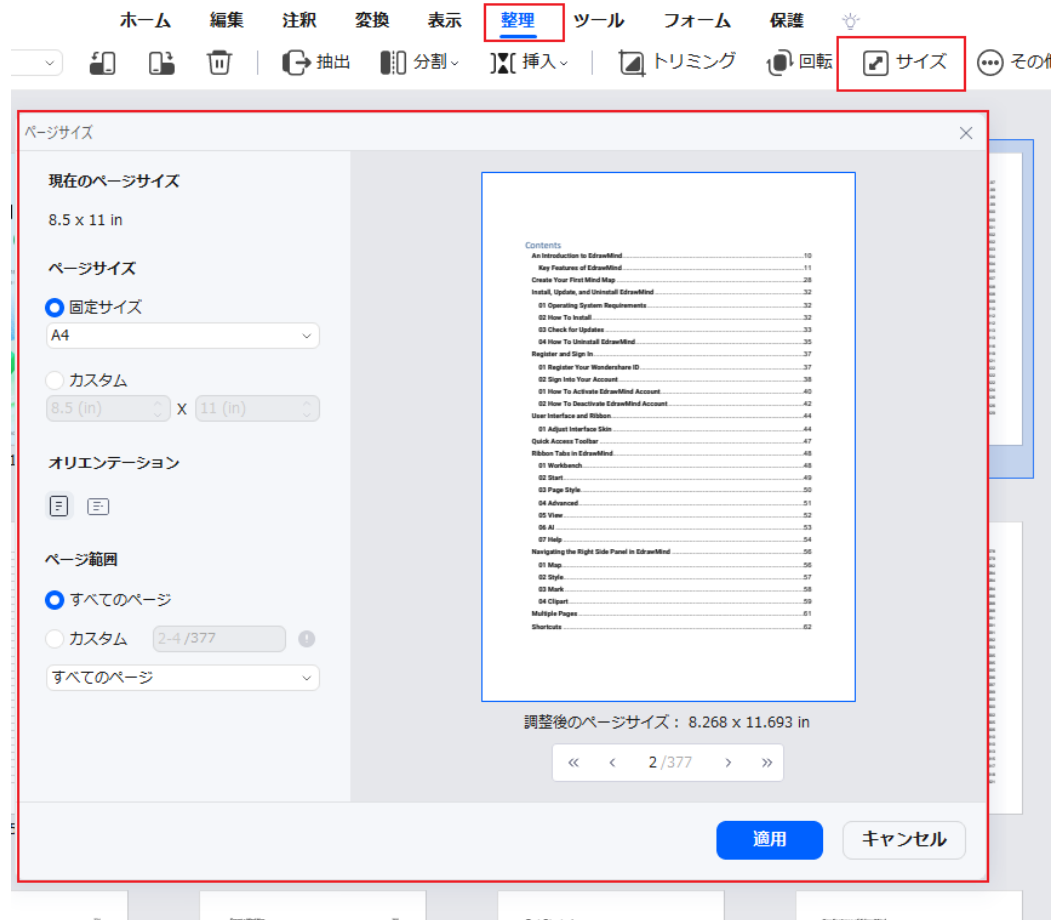
向き: 横向きまたは縦向きを選択。

ページ範囲: すべてのページ、または特定の範囲を指定。

プレビュー: 右側にリサイズ後のレイアウトを表示。

4. 適用

設定が完了したら、「適用」をクリック。



PDFの比較

- 手順
 - ホームページで「PDFの比較」タブをクリックします。
 - ポップアップウィンドウで「旧ファイル」と「新ファイル」を追加し、「比較」をクリック。

保護



PDFセキュリティ

PDFをパスワード保護します。



非表示情報を削除

機密性の高い内容と非表示データを永続的に削除します。

校閲



コメントを追加

ハイライト、メモ、書き込みやコメントを追加します。

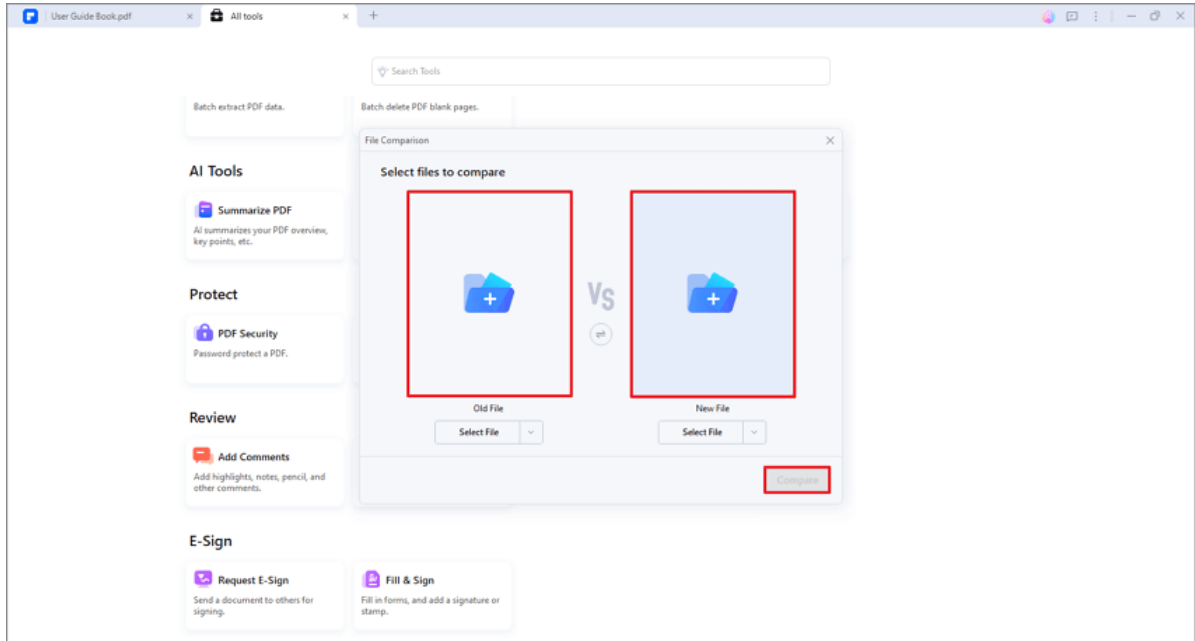


PDF比較

2つのファイルを比較し、相違点を強調表示します。

- 結果の確認

- 2つのPDFを並べて表示し、削除、挿入、変更の箇所が異なる色でハイライトされます。
- 「前の変更」「次の変更」ボタンで各修正箇所を個別に確認。



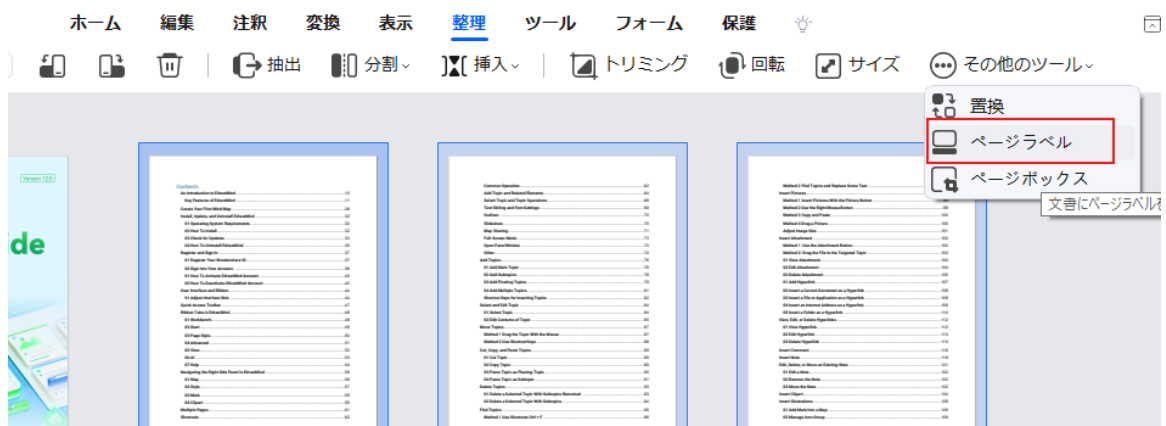
- フィルタ機能

テキストまたは画像の変更のみを表示するなど、変更箇所の表示/非表示を切り替え可能です。
変更リストとダッシュボード: 左側の比較パネルですべての変更内容をリスト形式で確認。

PDFページラベルの設定

1. 手順

1. 「整理 > その他」をクリックし、「ページラベル」を選択。
2. ポップアップウィンドウでページ範囲、番号形式、プレフィックスを設定。
3. 「適用」をクリックしてラベルを追加。



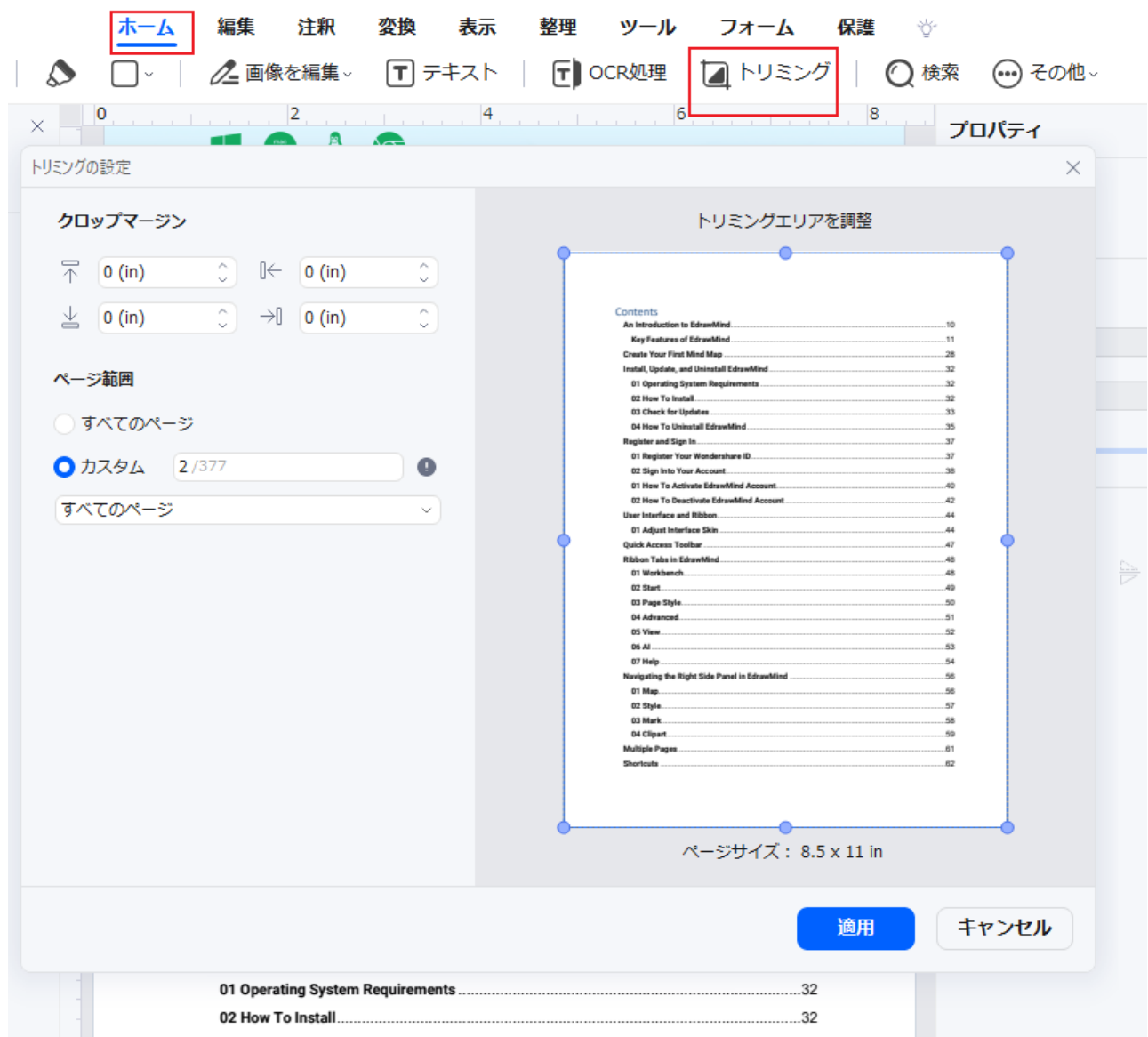
PDFの回転

- サムネイルパネルで回転したいページを選択。Ctrlキーで複数選択も可能。
- 右クリックで「回転」を選択、または「ページ」メニューでページ番号を入力して回転方向を選択。
- 「ファイル > 保存」で変更を保存。

PDFのトリミング

1. ページのトリミング

- 「ホーム > トリミング」をクリックし、「トリミングボックス設定」ダイアログを開きます。
- 青い四角をドラッグしてエリアを調整、またはトリミングマージンを直接入力。
- ページ範囲を指定し、「適用」をクリック。



2. ページボックスの調整

- 「整理 > その他 > ページボックス」を選択し、ページサイズ設定ダイアログでトリミング範囲を調整。

- 適用範囲を指定し、「適用」をクリック。



3. マージンコントロールオプション

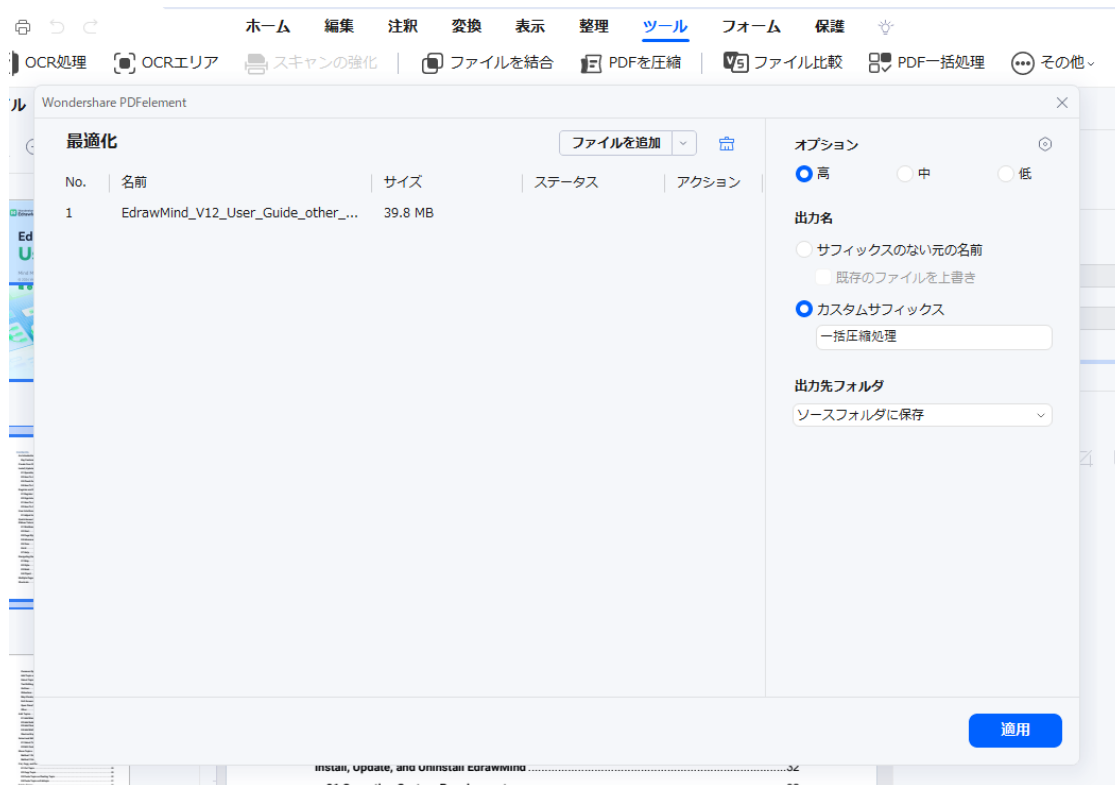
- トリミングサイズ: ページの表示/印刷時のコンテンツ範囲を定義。
- 裁ち落としサイズ: プロフェッショナル印刷時のトリムと折り目の範囲を定義。
- 仕上がりサイズ: トリム後のページサイズを定義。
- アートサイズ: ページの意味のあるコンテンツ（余白を含む）を定義。

PDFの圧縮

1. 手順

- 「ツール > PDF圧縮」をクリックし、最適化レベルを選択。
- 「設定」アイコンをクリックして、解像度や圧縮対象の詳細をカスタマイズ。

2適用: 「適用」をクリックして圧縮を開始。



PDF OCRについて

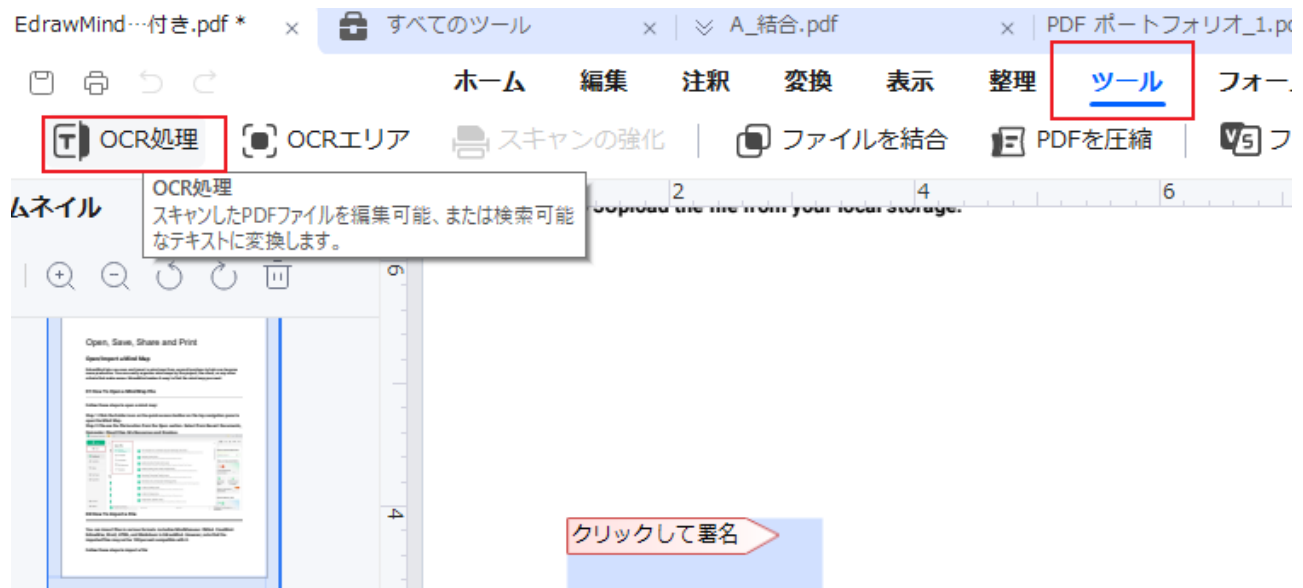
OCRとは？

OCR（Optical Character Recognition）は、画像や印刷されたテキストを機械で読み取れる形式のテキストに変換する技術です。OCRは紙のドキュメントを電子化する際や、スキャン済みPDFや画像ベースのPDFを編集可能な形式（Word、Excel、PowerPointなど）に変換する場合に必要です。これらのファイルを直接編集または変換するには、最初にOCRを実行する必要があります。

OCRプラグインのダウンロードとアンインストール

1. PDFelement OCRプラグインのダウンロード

- 「ツール > OCR」ボタン、または通知バーの「OCRを実行」をクリックすると、OCRプラグインをダウンロードするメッセージが表示されます。
- ダウンロード状況は進行バーで確認できます。



ヒント: OCRプラグインのダウンロードに失敗した場合

以下の方法を試してください：

- PDFelementをアンインストールし、公式サイトから再インストールします。
- OCRプラグインを以下のリンクから個別にダウンロードしてください: [Windows用OCRプラグイン](#)
- Macの場合、App StoreからPDFelementをダウンロードしてください（OCRプラグインが含まれています）。
- 再インストール後もダウンロードできない場合、サポートチームに連絡してください。

2. OCRのインストール

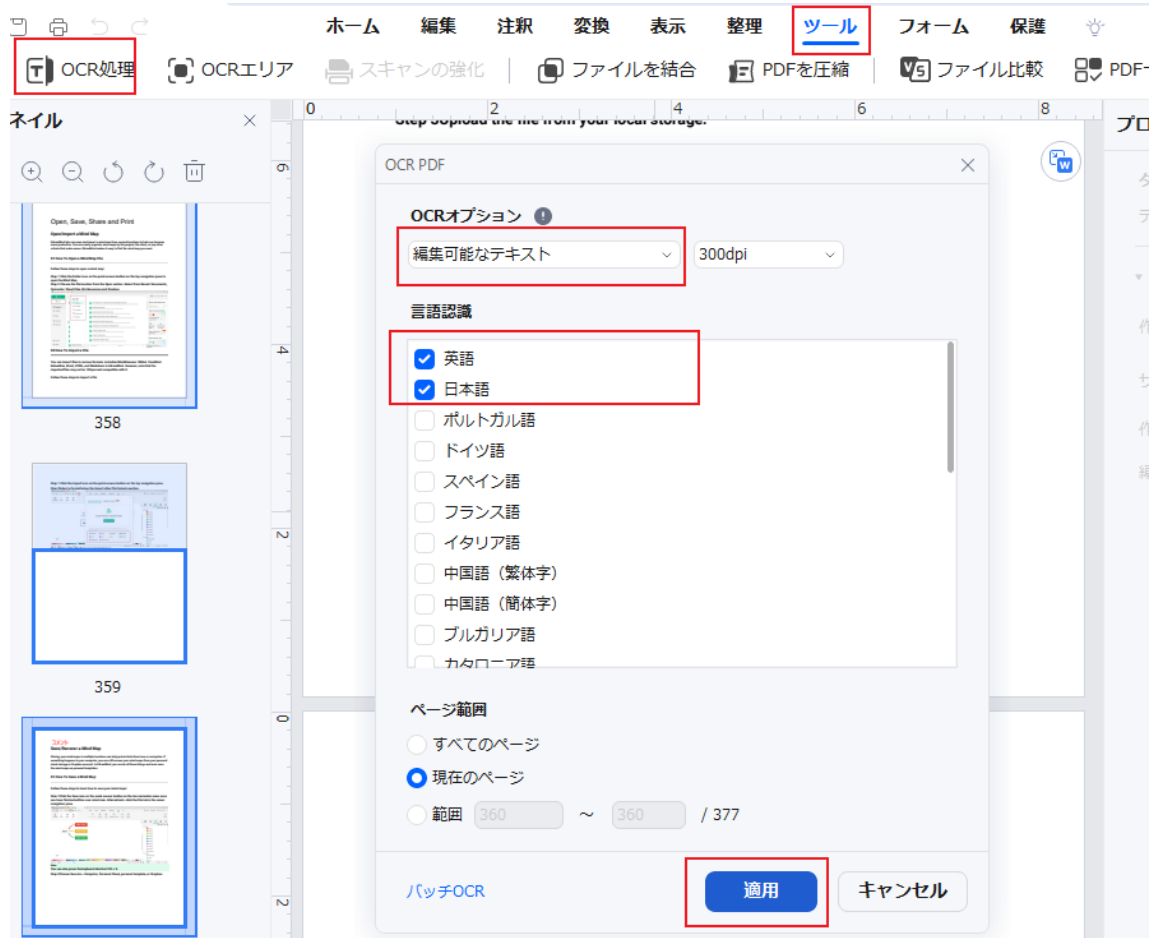
- ダウンロード後、プログラムが自動的にOCRプラグインをインストールします。インストール完了後、ポップアップウィンドウで「OK」をクリックします

OCRを使用してPDFをスキャン

1. 編集可能なOCR

スキャン済みPDFを編集可能にする手順：

- 「ツール > OCR」ボタンをクリックし、「編集可能なテキストにスキャン」モードを選択します。
- 「言語を変更」ボタンでPDFの内容に適した言語を選択します（20以上の言語に対応）。



- 必要に応じて、OCRを実行するページ範囲を選択します。
- 「適用」をクリックしてOCRを実行します。進行バーが操作状況を示し、完了後に編集可能なPDFが開きます。

ヒント：元のスキャンPDFのコメントを新しい編集可能なPDFに移動するには、コメントをエクスポートし、新しいPDFでインポートしてください。

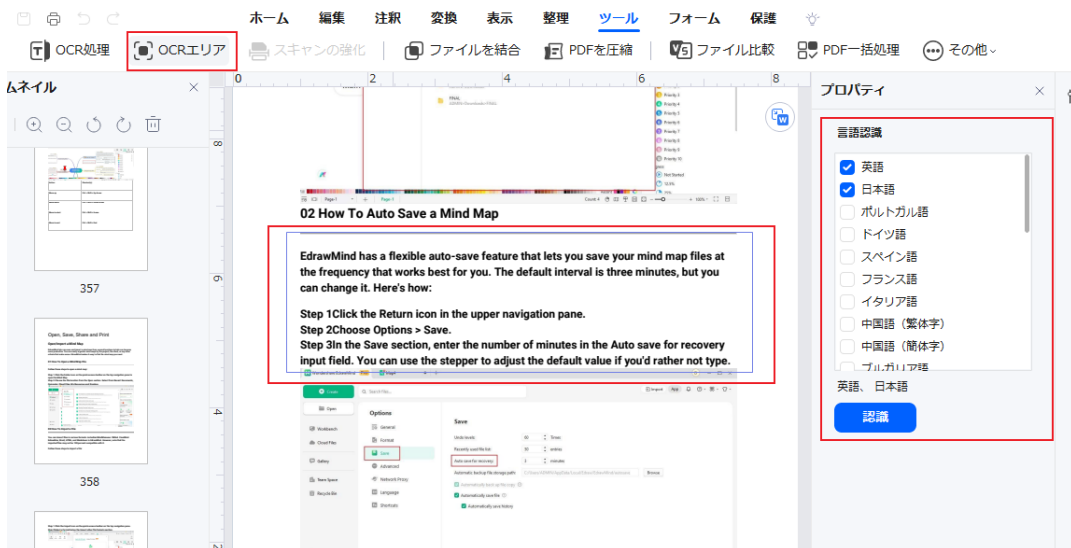
2. 検索可能なOCR

- 「ツール > OCR」ボタンをクリックし、「検索可能な画像内テキストにスキャン」モードを選択します。
- OCR完了後、生成されたPDFファイルは検索可能になります。Ctrl+Fを押してキーワードを検索するか、テキストを選択してコピーし、Wordなどの別のドキュメントに貼り付けることができます。

OCREリア機能

PDFelementでは、スキャン済みPDFを簡単に編集可能または検索可能なテキストに変換できます。「OCRエリア」機能を使用すると、特定のドキュメント領域のみを選択してOCRスキャンを実行可能です。

- エリアを選択
画像を開き、「ツール > OCRエリア」をクリックしてOCRを開始する領域を選択します。
- 言語の設定
右側の「プロパティ」ウィンドウで認識する言語を選択します。
- 認識の実行
「認識」ボタンをクリックすると、PDFelementが選択した領域をスキャンし、内容を編集可能または検索可能なテキストに変換します。



バッチOCR

PDFelementは、複数のファイルを一括でOCR処理するための「PDF一括処理」ツールを提供しています。

- バッチOCRの開始

ファイルを開いた後、「ツール > PDF一括処理 > OCR」を選択します。

この機能を使用すると、複数のスキャン済みPDFを一括で編集可能なPDFに変換可能です。

- ファイルの追加

ファイルを点線のボックス内にドラッグ & ドロップ、または「ファイルを追加」をクリックしてドキュメントを選択します。

「ファイルを追加」「開いているファイルを追加」「フォルダを追加」の3つのオプションがあります。

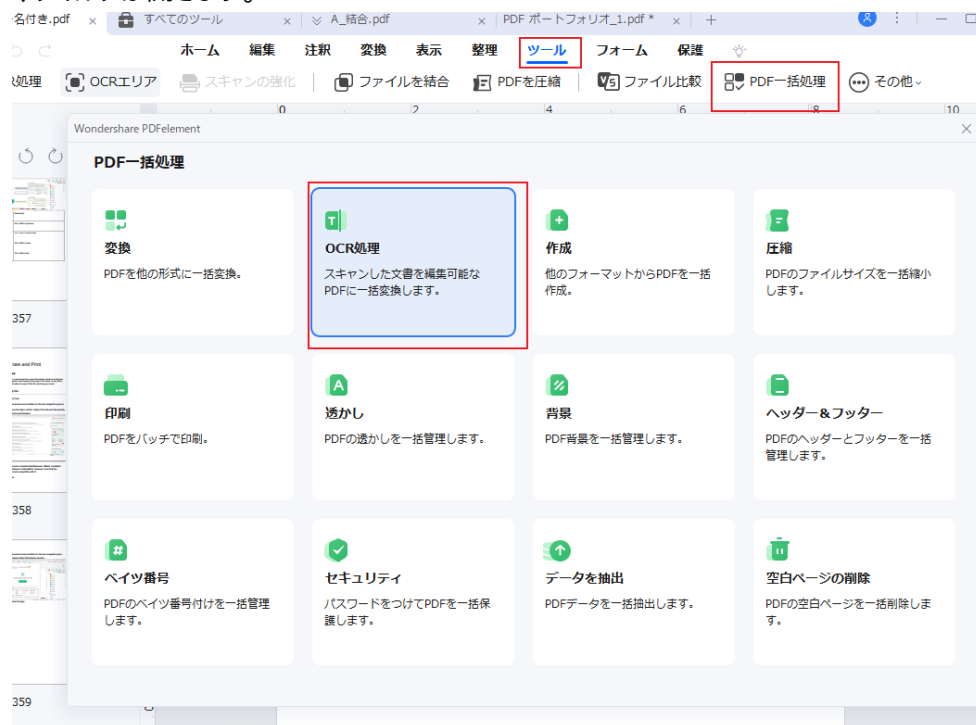
- OCRオプションの設定

編集可能なテキストに変換、または検索可能なテキストと画像に変換を選択します。

必要な言語を選択します。

- 適用

「適用」をクリックすると、バッチOCRスキャンが開始されます。処理完了後、ファイルは自動的に保存され、フォルダが開きます。



PDFファイルの変換

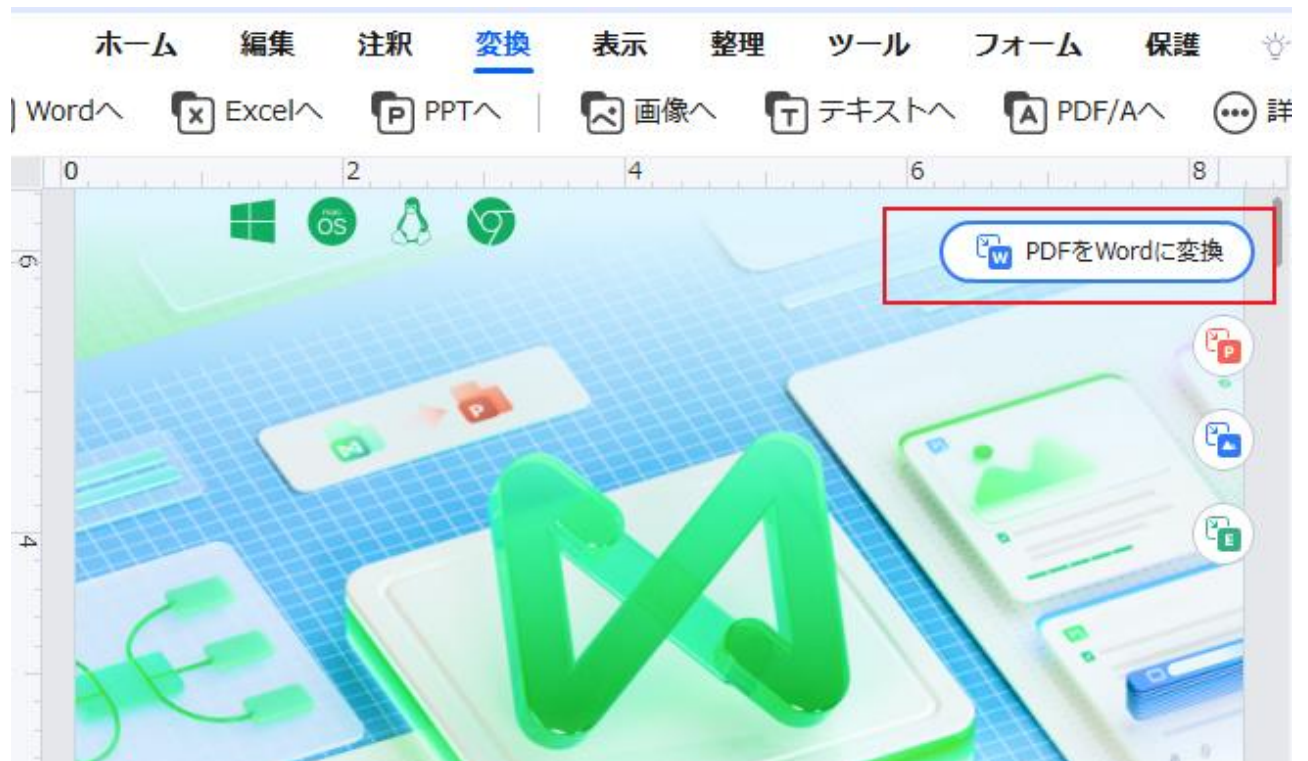
PDFを他形式に変換

PDFelementでは、PDFをMS Office、画像、HTML、RTFなどの形式にエクスポートできます。

1. ビューと変換

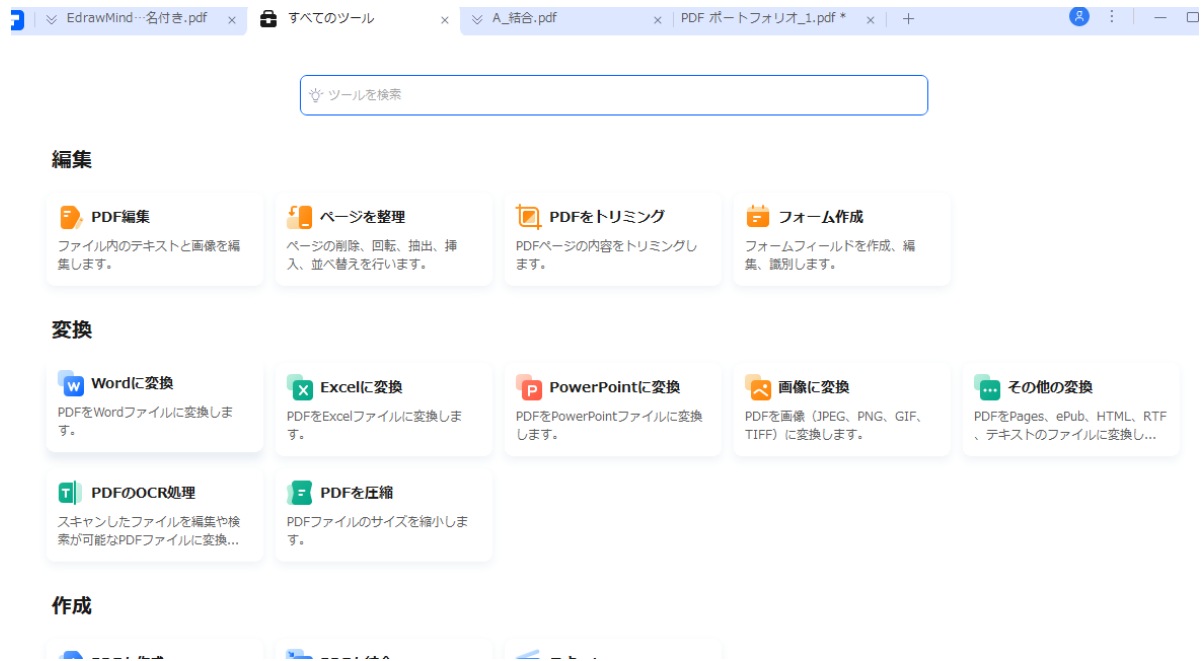
- PDFを開き、「変換」>「Wordに変換」「Excelに変換」「PPTに変換」などを選択します。
- 新しいダイアログボックスで出力フォルダを選択し、「保存形式」を変更することも可能です。
- 変換後、出力フォルダにアクセスするか、ダイアログボックスの「開く」ボタンをクリックしてフォルダを開きます。





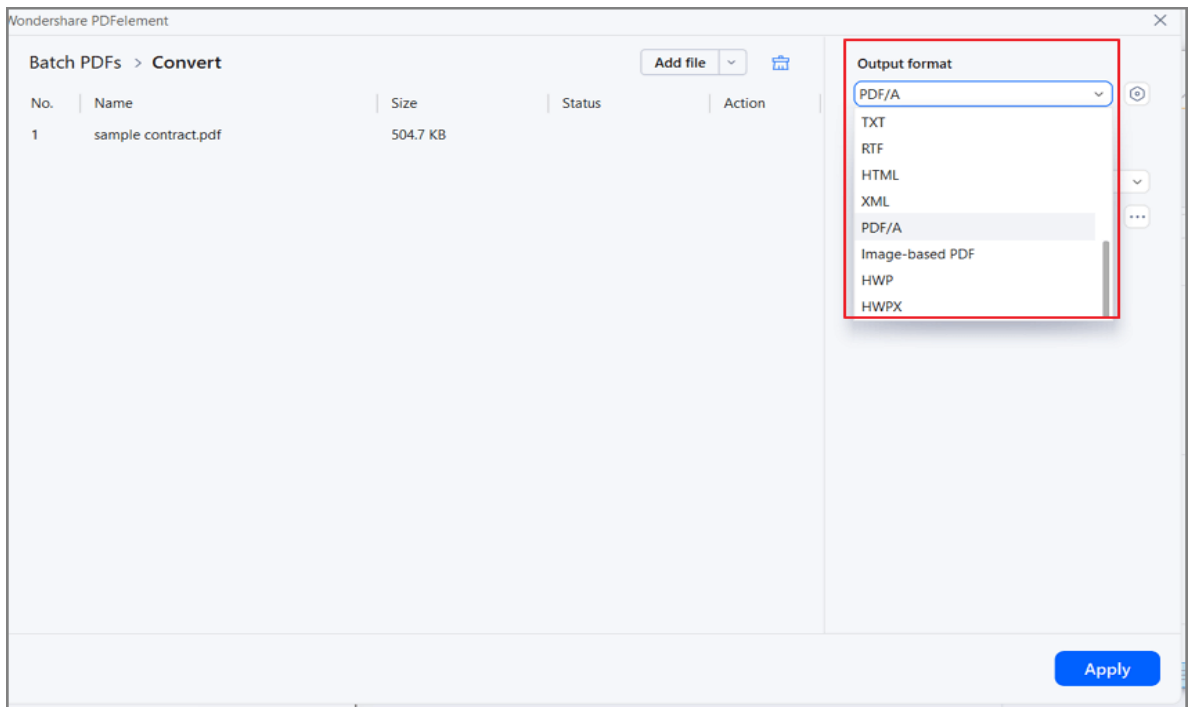
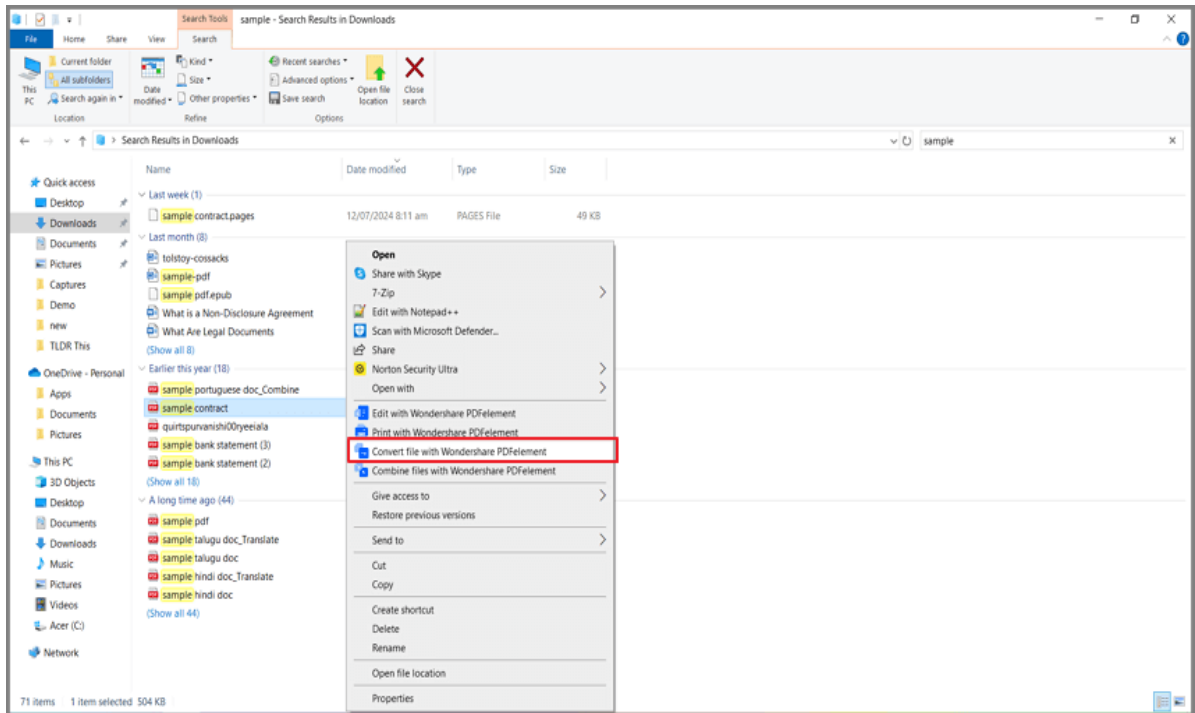
2. 直接変換

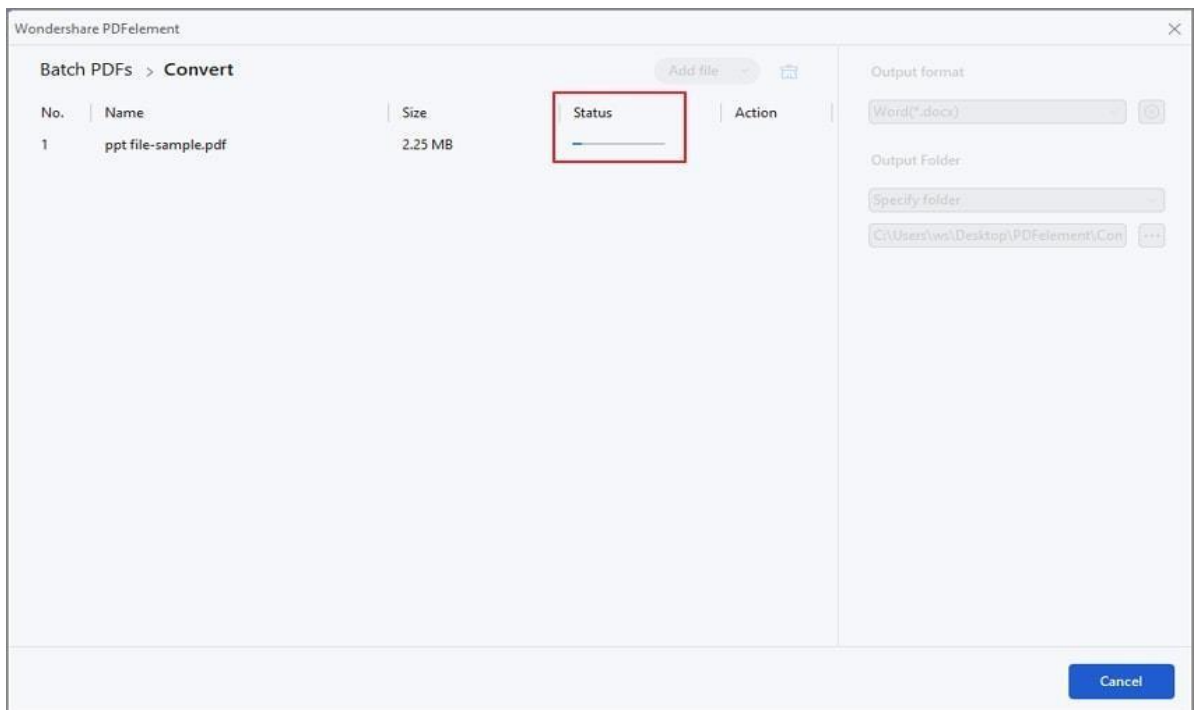
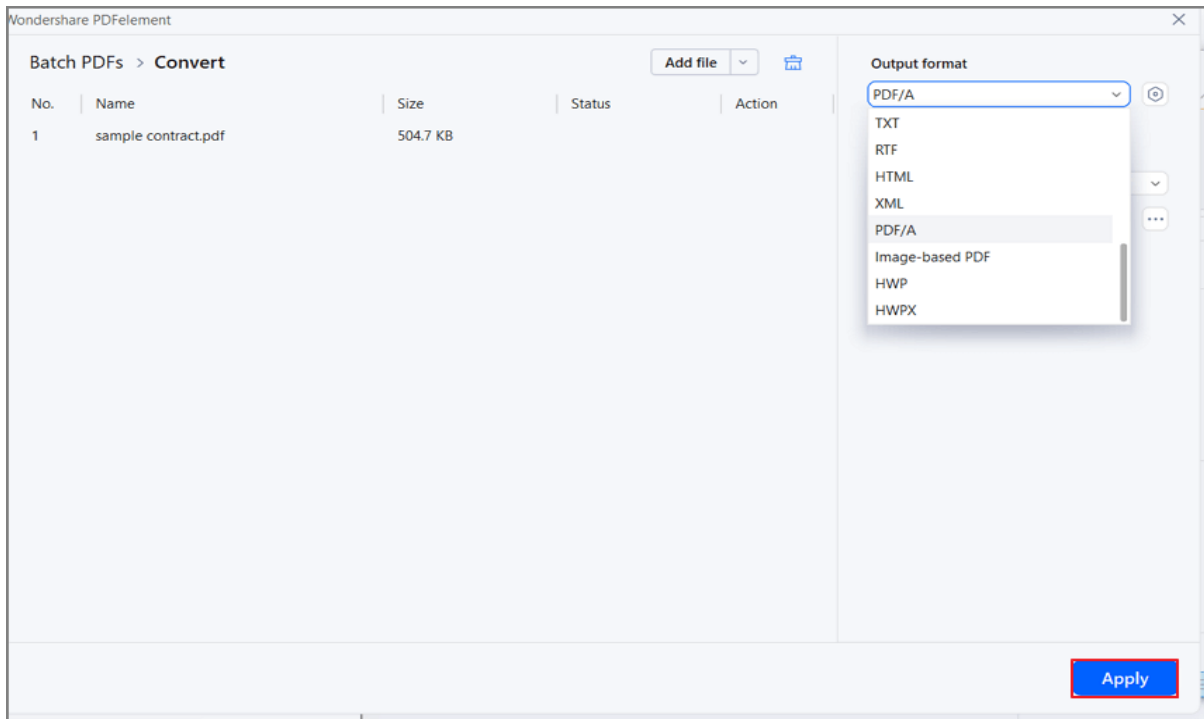
- PDFelementのスタートページで、「すべてのツール」セクションの「変換」をクリックします。
- 変換するPDFファイルを選択し、出力フォルダと形式を設定します。
- 変換後、出力フォルダにアクセスするか、「開く」ボタンをクリックしてフォルダを開きます。



3. 右クリックで変換

- 変換したいPDFファイルを選択し、右クリックメニューで「Wondershare PDFelementでファイルを変換」を選択します。
- PDFelementが起動し、変換ウィンドウが表示されます。ここで「出力形式」を選択し、「適用」をクリックします。
- 進行バーで変換状況を確認し、数秒後にPDFファイルが指定の形式に変換されます。

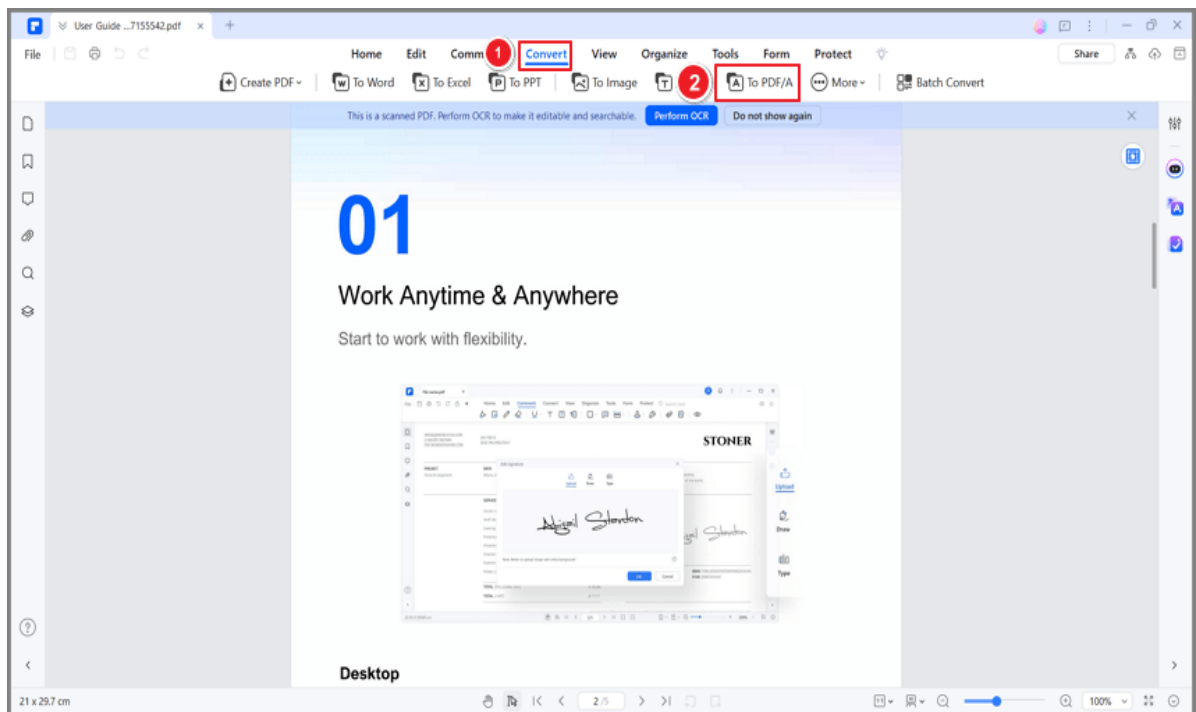




PDFをPDF/Aに変換する方法

PDF/Aは電子文書の長期保存やアーカイブに特化したISO標準化されたPDF形式です。長期保存に適さないフォントリンクや暗号化などの機能が禁止されています。

- PDFを編集後、「変換」>「PDF/Aに変換」ボタンをクリックします。
- 「名前を付けて保存」ウィンドウが表示されます。「保存形式」のオプションから以下のような形式を選択できます：
- PDF/A-1a, PDF/A-1b, PDF/A-2a, PDF/A-2b, PDF/A-2u, PDF/A-3a, PDF/A-3b, PDF/A-3u。
- 必要な形式を選択したら、「保存」ボタンをクリックします。



PDFのバッチ変換

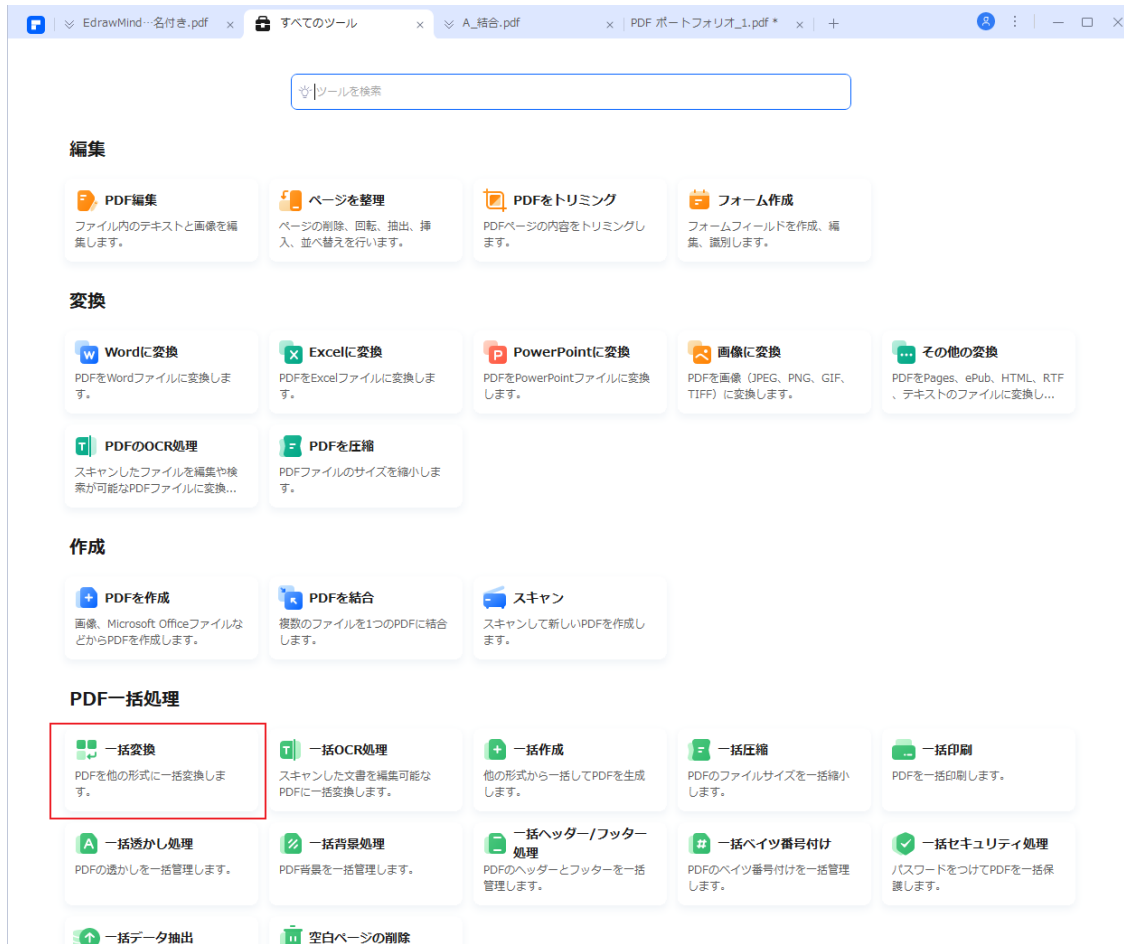
複数のPDFファイルを一括で同じ形式に変換できます。

- プログラムを開き、「バッチPDF」ボタンをクリック。



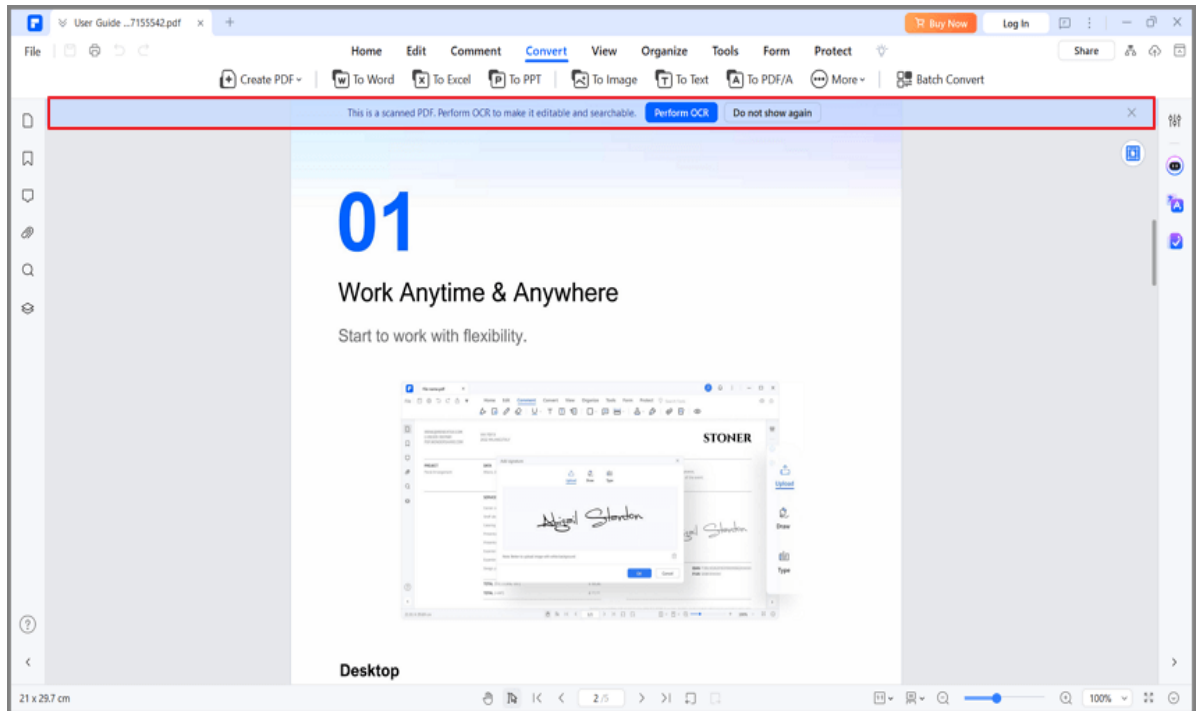
Wondershare PDFelement

- ポップアップウィンドウで、「変換」オプションを選択。
- 複数のPDFファイルを読み込み、出力形式と保存先フォルダを指定。
- 「適用」をクリックして変換を開始。
- 変換後、指定したフォルダで変換後のファイルを確認できます。

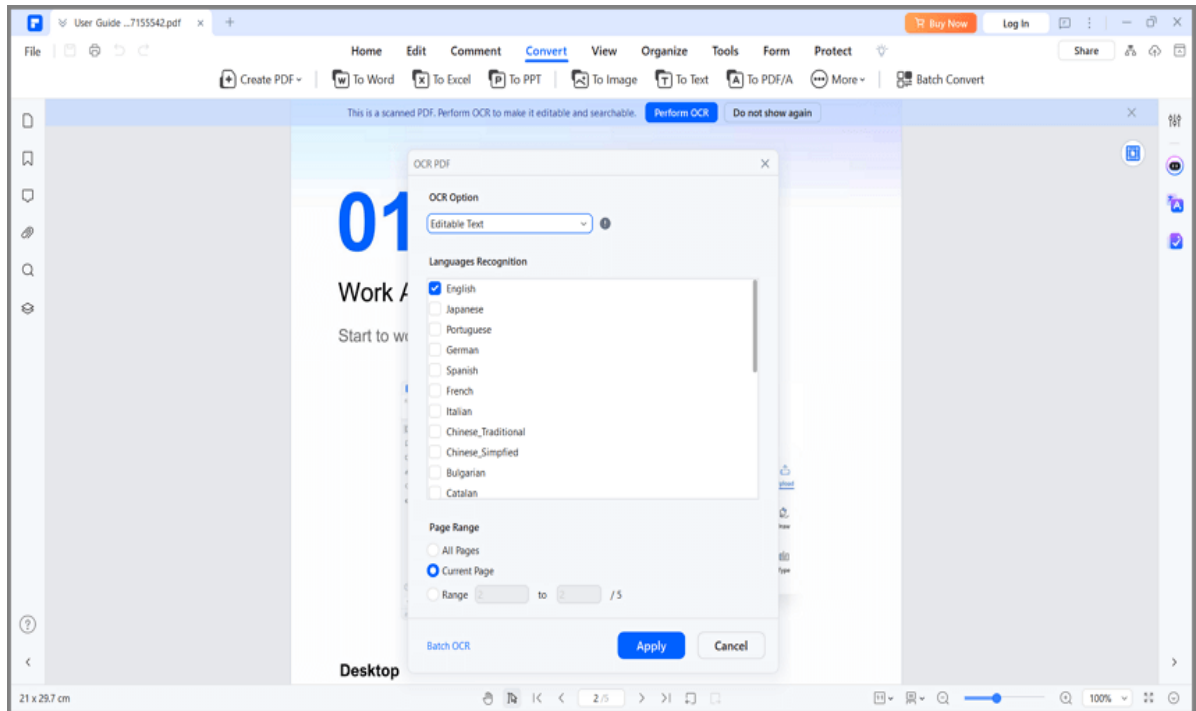


スキャンされたPDFを変換する

スキャンまたは画像ベースのPDFを変換するには、先にOCRを実行する必要があります。



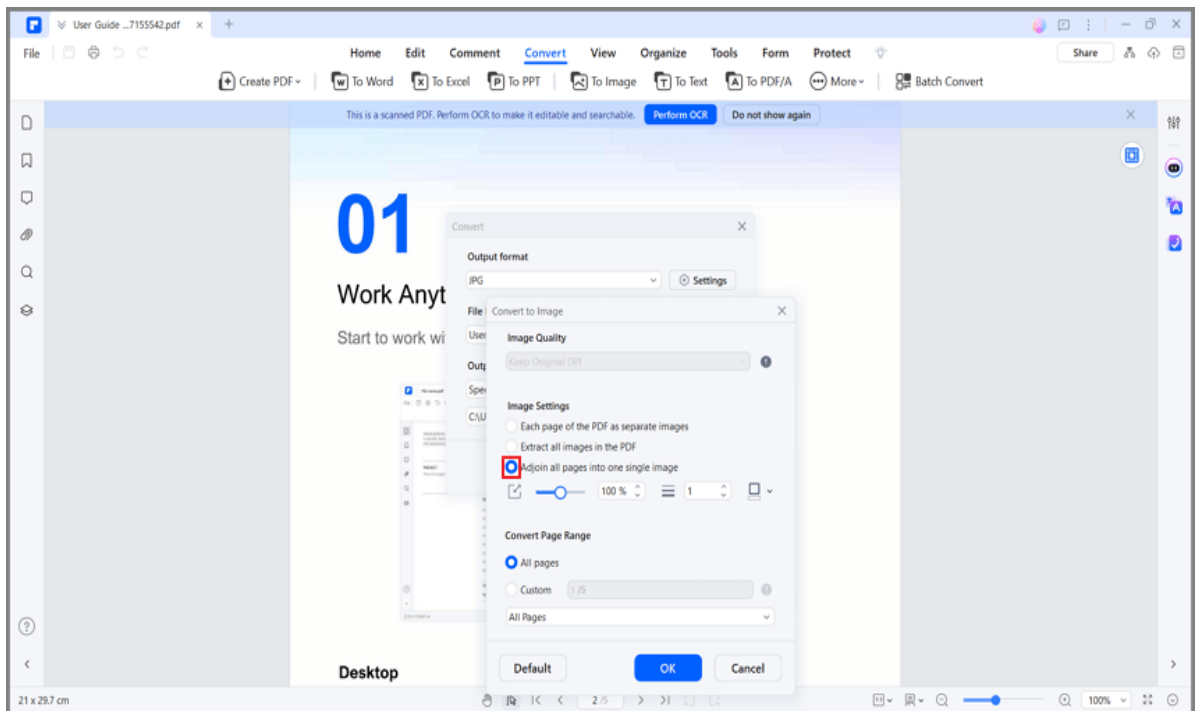
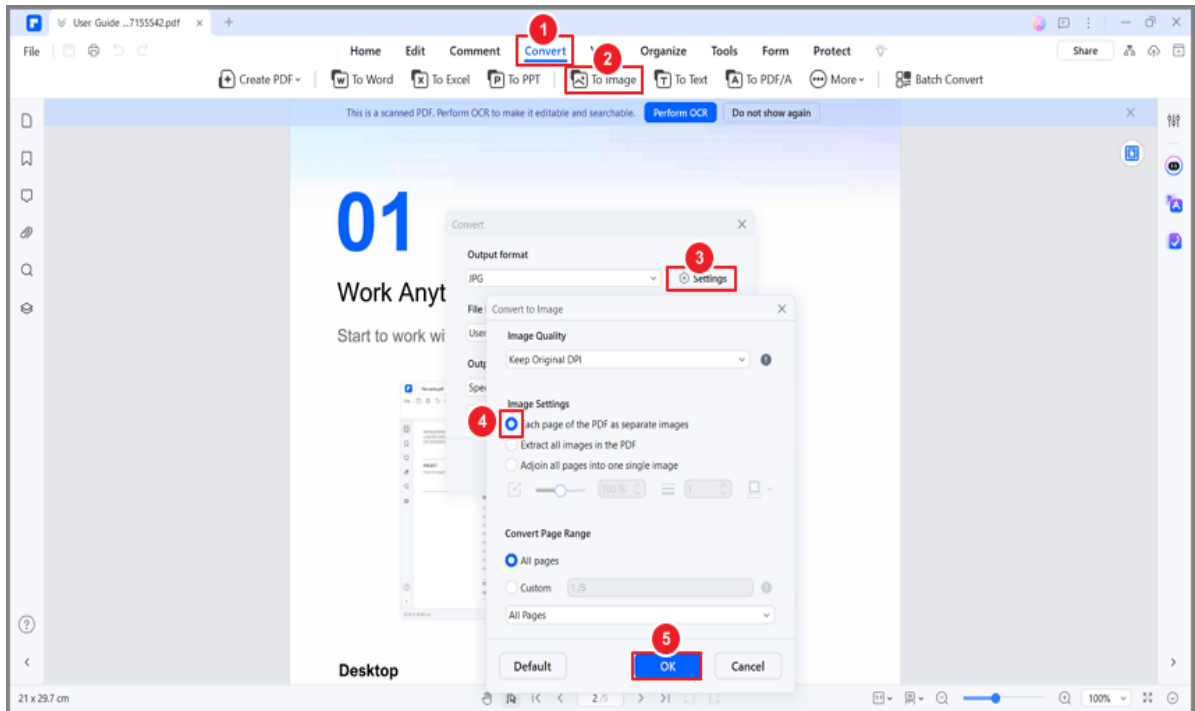
1. スキャンまたは画像ベースのPDFを開くと、OCRを実行する旨の通知が表示されます。
2. 「OCRを実行」ボタン、またはツールバーの「ツール > OCR」ボタンをクリックします。
3. 「言語認識」ボタンをクリックし、PDFに含まれる正しい言語をリストから選択します。複数言語が含まれる場合は、必要な言語すべてを選択します。
4. 「適用」をクリックしてOCRプロセスを開始します。完了すると、新しい編集可能なPDFが自動で開きます。
5. 「変換 > Wordに変換」ボタンをクリックして、希望の形式に変換します。

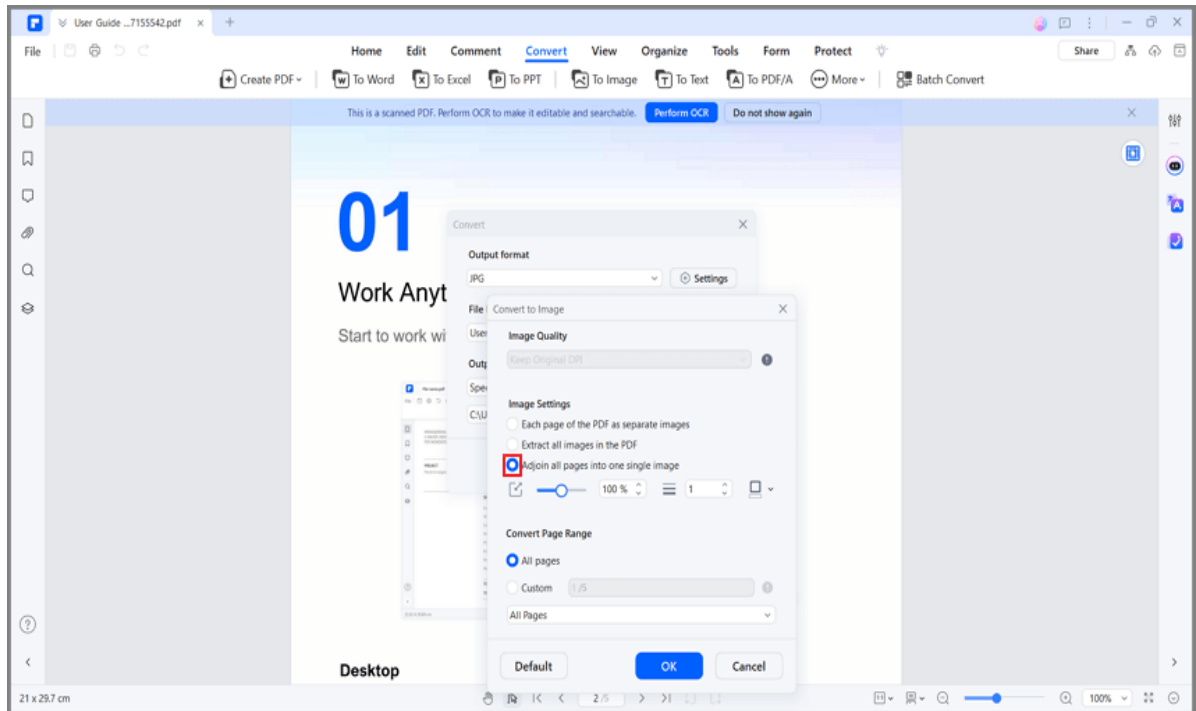


画像ベースPDFへの変換

PDFelementではPDFを非検索可能・非編集可能な画像ベースのPDFに変換できます。

- PDFを開き、「変換 > その他 > 画像ベースPDFに変換」をクリックします。
- 出力ファイル名と保存先フォルダを指定し、「OK」をクリックして変換を開始します。
- 「フォルダを開く」をクリックして、変換後のファイルを確認します。





PDF変換設定

変換前に、「変換 > フォーマットを選択 > 設定」ボタンをクリックして設定を確認または変更できます。

1. PDFからWordへの変換設定：

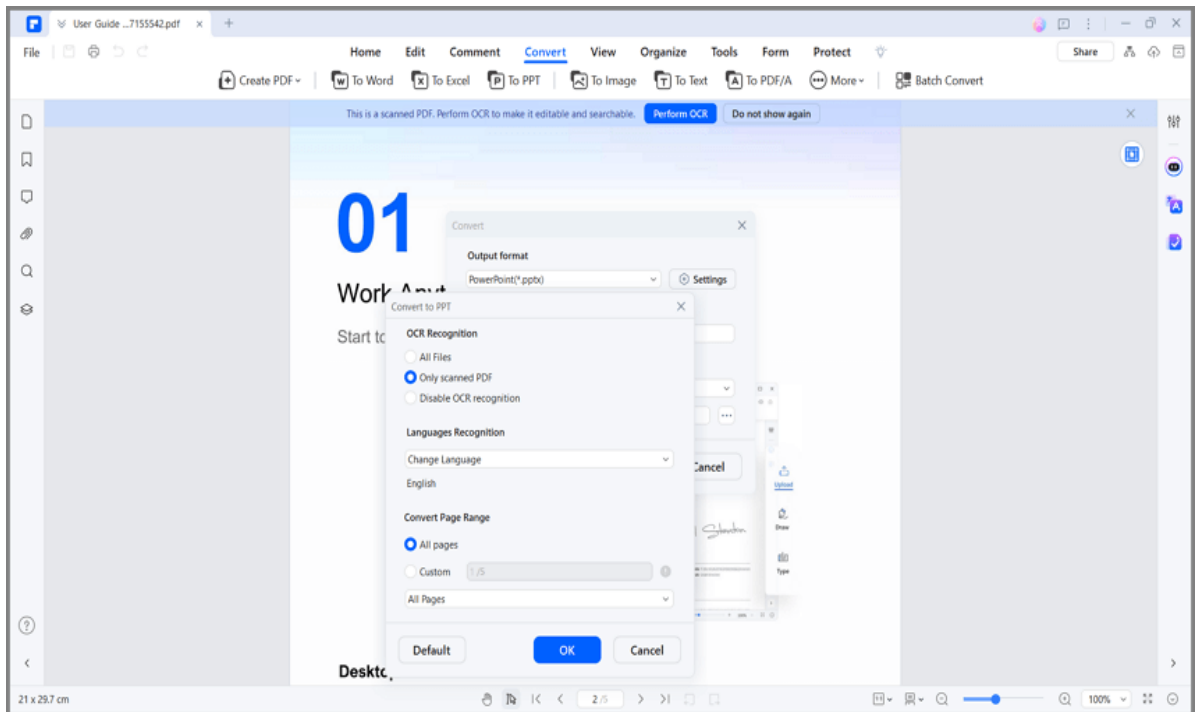
- OCR認識：OCRを実行するか、範囲を設定
- 優先設定：
 - テキストレイアウト優先：元のフォーマットをできるだけ維持
 - テキスト認識優先：テキスト認識の精度を優先
- 言語認識：PDFコンテンツに適した言語を選択
- ページ範囲：変換するページを選択

2. PDFからExcelへの変換設定

- OCR認識：OCRの範囲を設定
- すべてのページを1つのExcelシートに統合：選択すると、すべてのページが1つのExcelシートに変換
- 言語認識：PDFコンテンツに適した言語を選択

3. PDFからPPT / Text / RTF / HTMLへの変換

- OCR認識: 変換中にOCRプロセスを実行する範囲を設定します。
- 言語認識: PDFコンテンツに使用されている言語をリストから選択します。



4. PDFから画像への変換

- 画像品質: 変換時にPDFの元のDPIを維持することを推奨します。
- 画像設定:
 - 各PDFページを個別の画像として変換するか、全ページを1つの長い画像に変換するかを設定可能。



Wondershare PDFelement

- 拡大率や画像の余白を調整できます。
- ページ範囲: 変換対象のページ範囲をカスタマイズ可能です。

5. PDFからEpubへの変換

- 表紙: 出力される電子書籍に表紙を追加可能。表紙を追加するには、「」ボタンをクリックしてコンピュータから選択します。
- OCR認識: 変換中にOCRプロセスを実行する範囲を設定します。
- 言語認識: PDFコンテンツの言語をリストから選択します。

PDFフォームの記入

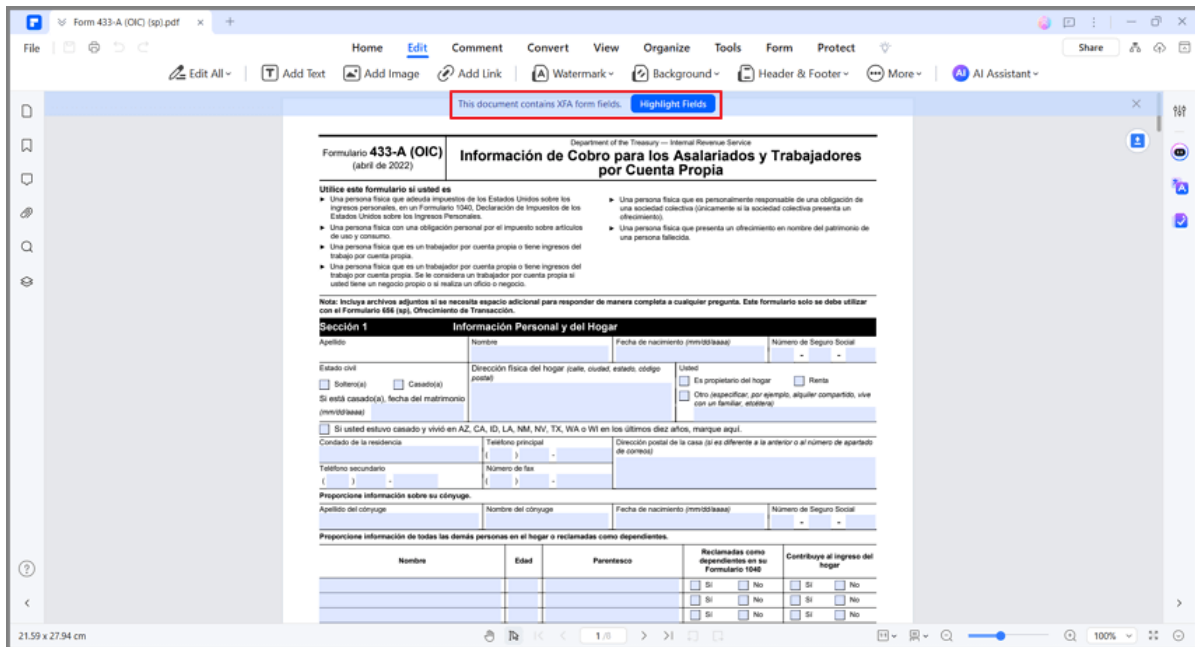
PDFの記入方法

PDFフォームには2種類あります：

1. インタラクティブPDFフォーム

フィールドが入力可能なフォーム。青いハイライト通知が表示され、フォームフィールドをクリックするだけで記入可能です。

- ・ 記入可能なフィールドまたはボックスをクリックしてテキストを入力。
- ・ 記入後、「ファイル > 保存」または「Ctrl + S」で保存。

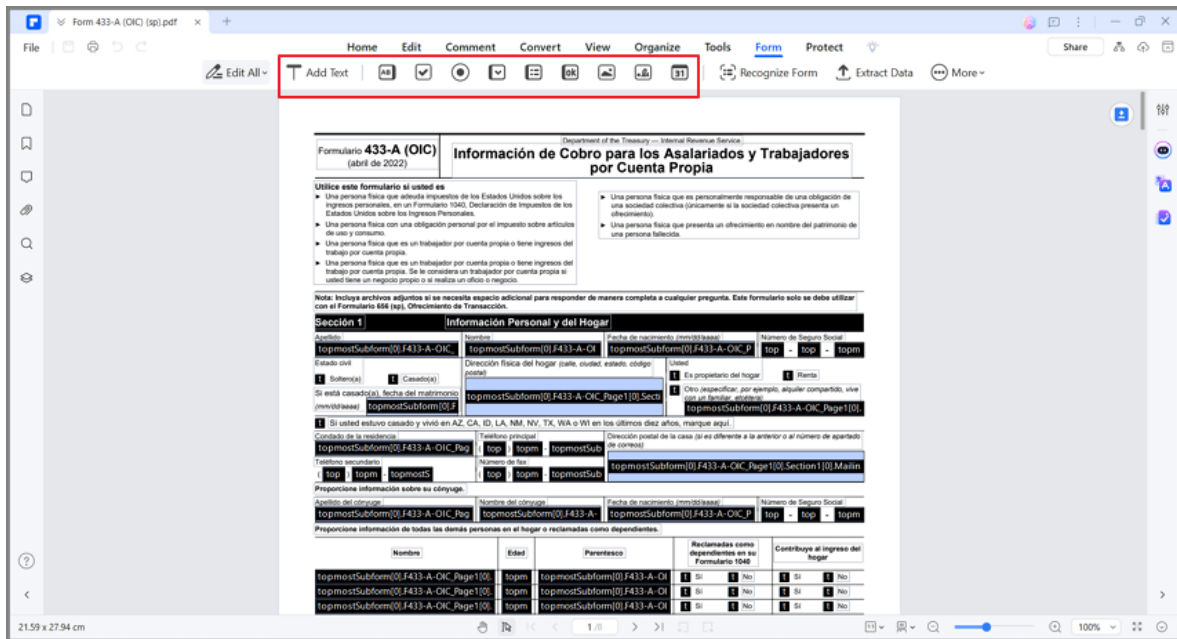


The screenshot displays the Wondershare PDFelement software interface with a PDF form open. The form is titled 'Formulario 433-A (OIC) (abril de 2022)' and is for 'Información de Cobro para los Asalariados y Trabajadores por Cuenta Propia'. The form includes sections for personal information, marital status, and dependent information. The interface shows various toolbars and a sidebar with navigation icons. A red box highlights the 'Highlight Fields' button in the top toolbar.

2. 非インタラクティブPDFフォーム

フォームフィールドが入力できない形式。ツールバーの「フォーム」タブを使って記入可能です。

または、「認識フォーム」ボタンをクリックして自動的にインタラクティブフォームに変換します。



フォームを記入可能に変換

自動変換:非インタラクティブフォームに空欄や表が含まれている場合、「認識フォーム」ボタンでインタラクティブフォームに変換可能です。

- ・「フォーム > 認識フォーム」をクリックして空欄と表を自動的に検出。
- ・「プレビュー」ボタンをクリックしてフィールドにカーソルを合わせて記入。



手動で記入可能フォームを作成

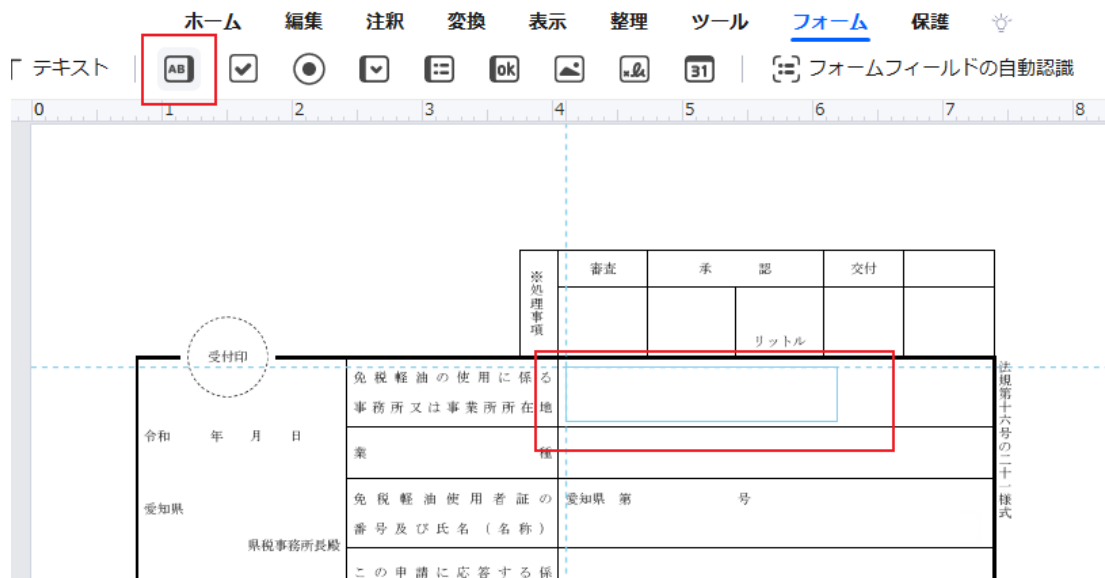
自動認識ができない場合、フォームフィールドを手動で作成可能です。以下のツールを使用してインタラクティブフォームを設計します：



- テキストフィールド: 名前、メールアドレスなどを入力可能にするフィールド。
- チェックボックス: Yes/Noの選択肢を提供。
- ラジオボタン: 同グループ内で1つだけ選択可能な選択肢。
- コンボボックス: ドロップダウンリストを提供。
- リストボックス: 選択可能なリストを表示。
- ボタンフィールド: ウェブサイトの開閉やフォーム送信など、アクションを起動。
- イメージフィールド: ユーザーが画像を追加可能。
- 署名フィールド: デジタル署名を追加可能な空欄。
- 日時フィールド: 日付と時間を表示。

操作方法:

- 「フォーム」タブでツールを選択し、フィールドを追加する場所をクリック。
- 追加したフィールドを確認。



目に係る	リットル
所在地	テキスト1
種	名前
者証の	テキスト1
(名称)	ツールチップ:
客する係	☐ 必須
電話番号	もっと >>

も証交付申請書

PDFフォームの整列

1. 「フォーム > 編集」をクリック。
2. Ctrlキーを押しながら複数のフィールドを選択。右クリックして「すべて選択」を選べば、そのページ内のすべてのフィールドを選択可能。
3. 「整列」オプションで左揃え、右揃え、上下揃え、垂直・水平整列を選択。



4. 分布機能: 3つ以上のフィールドを選択すると「分布」オプションが有効になり、水平または垂直方向に均等に配置可能。

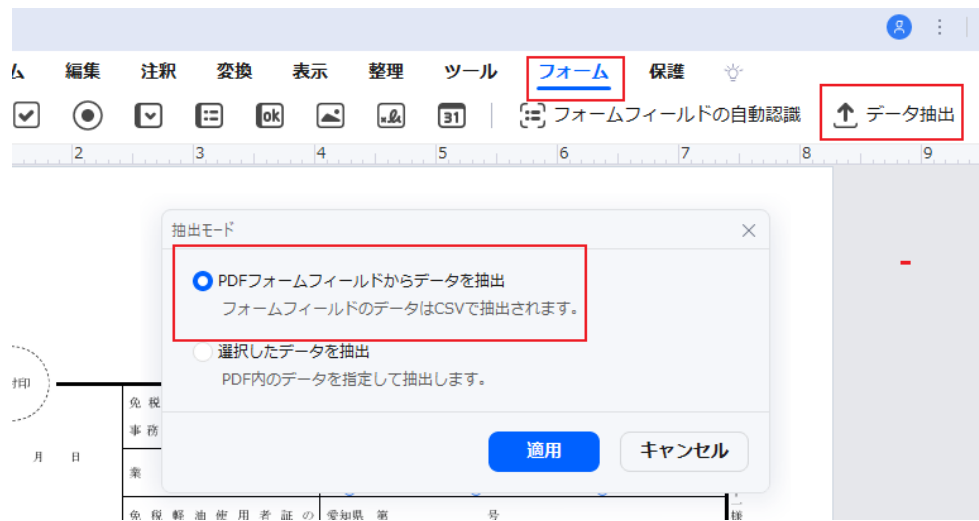


PDFからデータを抽出

PDFelementは、入力可能なフォームフィールドやその他の種類のPDFからデータを抽出し、それをCSVファイルに変換することで、収集したデータを管理するのに役立ちます。

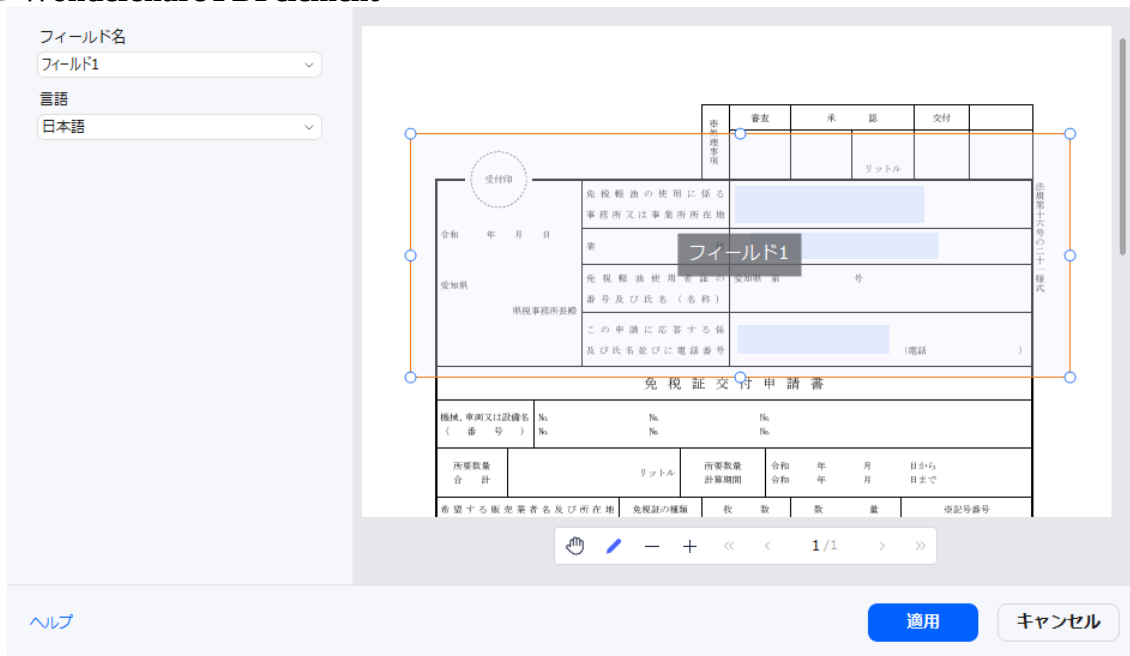
1. フォームフィールドからデータを抽出

- 「フォーム > データ抽出」をクリック。
- 「PDFのフォームフィールドからデータを抽出」を選択し、「適用」ボタンをクリック。



2. 選択したPDFテキストからデータを抽出

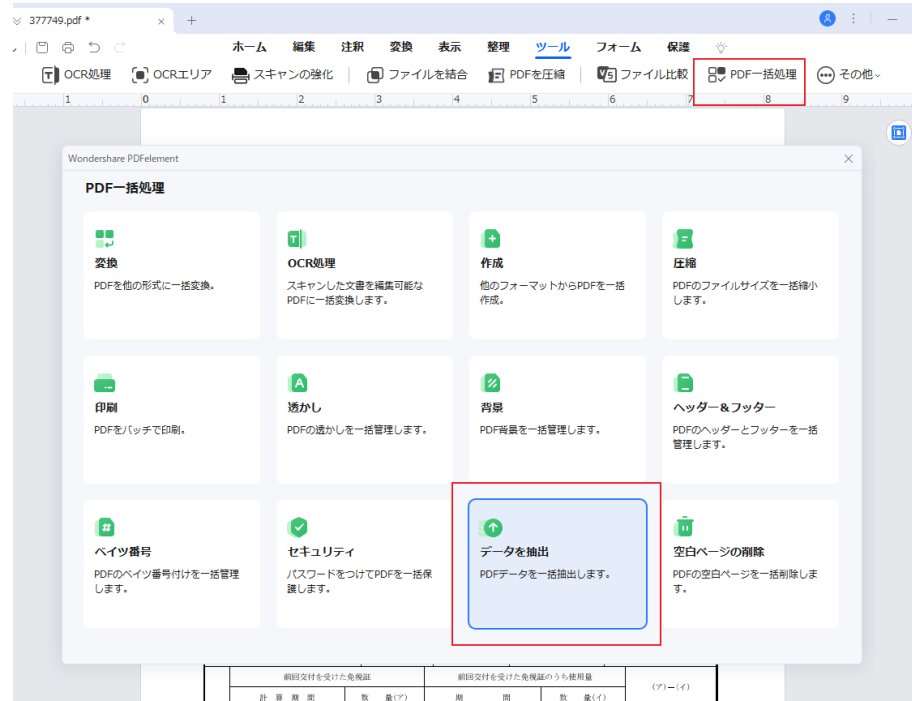
- PDFを開き、「フォーム > データ抽出」をクリック。
- 「選択したデータを抽出」を選択。
- 抽出したい領域を選択し、言語認識を設定。抽出後、CSVファイルとして保存。



3. PDF一括処理でデータを抽出

「ツール > PDF一括処理 > データ抽出」をクリック。

複数のPDFファイルを追加し、出力フォルダを指定。「適用」をクリックして処理開始。





PDFフォームデータのインポートとエクスポート



1. フォームデータのインポート

- データのみのfdf形式ファイルをPDFにインポート可能。
- 「フォーム > その他 > データのインポート」をクリックし、対応するPDFにデータを適用。

2. PDFフォームデータのエクスポート

- 「フォーム > その他 > データのエクスポート」をクリックし、保存先フォルダを選択。
- データはfdf形式で保存され、他のフォームで再利用可能。

PDFフォームのプロパティ設定

フォームフィールドの編集

- フィールド（テキストフィールド、チェックボックス、ラジオボタンなど）を追加した後、フィールドの枠をドラッグしてサイズを変更したり、移動したりできます。削除したい場合は、Deleteキーを押します。
- インタラクティブフォームを開いた後、フォームフィールドを右クリックして「プロパティ」を選択すると、ポップアップダイアログでフィールドの設定を変更できます。フィールドの種類に応じて、異なるプロパティが表示されます。:



ヒント: Ctrlキーを押しながら複数のフィールドを選択し、右クリックで「プロパティ」を選択すると、共通プロパティを一括で変更できます。



プロパティの種類:

- 一般設定

フィールド名、ツールチップ、および共通プロパティを設定可能。

- 外観設定

枠線、色、入力テキストのフォント、サイズ、色を変更可能。

- オプション

入力テキストの配置、デフォルト値、複数行入力、長いテキストのスクロール、パスワードフィールド、文字数制限などを設定できます。また、スペルチェック機能も利用可能。

- アクション

フィールドにアクションを設定できます。例えば、「ウェブリンクを開く」を選択し、「追加」をクリックしてURLを入力可能。

- フォーマット

フィールドのフォーマットカテゴリを設定。

- 検証

フィールドの値を検証。

- 計算

他のフィールドの値を計算に使用可能。例として、「Cash [Year 1] = Cash [Year 2] + Cash [Year 3]」のような計算式を設定可能。

タブ順序の設定

フォームフィールドのタブ順序を設定できます。この順序はデフォルトでフィールド作成順になりますが、必要に応じて変更可能です。

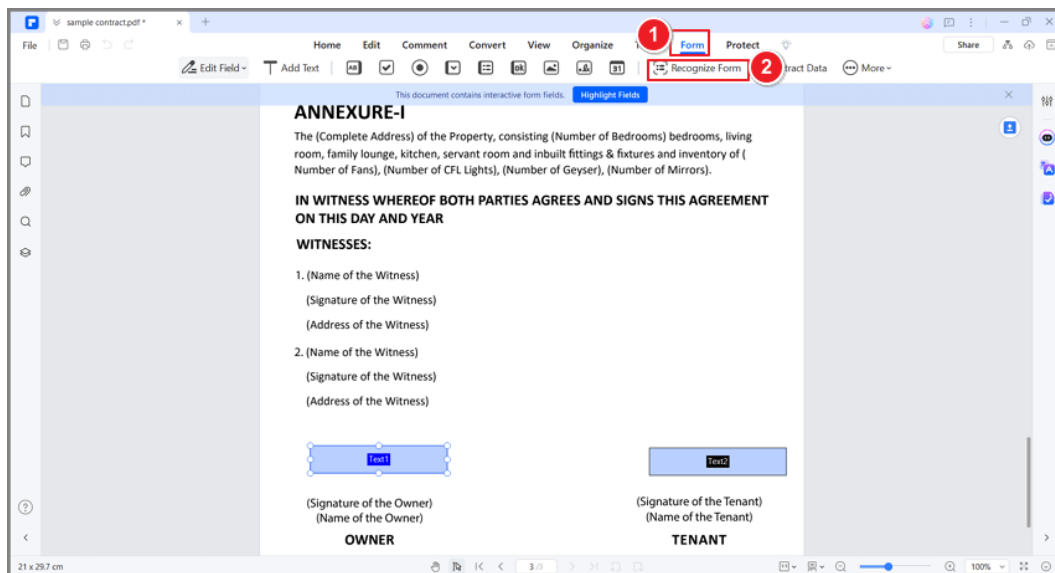
- インタラクティブフォームPDFを開き、フィールドを右クリックして「タブ順序を設定」を選択。
- デフォルト順序が表示されます。新しい順序に従ってフィールドやボタンをクリックします。
- 設定後、「プレビュー」ボタンをクリックし、Tabキーを使用して順序を確認。

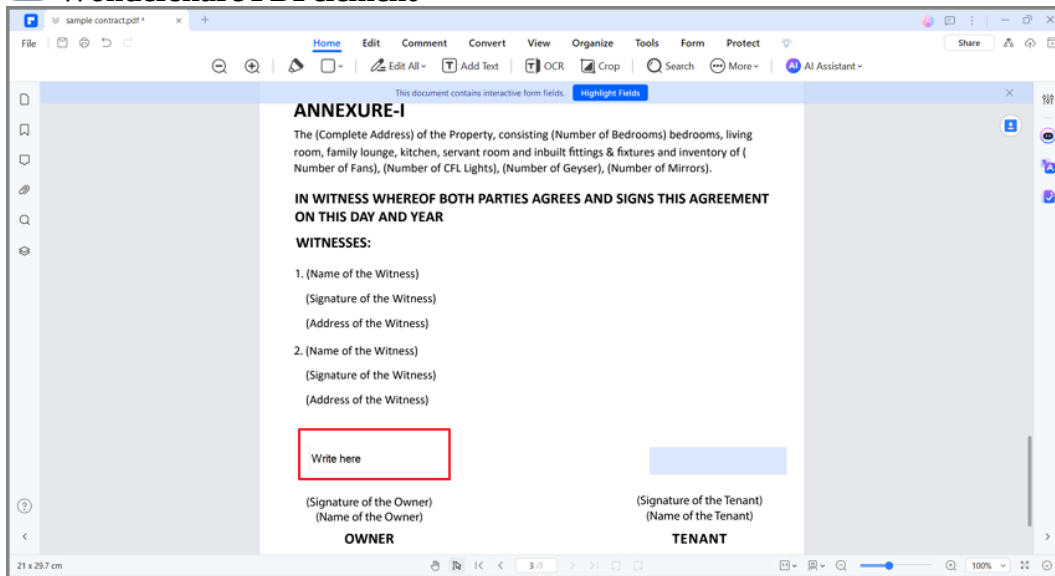
PDFフォームの認識

PDFelementは、PDFのテキストや画像だけでなく、フォームフィールドも正確に認識可能です。

フォームフィールドの認識

- 「フォーム > 自動認識」をクリックすると、PDF内のフォームフィールドを自動的に認識します。
- 認識後、フォームは編集可能になります。テキストを入力したり、内容をコピーして記入可能。





データの抽出

- 「データを抽出」を選択し、以下のいずれかを選びます：
 - フォームフィールドからデータを抽出: フィールドのデータをCSV形式で抽出。
 - 選択に基づいてデータを抽出: 抽出したいテキストを選択し、データをCSV形式で保存。

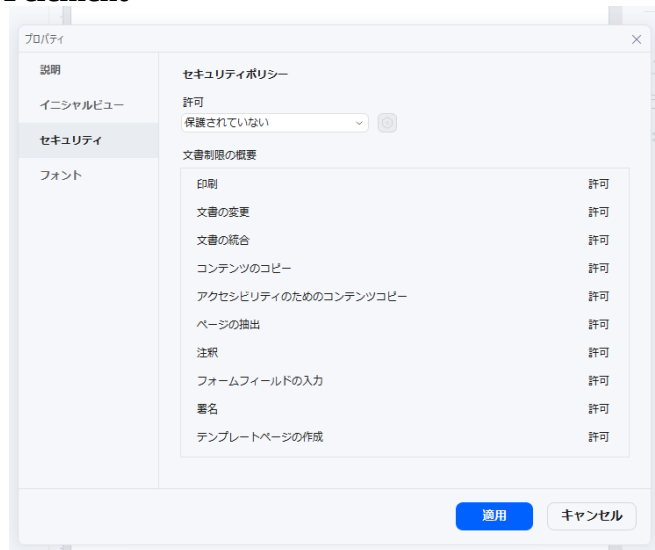
PDFの保護と署名

パスワード保護の設定

PDFの権限を確認

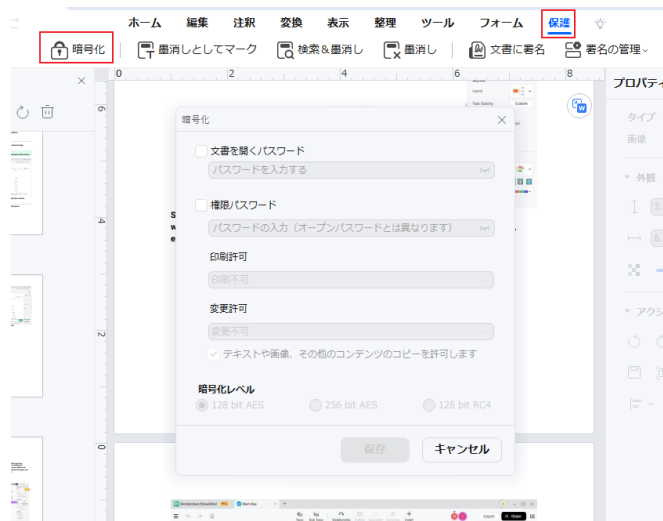
1. 権限の確認

「ファイル > プロパティ > セキュリティ」ボタンをクリックして、PDFファイルの権限を確認します。



2. 開くパスワード/権限パスワードの追加

PDFにパスワードを設定してアクセス制限や特定の操作（印刷、コピー、編集など）を制限できます。



開くパスワード

- PDFファイルを開く際に入力が必要なパスワードを設定。

権限パスワード

- 権限を変更する際に必要なパスワードを設定。
- 印刷の解像度、編集権限、コピーの可否などを設定可能。

3. パスワードの削除

「保護 > パスワードを設定」をクリックし、パスワードを入力後、新しいダイアログで全てのオプションを解除して保存します。

PDFの墨消し機能

PDFの墨消し機能を使用すると、他者に共有する前に機密情報を安全に削除できます。

1. 墨消しのマーク設定

削除対象のテキストや画像をマークする方法は以下の通りです：

- ・ 「保護」>「墨消しをマーク」ボタンを選択
 - ・ 初回使用時にポップアップウィンドウが表示され、手順が案内されます。「次回から表示しない」オプションを選択可能です。
- ・ 画像全体をマーク
 - ・ 任意で画像をダブルクリックすると、画像全体が赤い枠で囲まれます。
- ・ テキストをマーク
 - ・ 任意で削除したいテキスト上にカーソルを置き、ドラッグして矩形を描画します。
 - ・ 矩形にカーソルを置くと黒く塗りつぶされ、カーソルを外すと再び赤い枠になります。



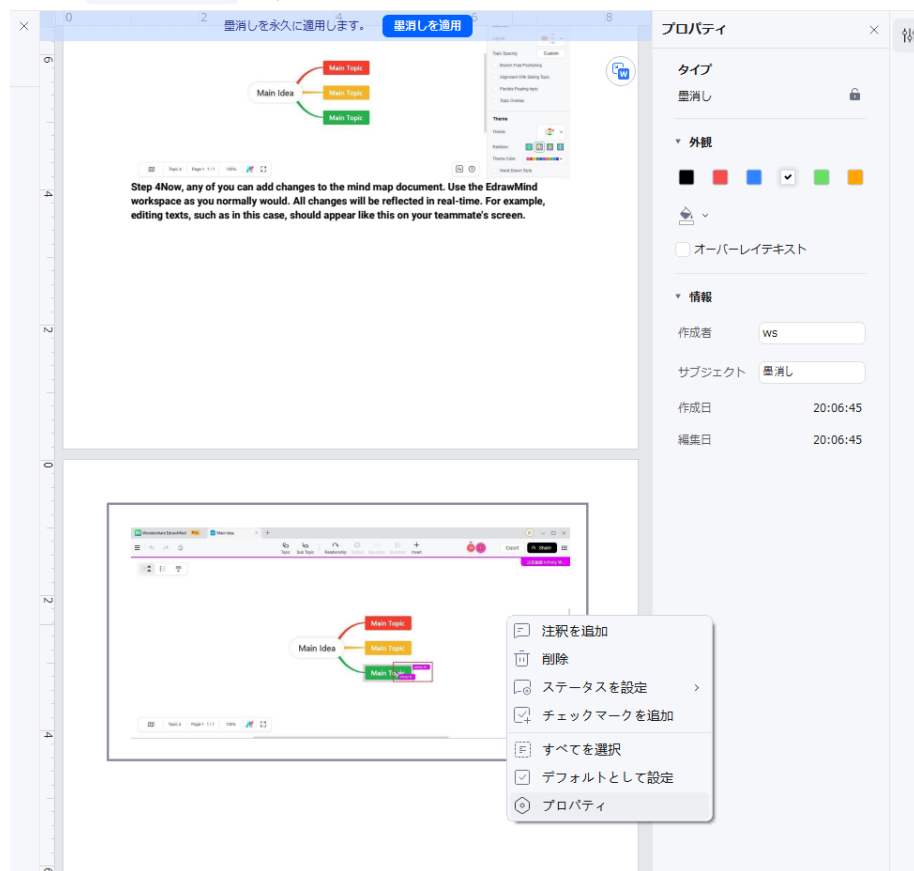
2. 墨消しプロパティの設定

墨消しを適用する前に、その外観や作成者情報などのプロパティを設定できます。

- ・ マークされた領域を右クリックし、「プロパティ」を選択。
- ・ 画面右側に「墨消しプロパティ」パネルが表示されます。
- ・ 設定可能な項目：

Wondershare PDFelement

- 外観（Appearance）：塗りつぶしの色やスタイルを設定。
- 情報（Info）：作成者名や注釈情報を入力。



3. 墨消しの適用

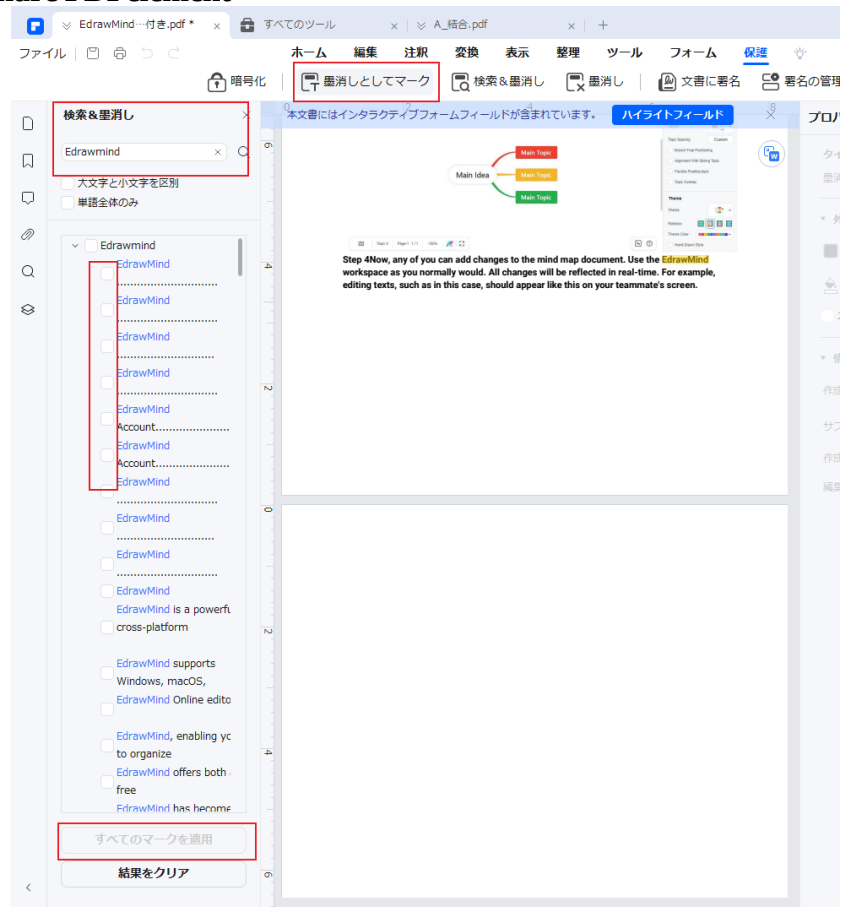
マークした領域に墨消しを適用する手順：

- 警告の確認
 - 墨消しを適用する前に警告メッセージが表示されます。
 - 内容を確認し、「続行」をクリック。
- 最終確認
 - すべてのマークを確認後、確定する場合は「適用」を選択。



4. 検索と墨消し

検索機能を使用して、複数のテキストを効率的に墨消しできます。



- 「保護」>「検索して墨消し」ボタンを選択
 - 左側の「検索して墨消し」パネルに検索ボックスが表示され、削除したいテキストを入力。
- 検索結果の確認と選択
 - 検索結果リストで該当項目を選択すると、自動的にマークが設定されます。
- 墨消しの適用
 - 「すべてのマークを適用」ボタンをクリックすると、墨消し内容を永続的に削除する確認メッセージが表示されます。
 - 内容を確認し、「OK」をクリックして削除を確定。

PDFに署名する方法

PDFelementを使用すると、デジタル署名または手書き署名でPDFに署名できます。

デジタル署名

デジタル署名は、従来の手書き署名と同様に、ユーザーの身元や文書内容の真正性を認証するために使用されます。署名者の情報、署名日時、文書の状態などが保存されます。

デジタルIDについて

デジタルIDは、個人または組織の識別情報を含むものです（例：名前、メールアドレス、シリアル番号、有効期限、会社名など）。

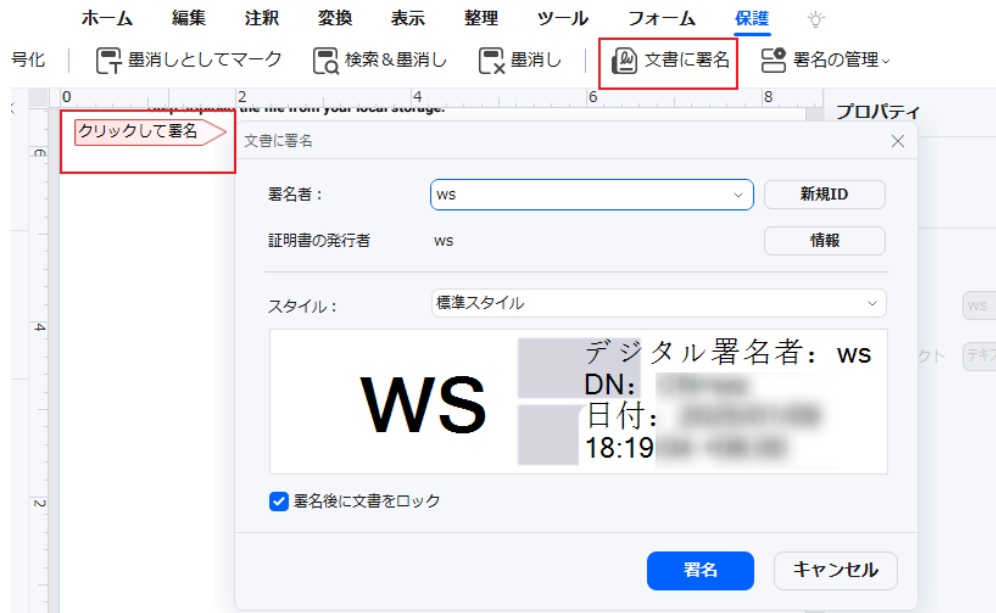
デジタルIDには2つのキーがあります：

- 公開鍵（証明書）：データを暗号化またはロックするために使用されます。
- 秘密鍵：暗号化されたデータを復号化または解除するために使用されます。

公開鍵を含む証明書を配布して、身元確認、署名の検証、または文書の暗号化に使用できます。秘密鍵は安全な場所に保管してください。

PDFに署名する

- 署名フィールドを含むPDFを開き、「保護」>「文書に署名」をクリックします。
- 使用するデジタルIDを選択して署名を適用します。



署名を作成する

デジタルIDをまだ持っていない場合：

1. 「新規ID」をクリックし、「新しいデジタルIDを作成」を選択します。
2. IDの保存形式を選択：



- PKCS#12デジタルIDファイル: pfx（Windows）または p12（Mac）形式で保存されます。
- Windows証明書ストア: 他のWindowsアプリケーションでも利用可能な場所に保存さ

れます。

署名の検証と削除

- 署名の検証: 「保護」>「署名を管理」>「すべての署名を検証」をクリック。検証結果が表示されます。
- 署名の削除: 「保護」>「署名を管理」>「すべての署名をクリア」をクリック。PDF内のすべての署名を削除できます。

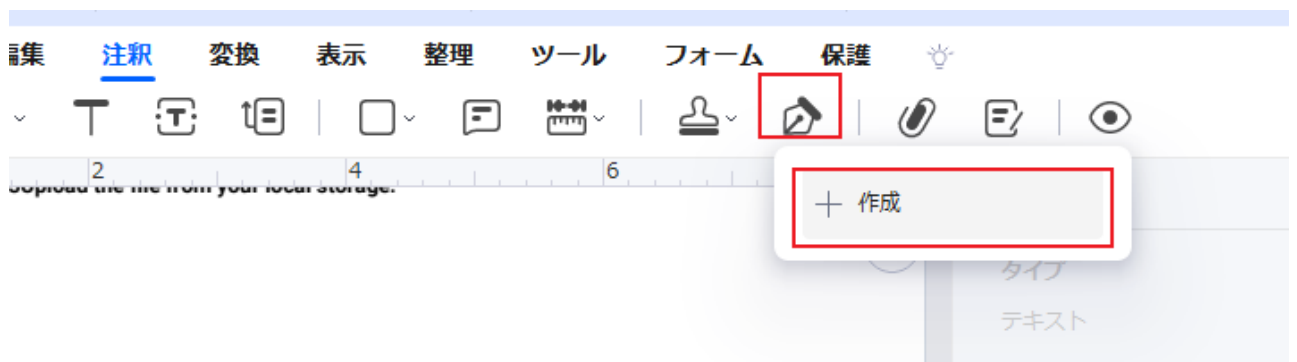


1. 手書き署名

手書き署名機能では、画像署名のアップロード、署名の描画、または手書き署名の入力が可能です。

PDFに手書き署名を適用する

1. 「コメント」>「署名」をクリックし、「+ 作成」ボタンを選択します。



2. 署名を作成する方法

- アップロード: コンピュータに保存されている署名画像をインポート。
- 描画: フィールド内に直接署名を描画。色を選択可能。
- 入力: 署名を入力し、フォントや色を選択して作成。

3. PDF契約書への署名

PDFelementの「Request eSign」機能を利用して、契約書の署名を求められた場合、署名リンク付きの通知メールが届きます。また、PDFelementデスクトップアプリケーションを使用している場合、「契約（Agreement）」パネルに署名待ちの契約書が表示されます。

以下の手順に従って、効率的に契約書への署名を完了してください。

PDFelementデスクトップアプリケーションを使用して署名

1. 契約書の確認

PDFelementを起動し、「契約（Agreement）」パネルで「署名待ち（Waiting for me）」と表示されている契約書をダブルクリックします。

2. 署名フィールドの入力

「署名（Sign）」タブをクリックし、署名フィールドや必要な情報を入力するフィールドに移動します。

3. 署名方法の選択

アップロード：署名画像をインポート。

手書き：フィールド内に署名を手書きで記入。

入力：名前を入力し、フォントの色やスタイルを選択可能。

4. 署名の適用

「OK」をクリックして署名を適用します。

5. 署名の確認と送信

画面下部に表示される通知で、契約条件への同意を確認後、「Click to Sign」をクリックし、次のステップに進みます。

メールリンクを使用して署名

契約書の確認

通知メールから契約書リンクをクリックし、「Sign the Document」を選択します。

電子記録および署名への同意

「EULAおよびプライバシーに同意する」をチェックし、「続行（Continue）」をクリックします。

署名の作成

初回利用者は以下のいずれかの方法で署名を作成します：

入力：名前を入力し、フォントや色を選択。

アップロード：署名画像をアップロード。

手書き：署名を手書きで記入。

署名の保存と適用

「保存（Save）」をクリックして署名を適用。署名はWondershare PDFelement Cloudに安全に保存され、今後再利用可能です。

契約書のダウンロード

PDFのみ：契約書をダウンロード。

PDFと監査レポート（ZIP形式）：契約書と監査レポートをZIPファイルでダウンロード。

PDFと監査レポート（結合形式）：契約書と監査レポートを結合したPDF形式でダウンロード。

完全署名済み文書の通知

署名者全員が署名を完了すると、署名済みの文書がメールで送信されます。

PDFをeSignで送信する

PDFelementの「Request eSign」機能を使用すると、複数の署名者に安全かつ電子的にPDF契約書を送信できます。この機能はISO 27001、HIPAA、GDPRなどの業界標準や規制に準拠しています。

1. 他者から署名を収集する

PDFelementを起動し、署名が必要な契約書を開きます。「保護（Protect）」タブの「Request eSign」ボタンをクリックします。

受信者のメールアドレスを「Add recipients」フィールドに入力し、署名の順序をドラッグ＆ドロップで設定します。

必要に応じて「Add me the first」または「Add me the last」を選択し、自身の署名順序を指定します。

リマインダーの頻度を設定し、「次へ（Next）」をクリックします。

署名フィールド（Signature/Initial、日付、会社名など）をドラッグ＆ドロップで配置し、「送信（Send）」をクリックして署名依頼を送信します。

2. 署名状況を追跡する

契約書を送信後、「Go to Agreement List」をクリックして契約状況を確認します。

更新ボタンをクリックして署名状況を更新します。

契約の活動履歴を通知メールで確認できます。

3. 署名の有効性を確認する

契約書を開き、「保護（Protect）」タブの「署名の管理（Manage Signatures）」をクリックし、「すべての署名を検証（Validate All Signatures）」を選択します。

署名情報や文書の変更履歴を確認します。

必要に応じて「証明書の詳細（Certificate Details）」を確認し、発行者や有効期限を確認できます。

PDFを印刷する方法

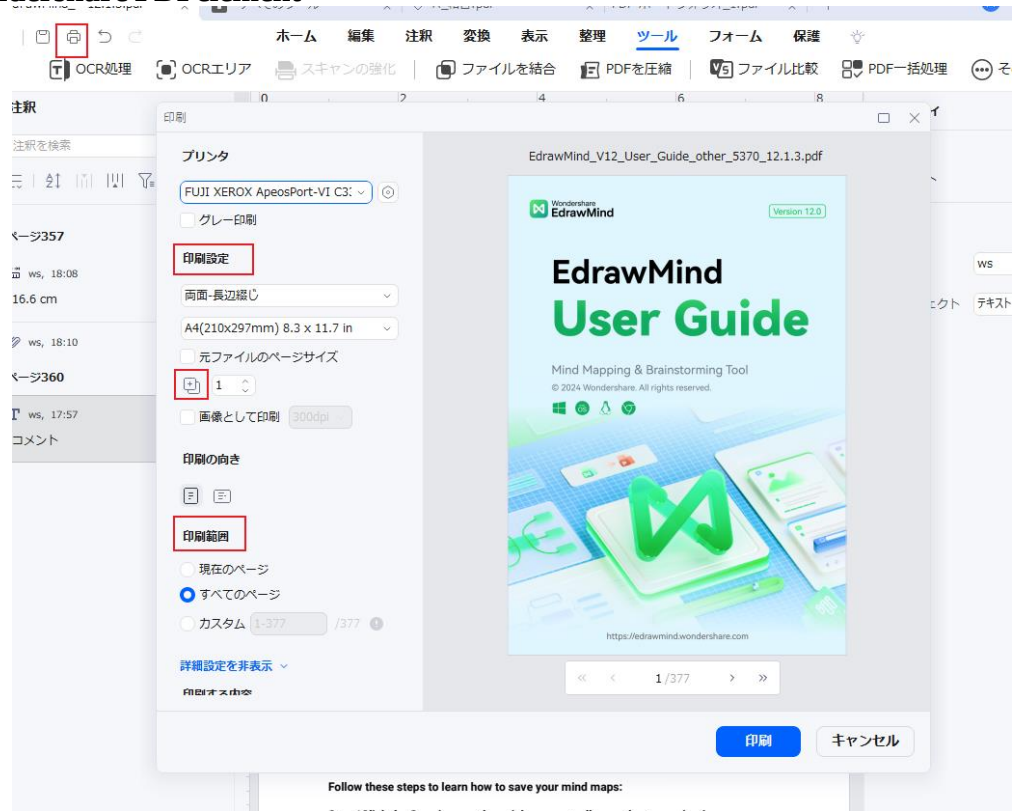
PDFを印刷する方法

PDFを印刷するには、4つの方法があります。以下の手順に従い、必要に応じた方法を選択してください。

1. PDF文書を印刷する

テキストや画像を紙に出力する印刷プロセスを行います。

- プリンターが正しくインストールされていることを確認します。
- 「ファイル」>「印刷」または「印刷」ボタンをクリックします。
- 「プリンター」、「印刷設定」、「部数」、「用紙サイズ」、「ページ範囲」、「向き」、「印刷コンテンツ」、「印刷オプション」、「印刷モード」などを指定します。



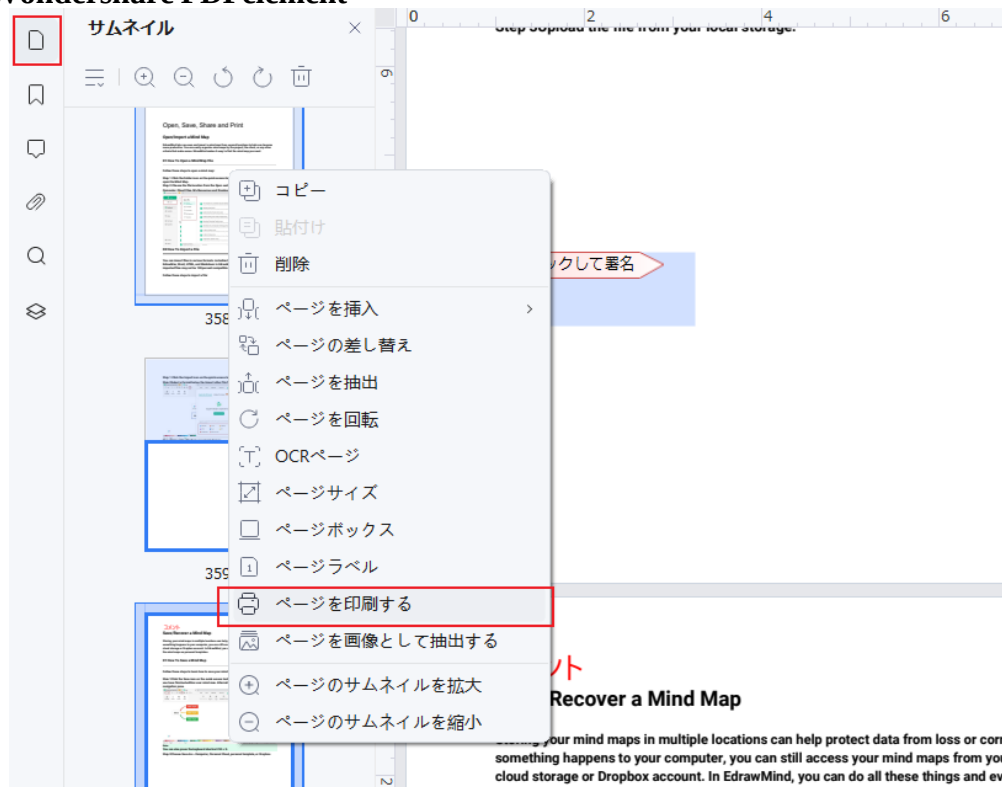
2. ページの一部を印刷する

特定の部分だけを印刷したい場合は「トリミング」ツールを使用します。

- 「ページ」>「トリミング」ボタンを選択します。
- ポップアップウィンドウで、印刷したい領域をマウスでドラッグして選択し、他の設定を調整した後、「適用」をクリックします
- 「ファイル」>「印刷」ボタンをクリックして、このトリミングされたページを印刷します。

3. サムネイルを使って複数のページを印刷する

文書のサムネイルリストから複数のページを選択して、クイック印刷ができます。

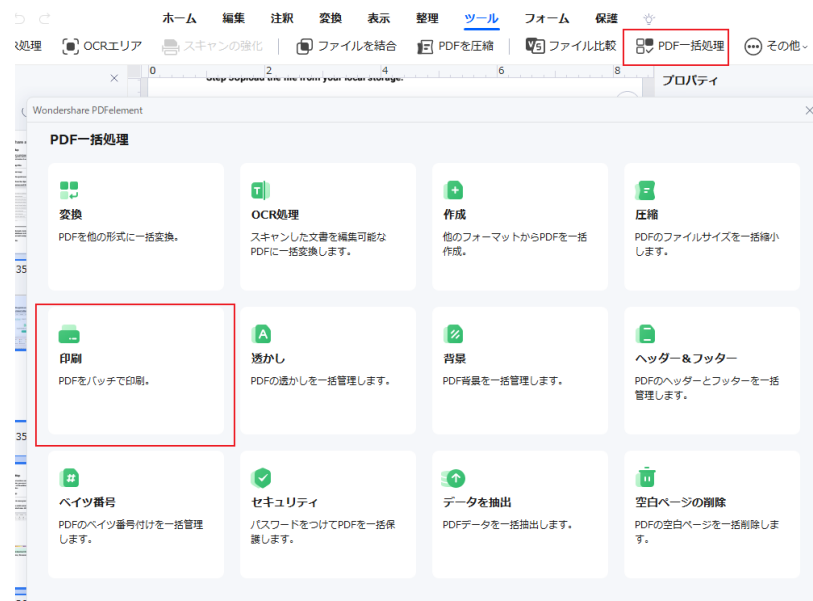


- 印刷したい文書を開き、左側のナビゲーションパネルからサムネイルパネルをクリックします。
- Ctrlキーを押しながら複数のページを選択します。
- 右クリックメニューから「ページを印刷」を選択し、設定を行って印刷します。

4. 複数のPDFファイルを一括で印刷する

複数のPDFをまとめて印刷することもできます。

1. 「ツール」>「バッチPDF」ボタンをクリックし、「バッチ印刷」オプションを選択します。
2. ポップアップウィンドウで、印刷したいPDFファイルをアップロードします。
3. 「詳細設定を表示」をクリックして、必要に応じて印刷設定を調整します。



PDFの印刷設定

「ファイル」>「印刷」ボタンをクリックすると、印刷ダイアログが表示されます。

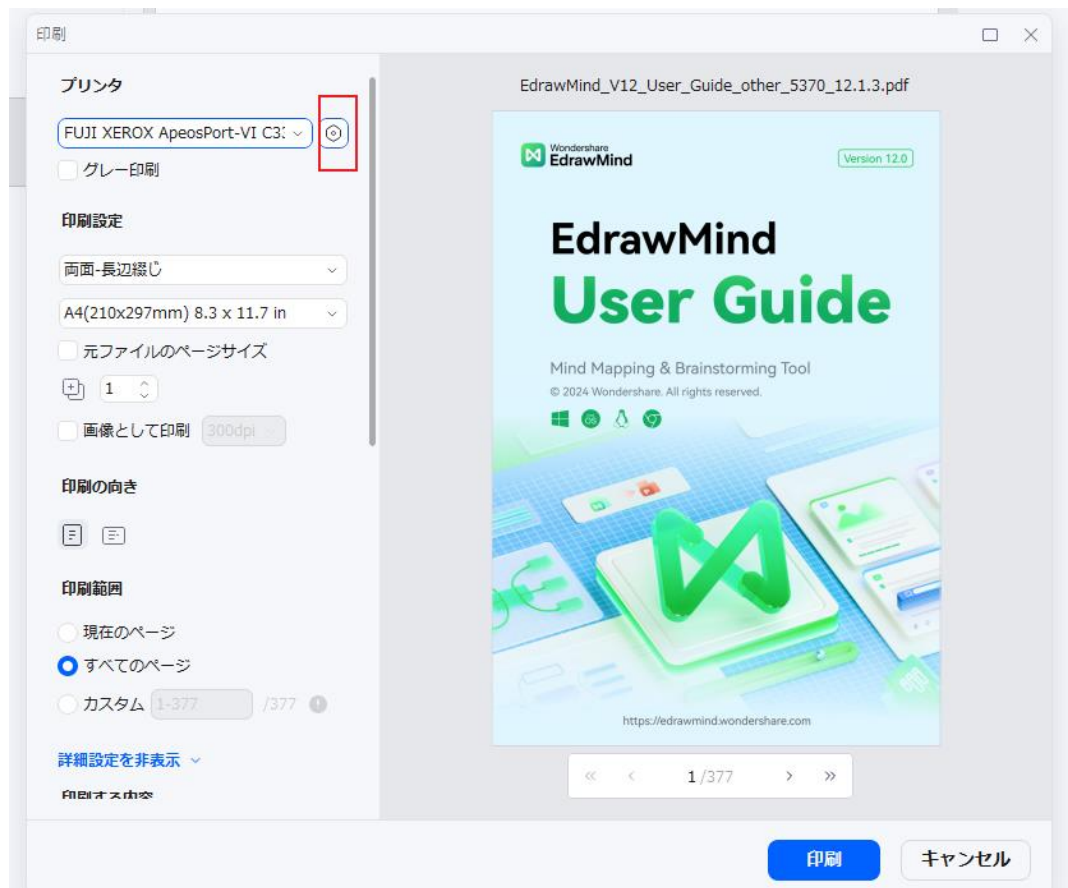
- プリンター：使用するプリンターを選択。
- カラー設定：カラーまたは白黒を選択。
- 印刷設定：片面印刷または両面印刷を設定。
- 部数：印刷する部数を設定。



Wondershare PDFelement

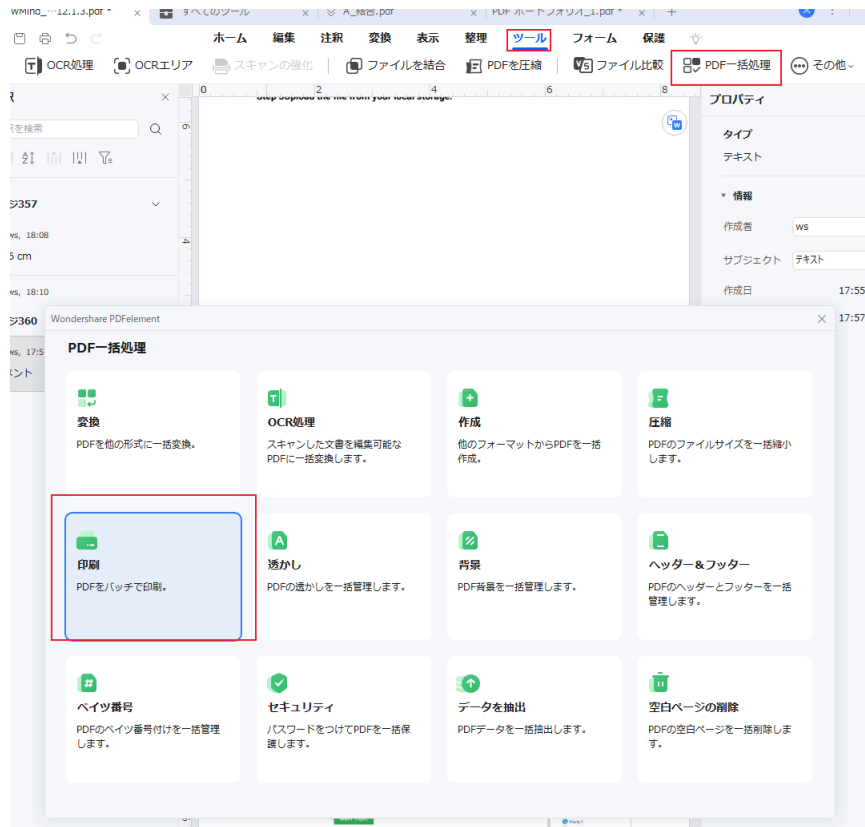
- 用紙サイズ：A3、A4、A5などから選択。
- 印刷オプション：
 - 元のページサイズに基づく
 - 画像として印刷
 - ページを逆順に印刷
- 印刷方向：縦向きまたは横向きを選択。
- ページ範囲：
 - 全ページ
 - 奇数ページのみ
 - 偶数ページのみ

「プリンターのプロパティ」ボタンをクリックすると、用紙サイズ、印刷品質、スケーリングなどの詳細設定が可能です。



複数のPDFを一括印刷する方法

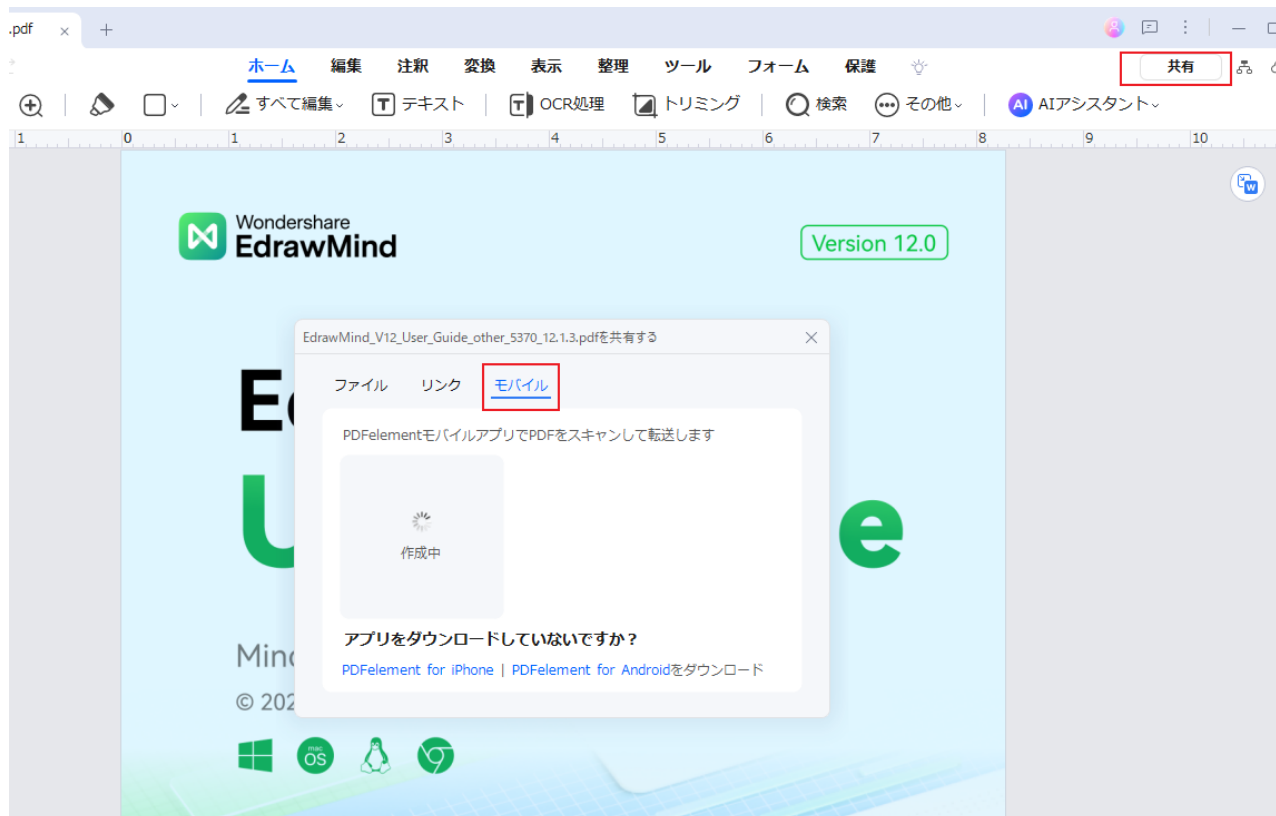
1. 「ツール」>「バッチPDF」>「印刷」オプションをクリックします。
2. 複数のPDFを選択してアップロードします。
3. 印刷設定を調整し、「適用」をクリックして印刷を開始します。



PDFをQRコードで共有

QRコードを使用すると、PDFをデスクトップからスマートフォンに簡単に転送できます。PDFelement for Androidを使用してQRコードをスキャンし、モバイルでPDFにアクセスしてください。

PDFを開き、「共有」をクリックします。「モバイル」を選択して、現在のPDF用のQRコードを生成します。その後、PDFelement for AndroidまたはPDFelement for iPhoneでQRコードをスキャンすると転送が完了します。



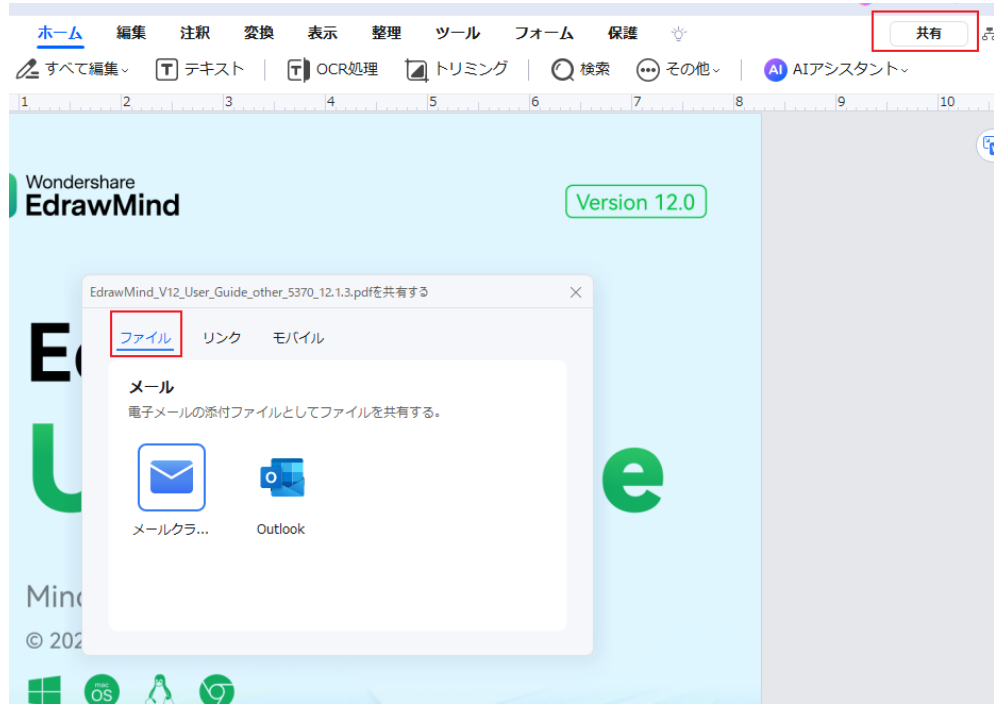
PDFをメールで送信

PDFelementでは、PDFドキュメントを簡単に他者と共有できます。その中でもメールで送信する機能は非常に便利で、ワンクリックで簡単に送信可能です。

ダッシュボードの右上にある「共有」ボタンをクリックします。「ファイル」セクションの「メールクライアント」や「Outlook」オプションを選択すると、メールアプリケーションが開きます。

PDFは自動的にメールの添付ファイルとして追加されます。件名と送信先のメールアドレスを入力して送信してください。

い。

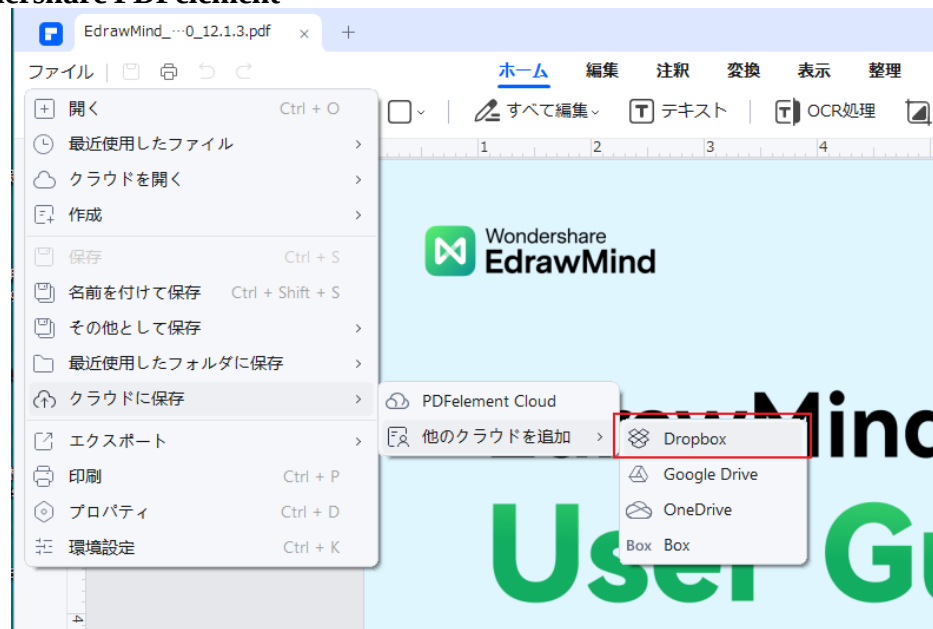


PDFをDropboxに共有

DropboxにPDFを共有する前に、PDFelementにDropboxアカウントへのアクセスを許可してください。「ファイル」>「クラウドに保存」>「Dropbox」ボタンをクリックします。

Dropboxがまだ追加されていない場合は、「ファイル」>「クラウドに保存」>「他のクラウドを追加」ボタン > 「Dropbox」ボタンをクリックします。アクセス許可を求めるダイアログが表示されるので、許可してください。許可後、ダイアログ内の「更新」ボタンをクリックします。

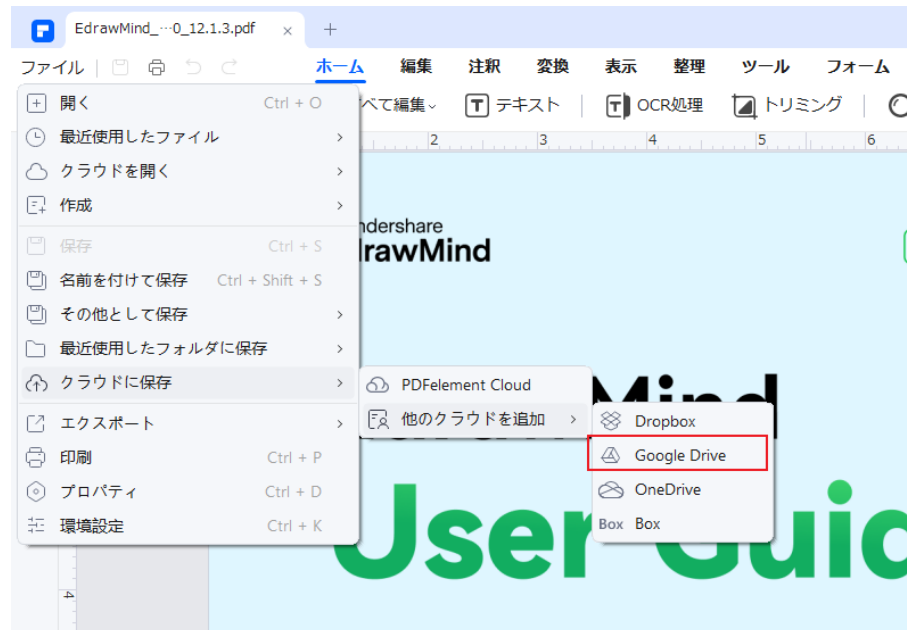
「アップロード」ボタンをクリックして、ポップアップウィンドウでファイルをアップロードします。アップロード完了後、「OK」をクリックします。



PDFをGoogle Driveに共有

Google DriveにPDFを共有する前に、PDFelementにGoogle Driveアカウントへのアクセスを許可してください。
「ファイル」>「クラウドに保存」>「Google Drive」ボタンをクリックします。

Google Driveがまだ追加されていない場合は、「ファイル」>「クラウドに保存」>「他のクラウドを追加」ボタン > 「Google Drive」ボタンをクリックします。アクセス許可を求めるダイアログが表示されるので、許可してください。
「アップロード」ボタンをクリックして、ポップアップウィンドウでファイルをアップロードします。アップロード完了後、「OK」をクリックします。





PDFをクラウドにアップロード

Wondershare Cloudを使用すると、複数のデバイスからPDFファイルにアクセスでき、作業を効率的に管理できます。

クラウドにアップロードしたいファイルを開き、「ファイル」>「クラウドに追加」>「PDFelement Cloud」ボタンをクリックします。

ポップアップウィンドウで「アップロード」ボタンをクリックして、ファイルをインポートします。

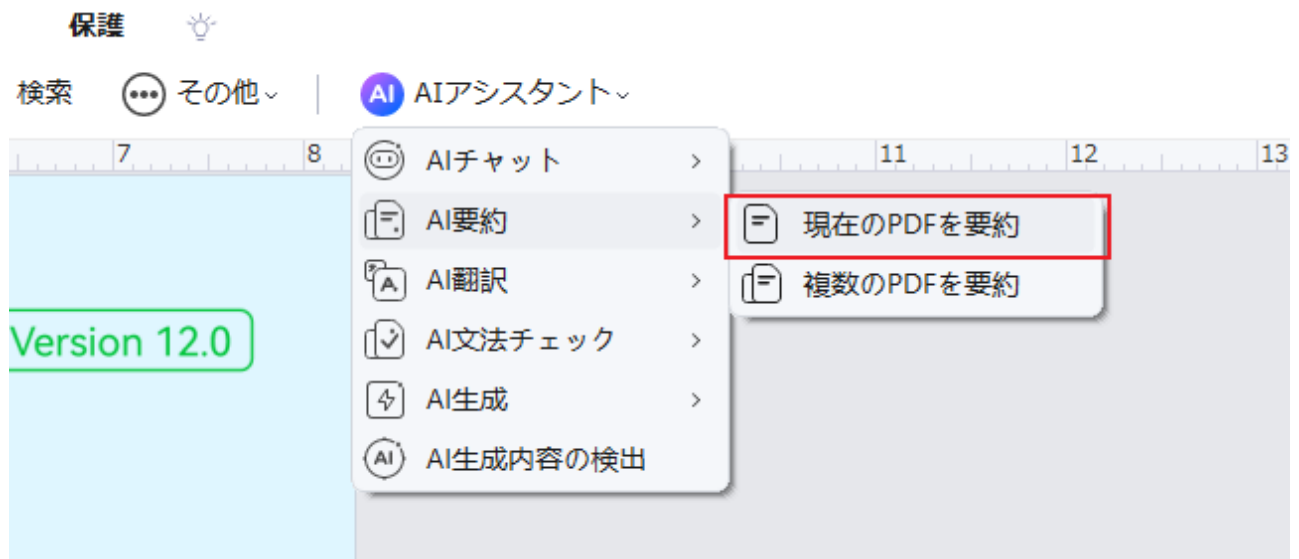
アップロード完了後、「OK」ボタンをクリックします。その後、ファイルは同期され、いつでもどこでもアクセス可能です。

PDF AIツール

AIでPDFを要約

Lumiは、PDFドキュメントを簡潔に要約し、重要なポイントを強調するだけでなく、洞察に満ちた質問を提案することもできるAI読み取りアシスタントです。

- PDFelementでPDFを開きます。右側の「AI」アイコン、または「ホーム」タブの「AIアシスタント」ボタンからAIサイドバーにアクセスします。
- ドロップダウンメニューから「AI要約」>「現在のPDFを要約」をクリックします。LumiがPDFコンテンツに関連する3つの重要なポイントと3つの洞察的な質問を提示した要約をすぐに生成します。



現在のPDFファイル内の特定のテキストを素早く要約したい場合は、対象のテキスト部分をハイライトします。「AI」ボタンを浮動ツールバーからクリックし、「要約」を選択します。

PDFを印刷する方法

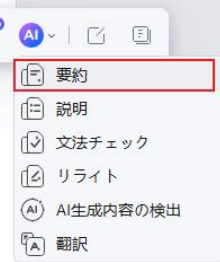
PDFを印刷する方法

PDFを印刷するには、4つの方法があります。以下の手順に従い、必要に応じた方法を選択してください。

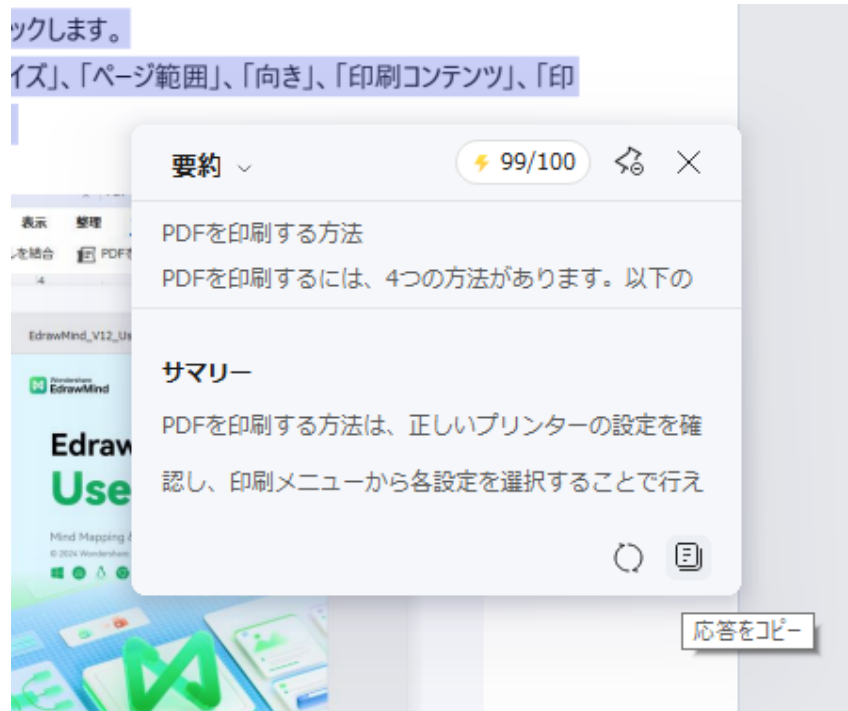
1. PDF文書を印刷する

テキストや画像を紙に出力する印刷プロセスを行います。

- プリンターが正しくインストールされていることを確認します。
- 「ファイル」>「印刷」または「印刷」ボタンをクリックします。
- 「プリンター」、「印刷設定」、「部数」、「用紙サイズ」、「ページ範囲」、「印刷オプション」、「印刷モード」などを指定します。



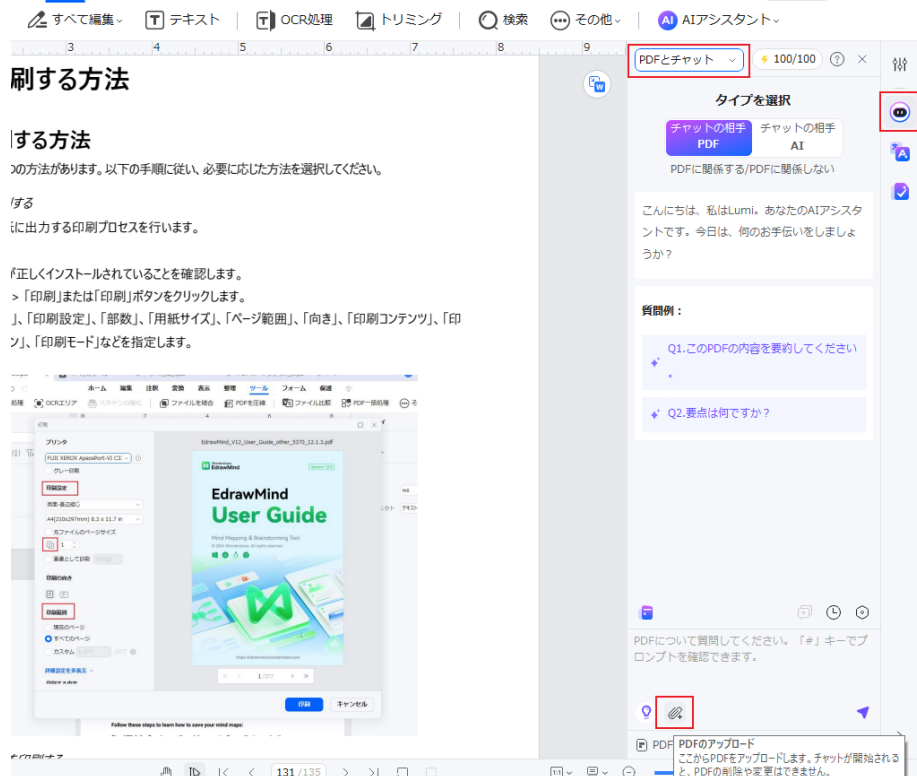
Lumiが選択されたテキストに関連する要約と3つの重要なポイントを即座に生成します。この要約を使用するには、ウィンドウ内の「コピー」ボタンをクリックし、現在のPDFまたは新しいドキュメントに貼り付けるだけです。



複数のPDFを要約する

Wondershare PDFelementのAIアシスタントは、複数のPDFを一度に要約することができます。同じトピックに関連する複数のPDFを分析する際に役立ちます。

- Wondershare PDFelementでPDFを開きます。「AIサイドバー」ボタンをクリックします。



- 「PDFとチャット」を選択し、「PDFをアップロード」をクリックします。要約したいPDFをアップロードします。
- 「クイックプロンプトリスト」ボタンをクリックし、「#PDFを要約」を選択します。

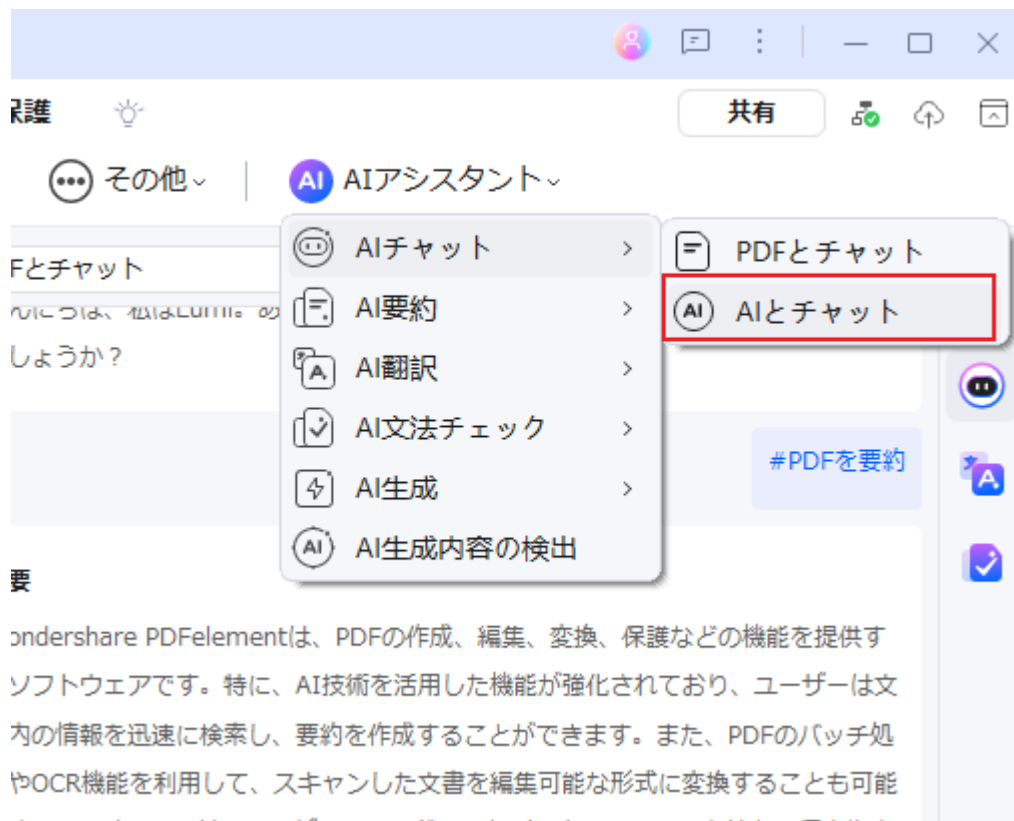


PDFとのチャット

PDFelementには、ChatGPTによって強化されたスマートPDF AIリーディングアシスタント「Lumi」が搭載されています。このツールを使用することで、PDFコンテンツをシームレスに分析し、ドキュメントを理解し、重要な情報を簡単に要約することができます。

1. Lumi AIリーディングアシスタントへのアクセス

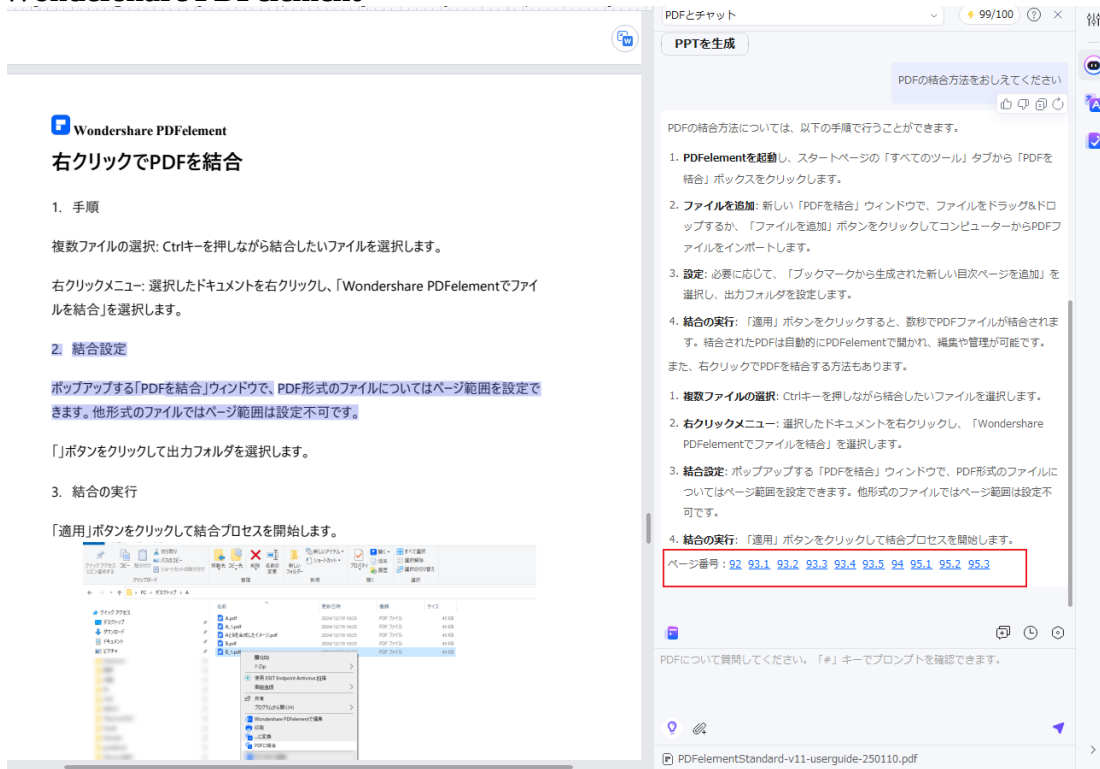
Lumiにアクセスするには、インターフェースの右側にある「AI」アイコンをクリックするか、「ホーム」タブの「AIアシスタント」ボタンから「AIチャット」を選択します。Lumiとの会話を通じて、さまざまなトピックに関する知識や洞察を得ることができます。



2. PDFとのチャット

Lumiに一般的な質問をするだけでなく、AIサイドバーの「PDFとのチャット」オプションを利用してPDFの内容をさらに深く探ることができます。このオプションを選択すると、Lumiの回答が現在のPDFドキュメントの内容に合わせて調整されます。

Lumiは回答を見つけた具体的なページ番号も示します。この機能により、情報を迅速に特定し、検証することが可能です。



3. 新しいチャットを開始

Lumiとの新しい会話を開始するには、AIサイドバーの右下にある「新規チャット」を選択します。



4. チャット履歴の確認

Lumiとのやり取りの履歴を確認するには、AIサイドバーの右下にある「チャット履歴」を選択します。過去の会話を簡単に参照できます。



5. 設定を変更

「ユーザー設定」を選択してLumi AIリーディングアシスタントの設定をカスタマイズします。

「AI設定」ポップアップウィンドウでは、以下を調整できます：



応答言語：出力言語を選択します。「デフォルト」を選ぶと、Lumiは入力言語で応答します。

応答トーン：出力トーンを学術的、共感的、簡潔、創造的、詩的、プロフェッショナル、ユーモラスから選択できます。

関連業界：法務、金融サービス、クリエイティブサービス、医療、建設、製造、政府、教育、ITサービスなど、特定の業界に合わせて出力をカスタマイズします。

AI翻訳でPDFを翻訳

PDFelementの高度なAI翻訳機能を利用すれば、言語の壁を越えてグローバルなコミュニケーションを実現できます。PDFドキュメントをシームレスに多言語に変換する方法を以下に説明します。

PDFを開く

PDFelementでPDFを開き、「ホーム」タブの「AIアシスタント」ボタンをクリックして、「AI翻訳」を選択します。



翻訳設定

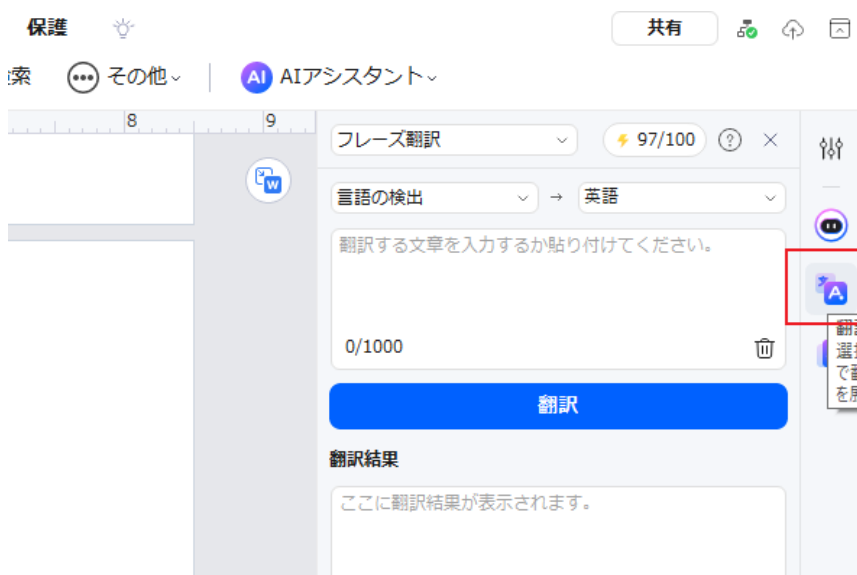
ポップアップウィンドウで、ターゲット言語を選択し、翻訳するページ範囲を指定して、翻訳後のファイルを保存するフォルダを選択します。その後、「翻訳」をクリックします。

翻訳結果の生成

Lumiが翻訳テキストを含むPDFファイルを生成します。この際、元のフォーマットがそのまま維持されます。

直接翻訳の方法

右側の「翻訳」アイコンに直接アクセスして翻訳を実行することも可能です。翻訳したいテキストをコピーし、元の言語とターゲット言語を指定して、「翻訳」をクリックします。翻訳が完了したら、結果をコピーして利用できます。



新しい翻訳の開始

新しい翻訳を開始する場合は、「ゴミ箱」アイコンをクリックして前回の翻訳をクリアします。



AI生成テキストの検出

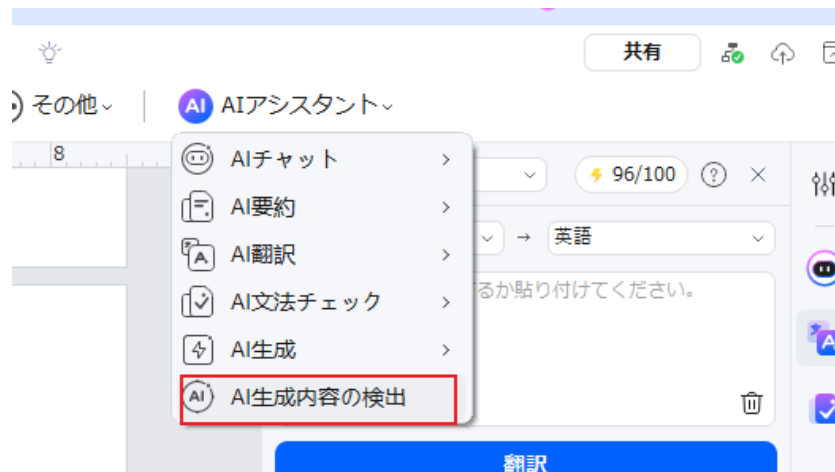
Lumi (AIリーディングアシスタント) を使用すれば、PDF内のAI生成コンテンツを簡単に特定できます。以下の手順で、PDFコンテンツがAIアルゴリズムによって生成されたかどうかを確認できます。

1. PDFを開く

PDFelementで分析したいPDFドキュメントを開きます。

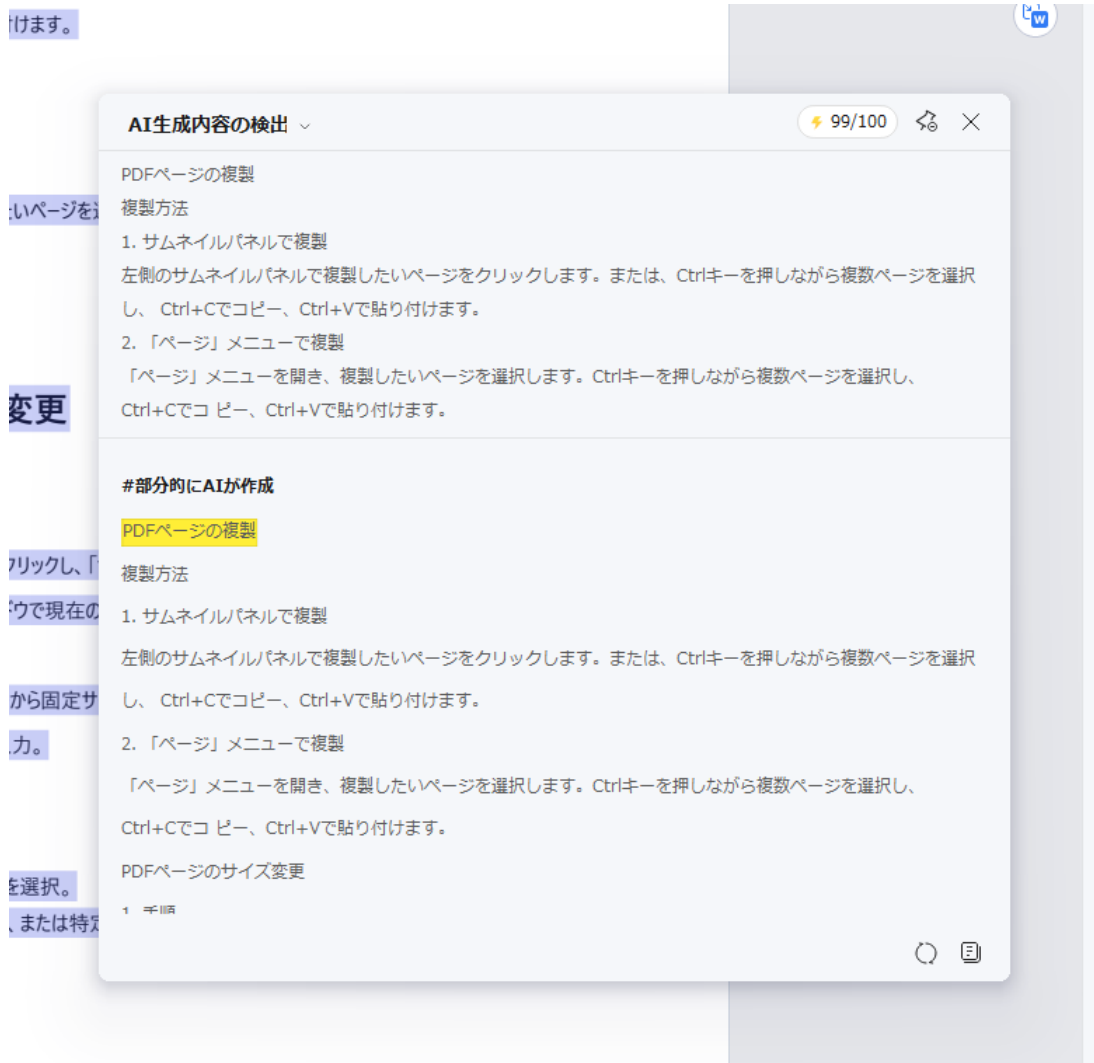
2. AI生成検出を開始

「ホーム」タブの「AIアシスタント」ボタンをクリックし、ドロップダウンメニューから「AI生成検出」ボタンを選択します。



3. Lumiによる分析

LumiがPDF全体の内容を包括的に分析し、内容が「人間が作成した（Human-Written）」「AIが作成した（AI-Written）」「部分的にAIが作成した（Partially AI-Written）」のどれに該当するかを即座に通知します。AI生成部分は強調表示され、確認しやすくなります。



外部ソースまたはPDFの特定部分のAI生成テキストを検出する方法

- AIサイドバーを利用

画面右側の「AIサイドバー」アイコンをクリックし、「AIとチャット」を選択します。画面下部の電球アイコンをクリックし、「AI生成検出」コマンドを選択。分析したいテキストを指定されたテキストボックスに貼り付けて送信します。

- 特定部分の高速検出

PDF内のテキストを直接ハイライトして、「AI」ボタンをクリック。浮動ツールバーから「AI生成検出」オプションを選択します。

- 結果の提示

Lumiはテキストを迅速に分析し、「人間作成」「AI作成」「部分的にAI作成」のいずれであるかを判断します。AI生成部分は明確に強調表示され、簡単に確認できます。

AIでPDFをリライト

LumiというAI読解アシスタントを使えば、PDF文書の文法や語彙の改善などを簡単にリライトできます。以下の手順でAI駆動のリライト機能を利用してください。

1. PDFを開く

PDFelementでPDFを開きます。右側の「AI」アイコンをクリックするか、「ホーム」タブの「AIアシスタント」ボタンを使用してAIサイドバーにアクセスします。「AIチャット」を選び、「AIとチャット」コマンドをクリックします。

2. リライトの指示を入力

「クイックプロンプトリスト」から「リライト」を選択し、リライトしたいテキストをチャットボックスに貼り付けます。



3. リライトの実行

送信アイコンをクリックすると、Lumiが迅速にテキストをリライトし、改善されたバージョンを提示します。この結果を簡単にコピーし、現在のファイルや新しいファイルに貼り付けることができます。

特定のテキストをリライト

現在のPDFファイル内の特定のテキストをリライトしたい場合は、該当部分をハイライトします。浮動ツールバーの「AI」ボタンをクリックし、「リライト」を選択します。

PDFページのサイズ変更

1. 手順

上部メニューバーの「整理」タブをクリックし、「サイズ」を選択します。

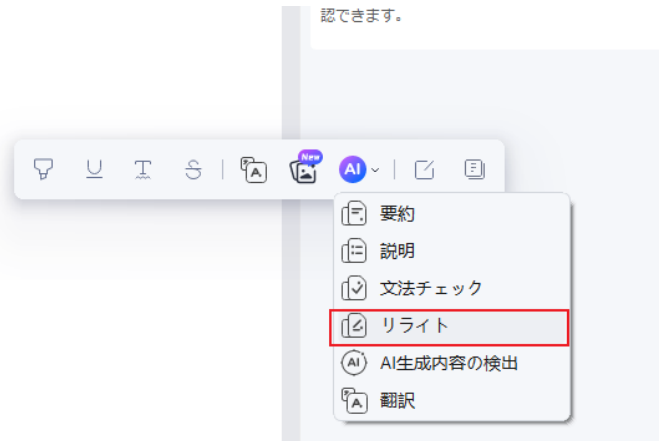
「ページサイズ」ポップアップウィンドウで現在のページサイズが表示されます。

2. サイズ設定

標準サイズ: ドロップダウンメニューから固定サイズ（Letter、A4など）を選択。

カスタムサイズ: 幅と高さの値を入力。

3. その他の設定



リライト結果の活用

Lumiは選択されたテキストを迅速にリライトします。リライトされたテキストは、置換アイコンをクリックして元のテキストと入れ替えるか、コピーアイコンを使用して結果を複製できます。

AIでPDFを校正

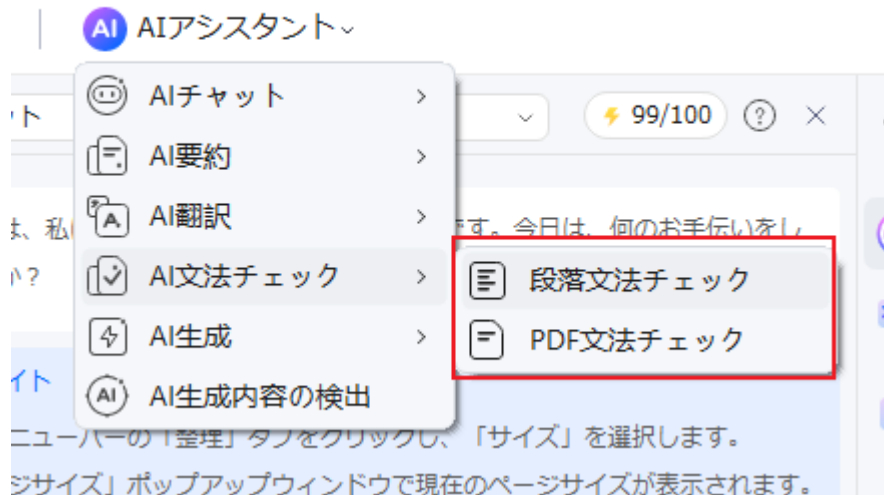
PDFelementのAI読解アシスタントLumiを活用し、PDF文書の品質を向上させましょう。以下の手順に従い、内容を完璧に仕上げてください。

- PDFを開く

PDFelementでPDF文書を開き、「ホーム」タブの「AIアシスタント」を選択し、「AI文法チェック」を選択。

- 文法チェックを選択

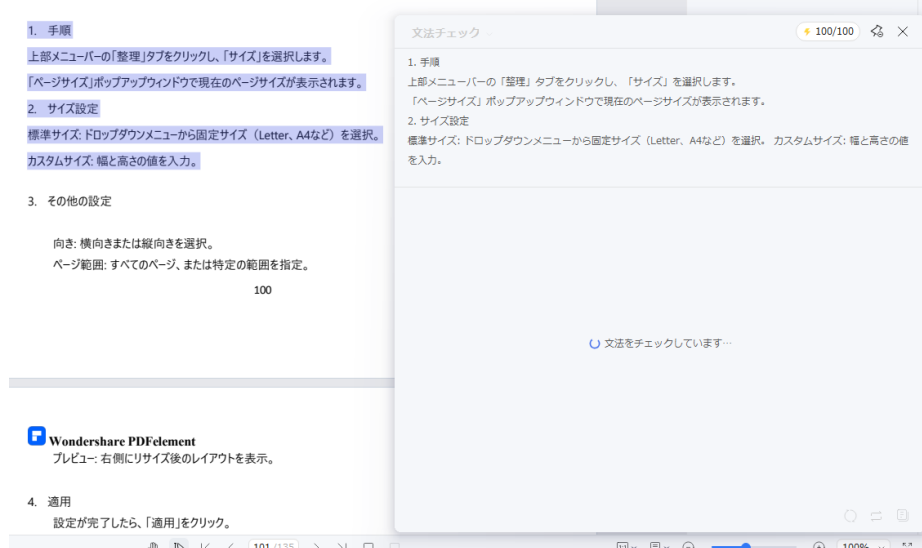
「クイックプロンプトリスト」から「文法チェック」を選択します。Lumiが現在のページを即座に校正し、改善提案を提示します。



● 特定のテキストを素早く校正

校正したいテキストをハイライトし、浮動ツールバーの「AI」ボタンをクリックして「文法チェック」を選択します。

PDFページのサイズ変更



● 校正結果の利用方法

校正が完了すると、Lumiが迅速に改善されたテキストを提示します。以下の2つの方法で活用できます：
「置き換え」アイコンを使用して、元のテキストと直接置き換える。

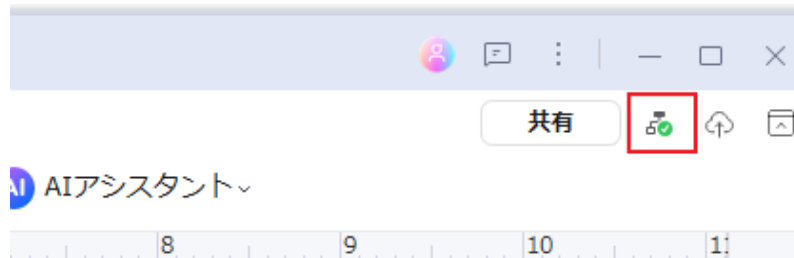
「コピー」ボタンを使用して校正済みテキストをコピーし、現在のPDFまたは新しいドキュメントに貼り付ける。

AIナレッジカードの利用

各PDFに対してAI生成のナレッジカードを作成できます。これには、簡潔な要約、重要なポイント、タグが含まれます。PDFを再度開いた際、ナレッジカードはそのまま保存されているため、文書の内容を素早く把握できます。

PDFを開く

画面右上にある「AIナレッジカード」ボタンをクリックし、「今すぐ生成」を選択します。



生成プロセス

AIが数秒間でナレッジカードを生成します。生成が完了したら、再度「AIナレッジカード」ボタンをクリックしてレポートを表示します。



PDFをMarkdownに変換

PDFelementを使用してPDFをMarkdown形式に変換すると、編集性、互換性、柔軟性が向上します。Markdownは、構造化された読みやすいテキスト文書を作成できる軽量マークアップ言語です。

PDFを開く

PDFelementを起動し、変換したいPDFを開きます。「ホーム」タブに移動し、「AIアシスタント」>「AI生成」>「Markdown生成」を選択します。



設定

「Markdown生成」ウィンドウで「ページ範囲」と「出力フォルダ」を指定し、「変換」をクリックします。



変換結果

PDFelementがPDFを分析し、要約、キーポイント、キーワードを生成します。PDFの各ページはMarkdown形式に変換されます。

```
1  ### まとめ¥n
2  Wondershare PDFelementは、PDFドキュメントの閲覧とナビゲーションを簡単に行うためのツ
   ールです。主な機能には、ページの移動、サムネイルパネルを使ったスクロール、ブックマーク
   を利用した迅速なページアクセス、注釈の管理、強力な検索機能、および添付ファイルの取り扱
   いが含まれます。ユーザーは、複数のPDFを異なるウィンドウで表示し、比較しながら作業する
   こともできます。これにより、作業効率の向上が期待できます。各機能の操作は直感的で、簡単
   に利用できます。¥n¥n
   ### キーポイント¥n
   1. PDFドキュメントのページ移動が容易（前のページ、次のページボタン、ページ番号入力）
   ¥n
   2. サムネイルパネルでのページの快速スクロール機能¥n
   3. ブックマークによる特定のテキストやページへの迅速なリンク¥n
   4. 注釈パネルでの注釈の管理とページへのアクセス¥n
   5. 検索パネルを使った文書内の特定テキストの検索機能¥n
   6. 添付ファイルパネルによるファイルの管理と操作¥n
10  7. 複数のPDFファイルを異なるウィンドウで表示する機能¥n¥n
   ### キーワード¥n
   - PDF閲覧¥n
   - ナビゲーション¥n
   - サムネイルパネル¥n
   - ブックマーク¥n
   - 注釈¥n
   - 検索¥n
   - 添付ファイル¥n
   - 複数ウィンドウ表示¥n¥n
```

別の方法

「PDF変換」機能を使ってMarkdownに変換することも可能です。

AIアシスタントのカスタマイズ

PDFelementではAIアシスタントをカスタマイズできます。応答言語やトーンを変更し、特定の業界に応じた応答を設定できます。

設定方法

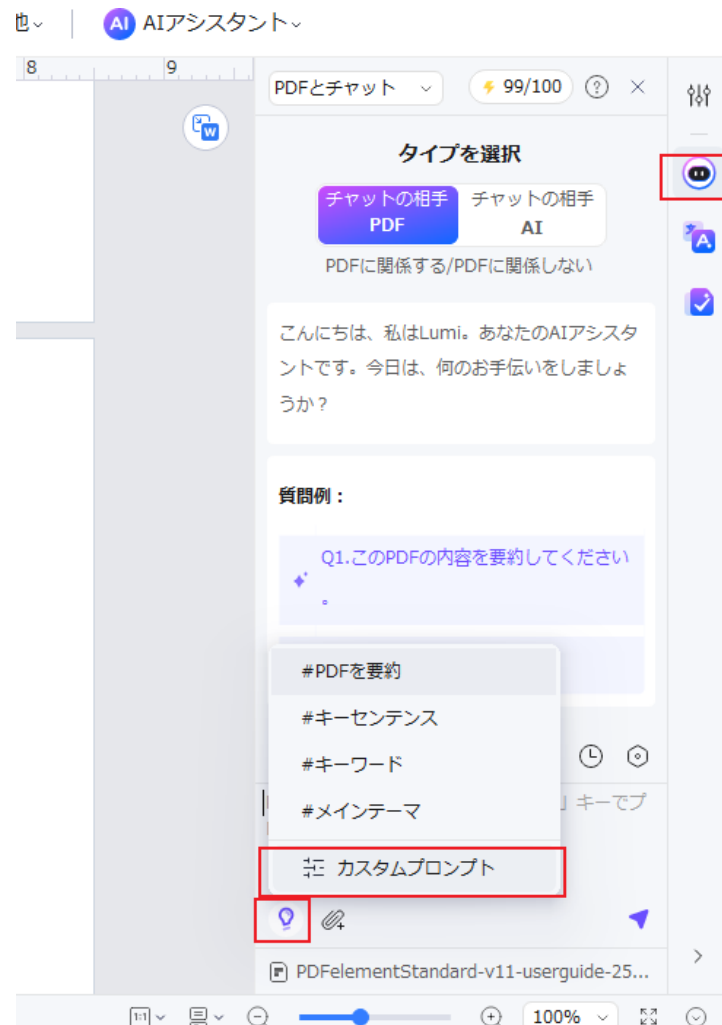
PDFを開き、AIサイドバーで「AI設定」をクリックします。

- 応答言語：選択した言語で応答を生成します。
- 応答トーン：応答をプロフェッショナル、ユーモラスなどに調整可能。
- 関連業界：応答内容が特定の業界に関連するものにします。

AIプロンプトのカスタマイズ

Lumi AIアシスタントの組み込みプロンプトに加えて、自分専用のカスタムプロンプトを作成できます。

カスタムプロンプトの作成

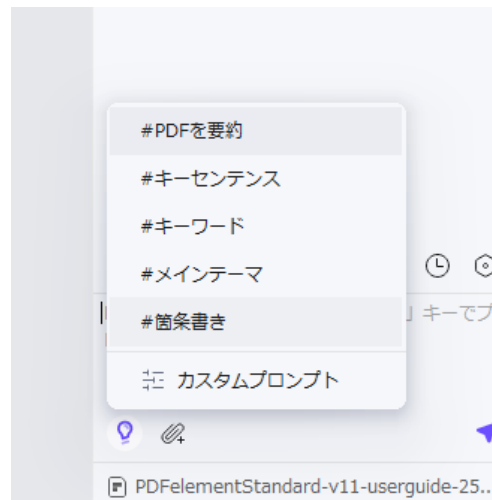


AIサイドバーを開く：「AI」アイコンをクリックし、「カスタムプロンプト」オプションを選択します。



- 新規プロンプトの追加：「追加」ボタンをクリックし、新しいプロンプトを作成します。
- プロンプトの名前を入力：「プロンプト名」に「箇条書き」などわかりやすい名前を入力します。
- 指示内容を入力：「プロンプト内容」に「以下の内容を箇条書きに変換してください」などの指示を入力し、「追加」をクリックします。

カスタムプロンプトの使用



プロンプトを選択：作成したプロンプト（例：「箇条書き」）を選択します。

テキストの入力：処理したいテキストを入力または貼り付け、「送信」ボタンをクリックします。

結果の確認：Lumiが即座に分析し、プロンプトに従った結果（箇条書きなど）を生成します。